

2021 年度 修士論文

建築ファサードに使用される素材の表層特性が
印象評価に及ぼす影響

東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 建築学域

20852533 吉田 慧悟

指導教員 橘高 義典

— 目次 —

第1章 序論	・ ・ ・ 1
1.1. 研究の背景	
1.2. 本研究の目的	
1.3. 本研究の構成	
1.4. 本研究に関する既往研究	
第2章 研究概要	・ ・ ・ 15
2.1. 本研究の概要	
2.2. 検査方法	
第3章 ファサード物理量の印象評価への影響	・ ・ ・ 23
3.1. 検査 I	
3.1.1. 検査概要	
3.1.2. 結果・考察	
3.2. ファサード調査	
3.3. 検査 II	
3.3.1. 検査概要	
3.3.2. 結果・考察	
3.4. シミュレーションモデルによる試料での印象評価の精度評価	

第4章 ファサード設計意図と印象評価の関係性 . . . 93

4.1. 設計意図の分析

4.2. 検査Ⅲ

4.2.1. 検査概要

4.2.2. 結果

4.2.3. 考察 ～設計意図の整合性分析～

第5章 結論 . . . 105

《参考文献》 . . . 109

《謝辞》 . . . 113

《付録》 . . . 117

- ・ 検査Ⅰ関連資料
- ・ ファサード調査関連資料
- ・ 検査Ⅱ関連資料
- ・ 検査Ⅲ関連資料
- ・ 梗概

第 1 章 序論

- 1.1. 研究の背景
- 1.2. 本研究の目的
- 1.3. 本研究の構成
- 1.4. 本研究に関する既往研究

1.1. 研究の背景

近年、建築のファサードに対する認識は大きく変化し、今や建築において欠かすことのできない大きなテーマとなっている。そんなファサードに対して、多くの建築家が意匠性を意識した装飾的な表現を施していることが多く見受けられる。効率的・合理的な機能を求め、内外を統一させると言う近代建築の思想において、建築全体を覆う表面的な装飾は、景観的に否定されるものも見られる。しかし、以前より装飾的なファサードを備えていた商業建築だけでなく、公共建築や住宅などの外装にも装飾的な表現を用いる傾向が近年多く見受けられる。ファサードは、採光や通風などといった建築的な機能に加え、建築を覆う包装紙のような存在として人や街などと直に触れ、影響を与える重要な役割を担っていると考えられる。その重要性には、ファサードが様々な装飾的な表現の媒体として用いられることで、特異な印象を想起させたり、街並みや地域性に影響を与えたりするなど、単なる機能や飾りの域を超えている点があげられる。

ファサードに関する研究として、塩崎ら¹⁾は商業建築における建築と都市との接続面であるファサード空間に関して、設計過程において建築家が商業建築と都市との結節手段をどう考えて来たかを明らかにしている。また、佐藤ら²⁾は建築外装に施された装飾的意匠に着目し、建築家がどのような装飾的意匠を構想しているのか、またその構想をどのような要素を対象に、どのような手法を用いて表現しているという外壁に施された装飾的意匠に関する思考と実体の関係を明らかにしている。しかし、意匠的設計意図を持つファサードに対して、ファサードパターンや素材の種類や物理量に着目した研究は見受けられない。ファサードを評価する要素として、素材に関する考慮は必要不可欠である。

1.2. 本研究の目的

本研究では、先述の背景から、建築を構成する要素の中で、一番近い距離で人や街などに対して接しているファサードの形状・パターンや素材の種類などの物理量を明確化し、人の印象評価に影響を与える要素を明らかにすること、また建築家がファサードをデザインする際、どのような意図・思想を持ってデザインしたのか、そして意匠的設計意図が実際のエンドユーザーである一般の方々に伝わっているか視覚的印象評価を行い、その実態を明らかにすることを目的とする。

1.3. 本研究の構成

本研究は、全体が5章で構成されており、第2章以降の各章概要は以下の通りである。

「第2章 研究概要」では、本研究の概要について、研究フローや各検査の立ち位置に触れながら述べている。また、本研究の検査として行う印象評価の詳細について述べている。

「第3章 ファサード物理量の印象評価への影響」では、実在建築写真と SketchUp によるシミュレーションモデルの二つの媒体から作成した検査資料による印象評価を行い、ファサードに使用される素材の物理量と心理量の関係性を明確にしたうえで、2つの検査結果を比較し、シミュレーションモデルを基に作成した試料によるファサード検討の有効性を明らかにすることを試みた。また、ファサード調査として、ファサードの素材と設計意図の関係性を明らかにするため、最新建築の専門誌『新建築³⁾』(2000年～2020年)に掲載された資料(以下、建築資料)を対象とし、分析を行った。

「第4章 ファサード設計意図と印象評価の関係性」では、ファサード調査の対象となった建築資料に記載されているすべての文章をテキストマイニングソフトウェア「KH Coder」を用いて、建築家の考える設計意図と素材に関する分析を行った。また、実在建築を忠実に再現したシミュレーションモデルを基に作成した検査試料を印象評価することで、対象建築ファサードデザイン時の設計意図が、被験者に伝わっているかを確認することを目的とした検査Ⅲを行った。

「第5章 結論」では、本研究のまとめとして第2章～第4章までを簡潔にまとめる。

1.4. 本研究に関する既往研究

本研究に関する既往研究を以下に示す。

* 外装材の選択と視覚的デザインの関係に関する一考察⁴⁾

- 年 度：1986 年
- 著 者：大石聡輝、紙野桂人
- 参考文献：61 年度日本建築学会近畿支部研究報告集、p729-732
- 研究概要

実際の建築物のデザインにおいて、外装材はどのような位置を持っているのか。また、建築家はどのような基準で外装材を選ぶか。そのような、外装材の選択と建物の視覚的デザインとの関係を明らかにすることを目的とした研究。考察として、建築物の外観において個別的に差異を表すことができる要素というものは、「建築物の形体・スケール・材料などといった建築物のデザイン内容に直結した要素」と「建築物のデザインを構成する要素として、建築物の街なみのなかでのあり方・その社会や時代のなかでのあり方、あるいはその建築物の用途との関係などといった建築物の存在自体に直結した要素」の大きく2種類に分けることができるという。

また、ある程度のイメージを持った材料を使う際においてそのイメージを狙った場合には、その材料は、一方ではその材料自体の、他方ではそれが含まれるデザインの中の一部として、その意味が問われる。

* 近代多層建築における外壁面構成とその意匠性に関する研究⁵⁾

□ 年 度：1998 年

□ 著 者：若山滋、岡島達雄、菅雅幸、奥山昌則

□ 参考文献：日本建築学会計画系論文報告集第 391 号(昭和 63 年 9 月)、p116-124

□ 研究概要

現代都市における特に都心部の景観を支配的に形成する近代多層建築の外壁面(ファサード)を対象を限定し、その構成を視覚的に分析することによって、人々に与える心理的イメージという形でその意匠性について把握しようとするものであり、近代建築を多層建築という視点からとらえ、その景観上の属性を一般論として把握することを目的としている。

外壁面構成は、主に「開口部(窓)」「壁」「バルコニー」「構造体」の 4 要素からなり、その「表面構成」「立体構成」「素材構成」から総合的に「規格外」「構造露出」「バルコニー有り」「開口部集中有り」「開口部凹凸有り」「開口部凹凸無し」「開口部区別無し」の 6 段階 7 グループに大きく分類することができる。

その分類の代表例による心理実験の結果、その景観イメージは形容言語対として、「単純－複雑」「剛－柔」「垂直－水平」「親－疎」の 4 つの因子によって説明できる。

中でも、「単純－複雑」「剛－柔」の 2 つの因子が重要であり、この 2 因子軸平面上の分布によって、中間に位置する標準的なものと、「複雑」寄り、「柔」寄り、「剛」寄りのものの 4 つの傾向が認められ、更に、「複雑」寄りのものは、「工業的複雑」さを持つものと、「彫刻的複雑」さを持つものとに分かれ、「柔」寄りのものは、「骨組的」なものと「現代的精密」さを持つものとに分かれる。

これらの傾向が、ほぼ近代多層建築の外壁面構成の環境心理的意味空間を表していると言えよう。

* 心理量と物理量の重回帰分析－ファサードの研究(その18)－⁶⁾

- 年 度：1996 年
- 著 者：大金弘和、船越徹、積田洋、中村諭樹生、澤頭幸司
- 参考文献：日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿)1996 年 9 月、p731-732
- 研究概要

過去に、心理量と物理量との一对の相関分析を行い、「ファサードの研究」として発表しているが、そのすべての関係を解明するまでには至っていない。本編では重回帰分析を用いることにより心理量と複数に渡る物理量との相関関係を明らかにしようとするものである。

建築のファサードの持つ心理的・物理的要因を定性的・定量的に捉え、単相関分析・重相関分析を行うことで、心理量と物理量との相互関係を数量的に明らかにすることができたが、第X心理因子軸の〈親しみ因子〉のように本分析で十分その関係が表しきれていないものもある。

* 都市型商業建築におけるファサード空間の設計意図

－商業建築の設計手法に関する研究－¹⁾

□ 年 度：2000 年

□ 著 者：塩崎太伸

□ 参考文献：日本建築学会大会学術講演梗概集(東北)2000 年 9 月、p487-488

□ 研究概要

本研究では、建築と都市との接続面である建築立面、及びその立面が抱え込む境界空間をあわせてファサード空間として認識し、商業建築としての設計意図が表れる重要な要素であると捉え、その内容を建築誌に掲載された作品の解説文と論説を資料として検討することで、建築家が商業建築と都市との結節手段を設計過程でいかに考えてきたかを明らかにすることを目的とする。

商業建築のファサード空間における主題は、大部分が都市との関係を考慮したものであり、その際の意識の方向は、アピールとしての建築から都市への意識、あるいは逆に受動的な都市から建築への意識という二様の関係の持ち方があり、一見商業的条件にそぐわない後者の立場の主題も多く抽出された。これは、序で述べたように商業建築がより公共的意味合いを強めている結果とも考えられる。また、自己の魅力を外部にアピールすることが最重要だと考えられ、さらに現状の都市での立地条件などから視覚的な手法にほぼ留まっていると思われる商業建築のファサードも、建築家にとっては都市に対して多くの提案が可能な場〈ファサード空間〉として設計が試みられ、特に都市の局所的部分を対象とした主題では空間的手法によるものが多くなされていた。

* 現代建築の有機的形態における設計意図－建築家の言説による分析－⁷⁾

- 年 度：2006 年
- 著 者：脇本英二郎、山田深、佐々木夕介、丸山友士
- 参考文献：日本建築学会大会学術講演梗概集(関東)2006 年 9 月、p723-724
- 研究概要

近年、多く見受けられる 3 次元の自由曲面を用いた有機的な形状の建築作品をはじめとする、多彩な曲線を特徴とする近代初期の表現主義的建築の形態の根拠が主に思想的・象徴的な傾向を示すのに対し、現代建築の形態は、コンピューター技術や新素材・構造技術などの科学技術とも深く関わっていると考えられ、この時代における有機的な形態表現に関する建築家の設計概念を整理することは興味深い。そこで本研究では、現代建築にみられる有機的形態を用いた建築の設計意図を、建築家の言説から明らかにすることを目的とする。そのために、建築雑誌に掲載された有機的形態の建築作品に付された建築家の言説を資料とし、有機的形態に対しての具体的な概念・イメージ・根拠が述べられている部分を【設計意図】として抽出し、分析検討する。

本研究では、現代建築における有機的形態の【設計意図】を建築家の言説から抽出し、分析検討した。その結果【設計意図】には《内的要因》と《外的要因》の 2 つの大きな側面がみられたことや、有機的形態の設計の根拠としては《外的要因》の〈場所性〉が多いこと、また《内的要因》は多種多様なものがみられること、さらに近年は〈手法的〉な【設計意図】が若干増加していることなどを特徴として捉えた。以上により、現代建築の有機的形態における【設計意図】の一端を明らかにすることができた。

* 街路におけるファサードの構成要素とその色彩の記述方法に関する研究⁸⁾

- 年 度：2006 年
- 著 者：武石諭士、郷田桃代
- 参考文献：日本建築学会大会学術講演梗概集(関東)2006 年 9 月、p173-174
- 研究概要

本研究では街路空間におけるファサードの構成要素とその色彩に着目し、都市景観の複雑さや多様性について簡潔に表わすための記述方法を検討することを目的とした。研究対象は、できるだけ多くの構成要素による複雑な景観であることが望まれる。

現地調査による試料を基にファサードの色彩の多様性についてエントロピーを用いることで記述する可能性を見出すことができた。今後は、色彩のみならず、多様化する街路景観におけるその他の様々な要素に関する情報の記述について検討することが課題である。

* 現代日本建築家の創作における隠喩的表現⁹⁾

□ 年 度：2018 年

□ 著 者：戸田啓太、山田深

□ 参考文献：日本建築学会北海道支部研究報告集 No.91(2018 年 6 月)、p543-546

□ 研究概要

本編では、現代日本建築家の言説にみられる隠喩的表現が、どのような内容を建築のどの対象部位に用いているかを、言説を対象としてそれぞれ明らかにした後に、それらの対応関係について総体的に明らかにする。

本研究では建築家が用いた隠喩を、「隠喩的表現」〈説明対象〉〔内容〕それぞれの側面から見たのち、それぞれの対応関係を明らかにした。結果、現代日本建築家の用いる隠喩の傾向の一端を明らかにすることができた。

* 現代建築の外装にみられる装飾的意匠

－設計意図と表現からみた建築の創作に関する研究－²⁾

□ 年 度：2019 年

□ 著 者：佐藤由花、山田深

□ 参考文献：日本建築学会北海道支部研究報告集 No.92(2019 年 6 月)、p403-406

□ 研究概要

外装は、光を採る、風を通すというような機能的な面だけでなく、包装紙のように建物の一番外側で人や街などと接触してコミュニケーションをとるという意味でも重要な部分であり、その土地の文化や風土とも密接な関わりにある。その重要性から外装は様々な装飾的な表現がなされることで、あるイメージや印象を想起させたり、街に影響を与えたりするなど、機能や単なる“飾り”を超えてはたらいっている。

本研究ではこのように人や街などと直に接する外装に施された装飾的意匠に着目し、建築家が装飾的意匠についてどのようなことを構想しているのか、そして、その構想を実体に落とし込む際に、どのような要素を対象に、どのような手法を用いて意図を実現しているのか、外装に施された装飾的意匠に関する思考と実体の関係を明らかにすることを目的とする。

本研究では、現代建築の外装にみられる装飾的意匠の設計意図と上限に着目し、分析・考察を行ってきた。その結果、装飾的意匠には年代的な志向の変化や、設計意図と表現の関係がみられた。

本研究により、現代建築の外装にみられる装飾の一端を明らかにすることができたと考える。

第 2 章 研究概要

2.1. 本研究の概要

2.2. 検査方法

2.1. 本研究の概要

図 2-1 に本研究のフローを示す。

本研究では、人がファサードに対して感じる印象に影響を及ぼしている要因を明らかにしたのち(検査Ⅰ)、ファサード設計意図を評価尺度として、様々な素材や形状で作成した簡易的な建築モデルを印象評価(検査Ⅱ)してもらうことで、特定の設計意図を表現する際に使用すべき素材や形状のガイドラインを提示することを試みている。また「実在建築を基に作成した試料(検査Ⅰ)」と「SketchUp によるシミュレーションモデルを基に作成した試料(検査Ⅱ)」を、被験者に印象評価を行ってもらうことで、その整合性を明らかにする。今後の建築設計時においてシミュレーションモデルによるファサードの検討の有効性が示されることで、より良いファサードを持つ建築が増えることに繋がることを期待している。

その後、実在建築を忠実に再現したシミュレーションモデルを基に作成した検査資料を印象評価すること(検査Ⅲ)で、対象建築ファサードデザイン時の設計意図が、被験者に伝わっているかを確認している。

ファサード物理量の印象評価への影響では、最新建築の専門誌『新建築』に掲載された資料(以下、建築資料)を用いたファサード調査や2回行った印象評価(検査Ⅰ・Ⅱ)、そして検査試料の違いによる比較からシミュレーションモデルによる印象評価の整合性について、述べている。

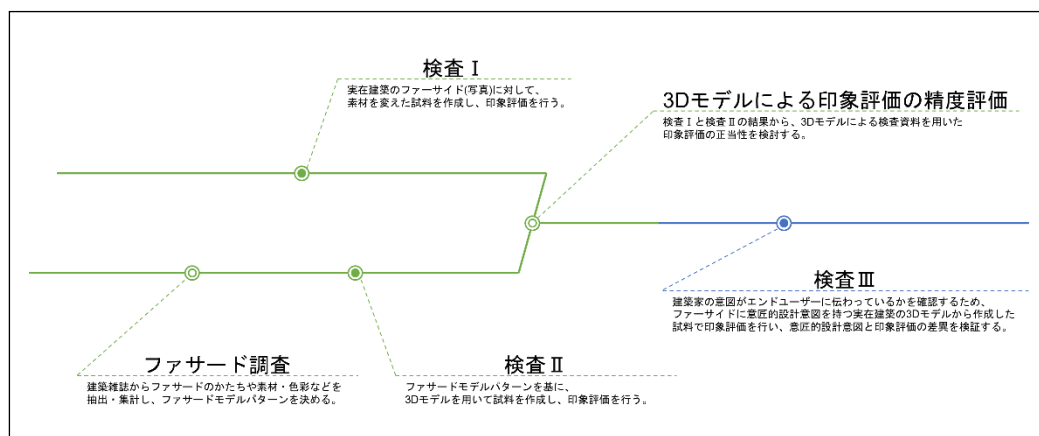


図2-1 研究フロー

検査Ⅰでは、ファサードに関する既往研究を参考に選出した形状の異なる8種の実在建築の写真に対して、8種の素材テクスチャを貼り付け、印刷したものを検査試料とした。ここでは、実在写真を用いて、テクスチャを張り替えた合成試料ではあるが、実在建築の写真として扱うこととしている。検査結果から、人がファサードを印象評価する際、評価をする軸として重要視されている要素を明確に示した。また、検査で用いた各評価尺度の尺度値同士を重回帰分析した結果から、検査Ⅱで用いる評価尺度を整理した。

ファサード調査として、建築資料のうち、特定条件により絞り込みをした529事例から設計意図や素材・形状など様々な情報を抽出した。抽出された61種類の設計意図について、内容をもとにkj法に準じて分類・整理を行った結果、設計意図は【人・都市・建築・環境】という4つの側面に大別でき、それらはさらに9つのカテゴリーに分類された。

検査Ⅱでは、ファサード調査にて抽出した情報から、検査で使用する建築モデルパターンを決定した。素材・ファサードパターン・明度彩度の異なる簡易的な建築モデルパターンをSketchUpで作成し、印刷したものを検査試料とした。試料を、ファサード調査によって得られた心理的影響の強い設計意図の中から構成した評価尺度にて印象評価を行うことで、人の感覚(設計意図)と素材・形状の関係性が明確になり、表現したい設計意図が決まれば、素材などのガイドラインがある程度絞られるため、今後ファサードを検討する際の有効性を示した。

また、シミュレーションモデルによる印象評価の精度評価として、実在建築を基に作成した試料による検査ⅠとSketchUpによるシミュレーションモデルを基に作成した試料による検査Ⅱの結果を比較し、シミュレーションモデルを用いた試料による印象評価の整合性を明らかにすることを試みた。

ファサード設計意図と印象評価の関係性と題して、建築資料に添付された設計意図をkh_coderというソフトを用い、テキストマイニングを行うことで、建築家の考える設計意図と素材の関係性と強度を定量化および視覚化することを試みた。

検査Ⅲでは、今後のファサードデザインを想定した検査を行った。ファサード調査を行った実在建築12事例をSketchUpにより忠実に再現し作成した試料を用いて印象評価を行った。「検査Ⅲの結果」と「検査Ⅱのうち、近しい建築モデルパターンの結果」との比較、また建築家の考える設計意図が一般の人々に伝わっているかを示した。

結論では、本研究で明らかになった事を述べている。

2.2. 検査方法

検査として行った印象評価の方法について印象評価を行う際の条件として、机上の照度を500lux以上に保った上で、各試料を評価尺度について5段階で絶対評価することとした(図2-2)。試験結果を系列範疇法による尺度理論を用いて、各評価値を算出した。また、印象評価に使用する検査試料は、高画質インクジェットプリンター(Canon製1200dpi)によりA4サイズで出力した紙媒体の試料である。シミュレーションモデル作成にはモデリングソフト「SketchUp2019」とレンダリングソフト「Vray5forSketchUp」を使用した。

【各検査の被験者数】

- 〈検査Ⅰ〉 本学建築学域3年生25名
- 〈検査Ⅱ〉 20代前半男女32名
- 〈検査Ⅲ〉 20代前半男女28名

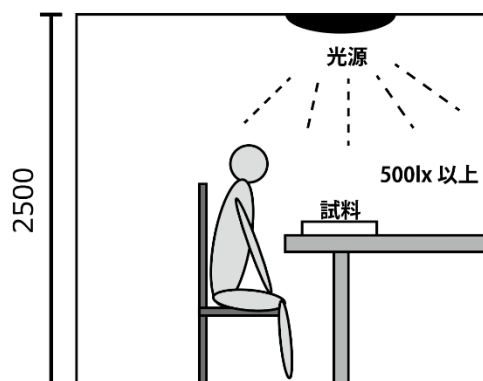


図2-2 印象評価方法

【建築物における感覚量の定量化】¹⁰⁾

人間の判断を数値として定量化する際には、アンケートや実験からの測定値として数を扱わねばならない。そのときの系列は「尺度」と言われる。尺度には4種類あり、それぞれ名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度がある。その中で、本研究で使うのは間隔尺度である。間隔尺度で測定された場合、3と2の間の1という感覚は5と4の間の1に等しいということが成り立つということである。ただし原点は不定であり、任意に設定されるものとする。心理学の尺度でよく使われる「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思う」「そう思う」などの選択肢を用意して回答を求めるのもこの尺度水準を狙ったものである。

本研究では、ファサードの好ましさに影響を及ぼす要因を抽出し、それらを表現しうる項目を規定して評価値と物理量の関係を把握することを目的とするため、尺度構成理論の系列範疇法を利用することにした。

印象評価をするにあたってはSD法（セマンティックディフェレンシャル）を用いる研究が多くあるが、この場合多くの形容詞の質問結果から判断因子群は分類できるものの、それらが具体的にどのように好ましさを感得するための方法に利用されるかは不明である。そこで本研究では、まず既往研究や過去にファサードを印象評価する際に使用された形容詞を抽出し、それについて評価尺度化し、その評価値とファサードの好ましさととの関係を考察することにした。

【系列範疇の尺度構成理論】¹¹⁾

ある一群の刺激値から得られる被験者の反応を心理尺度に作りかえるものである。系列範疇法は Thurstone の比較判断の法則を前提とした尺度構成法であり、この法則に基づき心理的連続体に一次元的に配置していくものである。

各カテゴリーの相対頻度と等しい面積を持つように標準正規分布を分割し、その時の分割点を各カテゴリーの心理的端点とみなす。心理的連続体は感覚尺度とみなされているから、これによって各カテゴリーの心理的感覚が感覚尺度上で決定したことになる。

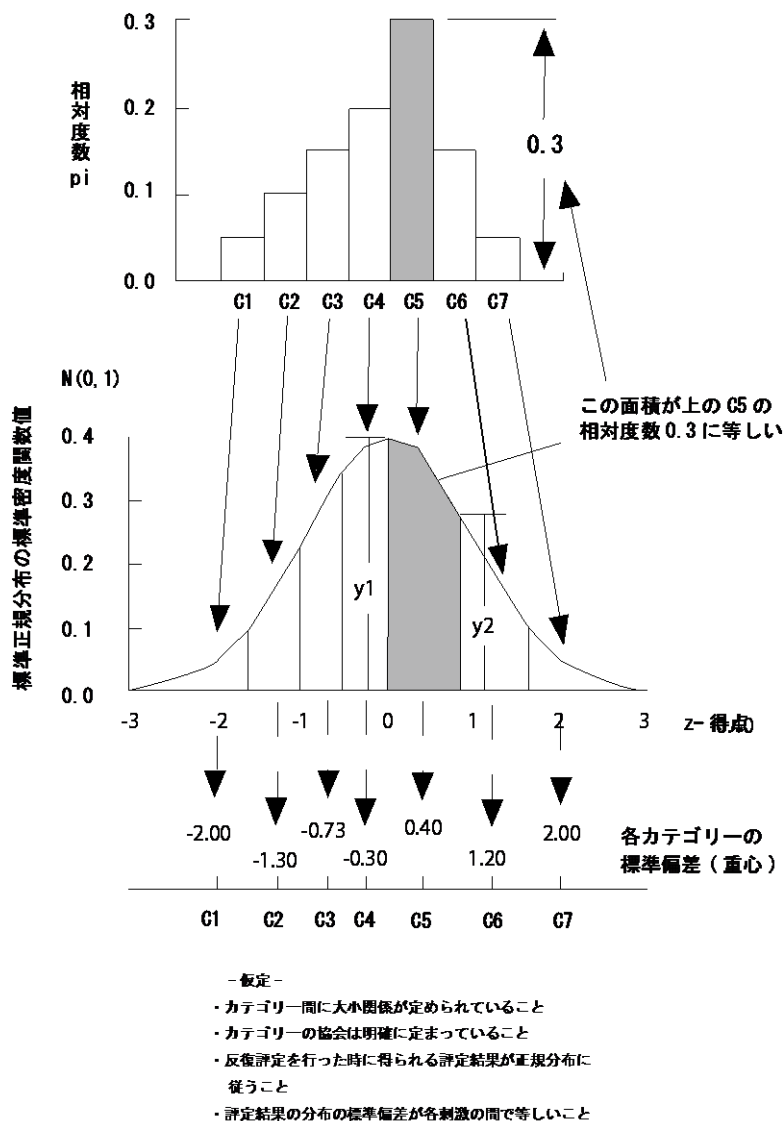


図2-3 系列範疇法の概念

第3章 ファサード物理量の印象評価への影響

- 3.1. 検査Ⅰ
 - 3.1.1. 検査概要
 - 3.1.2. 結果・考察
- 3.2. ファサード調査
- 3.3. 検査Ⅱ
 - 3.3.1. 検査概要
 - 3.3.2. 結果・考察
- 3.4. シミュレーションモデルによる
試料での印象評価の精度評価

3.1. 検査 I

3.1.1. 検査概要

検査 I は、予備検査として、ファサードが人々に与える印象において、影響度が高いと考えられる要因を明確にするため、素材、建築形状、開口率に着目した印象評価を、本学建築学生 25 名を被験者として行った。

試料は、ファサードに関する既往研究¹⁰⁾に記載されていた実在建築の中からランダムに選出した形状の異なる 8 種の実在建築の写真(図 3-1)に対して、8 種(石材・レンガ・コンクリート・金属・タイル・塗料・ガラス・木材)の素材テクスチャ(図 3-2)を貼り付けた合成写真を検査試料(64 事例)とした(図 3-3)。ここでは、実在写真のファサード部分(開口部などを除く)の全面にテクスチャを張り替えた合成写真の試料ではあるが、実在建築の写真として扱い、分析を行っている。








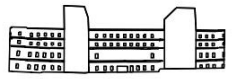





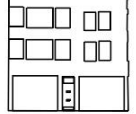

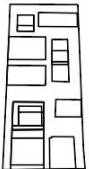
  <p>A. la kagu 所在地：東京都新宿区先斗町 67 設計：隈研吾建築都市設計事務所 用途：店舗 素材：小波スレート 開口率：26%</p>	  <p>B. サンボライフ社屋 所在地：フィンランド 設計：AaltoHietalaisto SARI Oy 用途：オフィス 素材：レンガ 開口率：28%</p>	  <p>C. 後藤寺サクラ園 所在地：福岡県田川市丸山町 1 番 4 号 設計：青木茂建築工房 用途：住居・ディスプレイ 素材：塗料 開口率：14%</p>	  <p>D. 国立ソフィア王妃芸術センター 所在地：スペイン 設計：Jean Nouvel 用途：美術館 素材：塗料 開口率：40%</p>
  <p>E. 新風館 所在地：京都府京都市中京区烏丸通御小路下ル堀之内町 586-2 設計：NTT ファシリティー・マネジメント・ロジクス・パートナーシップ・ジャパン 用途：商業施設 素材：レンガ 開口率：16%</p>	  <p>F. 水舎 所在地：上海 設計：Neri & Hu 用途：ホテル 素材：コンクリート 開口率：10%</p>	  <p>G. 日本橋旧テラー 所在地：東京都中央区日本橋本町 3-6-5 設計：三井物産建築設計事務所 用途：店舗・共同住宅 素材：塗料 開口率：41%</p>	  <p>H. 麻布十番の集合住宅 所在地：東京都港区麻布十番 設計：SALHAUS 用途：共同住宅 素材：タイル 開口率：33%</p>

図3-1 建築概要

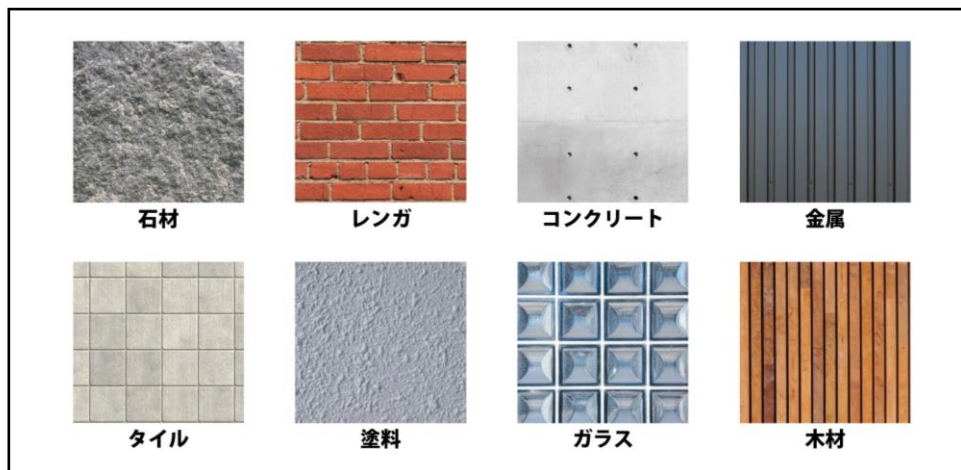


図3-2 素材概要

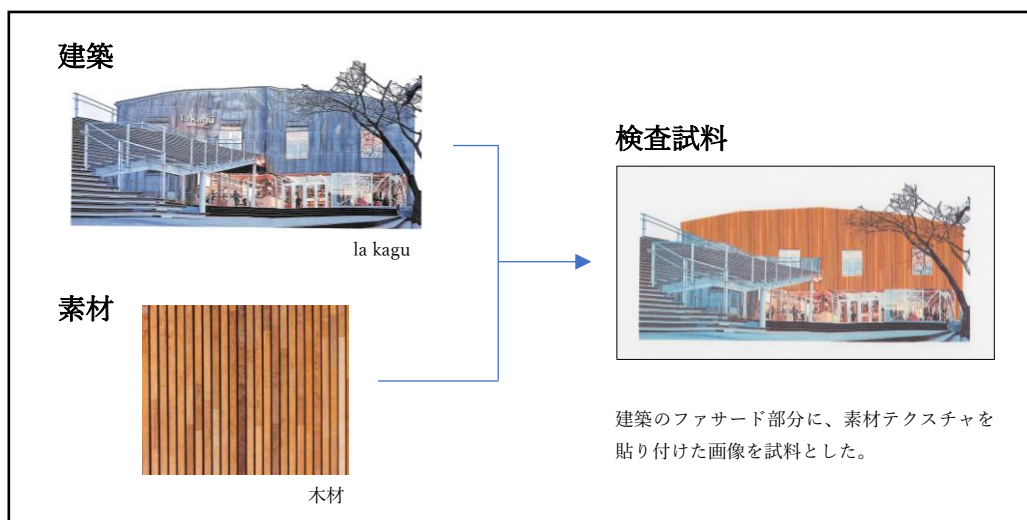


図3-3 検査試料作成方法

評価尺度は、既往研究の中で用いられた項目の中から人の感覚に近く、ファサードそのものを評価する項目を抽出し採用した(表 3-1)。

表3-1 検査Ⅰ評価尺度

新規性	見慣れた	—	目新しい
存在感	地味である	—	派手である
重み	軽快である	—	重厚である
バランス	バランスが悪い	—	バランスが良い
好ましさ	好ましくない	—	好ましい

上記の内容で印象評価を実施し、その結果に対して系列範疇法を用いた尺度構成理論により尺度値を算出し、評価値とした。

3.1.2. 結果・考察

表 3-2・3-3 に系列範疇法の結果と各評価尺度の共通尺度を示した。各評価尺度の標準偏差は 0.89～0.95 となっており、ばらつきは見られるが平均的であり、妥当であると思われる。

【新規性】の尺度値の平均は「-0.12」となっており、やや見慣れたと評価している割合が多い。

【存在感】の尺度値の平均は「-0.03」となっており、やや地味である・やや派手であると評価している割合が多い。

【重み】の尺度値の平均は「0.27」となっており、やや重厚であると評価している割合が多い。

【バランス】の尺度値の平均は「0.14」となっており、ややバランスが良いと評価している割合が多い。

【好ましさ】の尺度値の平均は「-0.13」となっており、やや好ましくないと評価している割合が多い。

表3-3 系列範疇法結果

系列範疇法分析結果										
	新規性		存在感		重み		バランス		好ましさ	
	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差
合計	-7.93	60.79	-2.19	56.66	17.35	59.66	8.97	60.67	-8.26	60.41
平均	-0.12	0.95	-0.03	0.89	0.27	0.93	0.14	0.95	-0.13	0.94
偏差	0.47	0.13	0.75	0.16	0.54	0.18	0.33	0.13	0.41	0.14

表3-4 共通尺度

共通尺度					
評価項目	1	2	3	4	5
新規性	-1.85	-0.77	0	0.74	1.75
存在感	-1.89	-0.80	0	0.87	2.01
重み	-1.94	-0.84	0	0.89	2.05
バランス	-1.71	-0.71	0	0.73	1.78
好ましさ	-1.77	-0.75	0	0.72	1.68

素材別尺度値の関係

各試料の材種ごとの尺度値を、それぞれ図 3-4～3-8 に示す。グラフからもわかるように、すべての評価尺度において材種による傾向が見られる。中でも【新規性】【存在感】【重み】は、より大きな傾向があることがわかった。

ガラス・金属・石材・木材の試料は、【新規性】の尺度値が高く、コンクリート・タイル・塗料・レンガは【新規性】の尺度値が低い結果となった。

ガラス・金属・木材・レンガの試料は、【存在感】の尺度値が高く、コンクリート・石材・タイル・塗料は【存在感】の尺度値が低い結果となった。

ガラス・金属・コンクリート・石材・塗料・レンガの試料は、【重み】の尺度値が高く、タイル・木材は【重み】の尺度値が低い結果となった。

今回のガラスに関しては、ガラスブロックを採用していることによる影響が、少なからずあると考えられる。

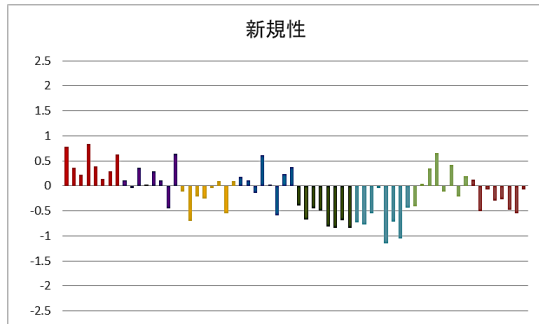


図3-4 素材別【新規性】尺度値

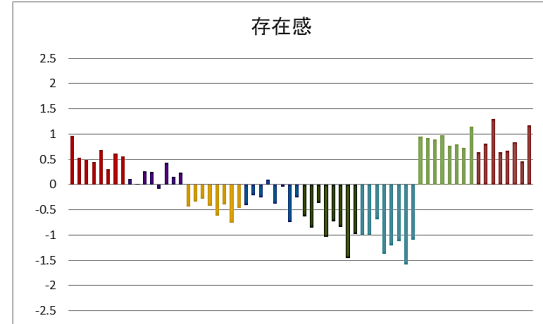


図3-5 素材別【存在感】尺度値

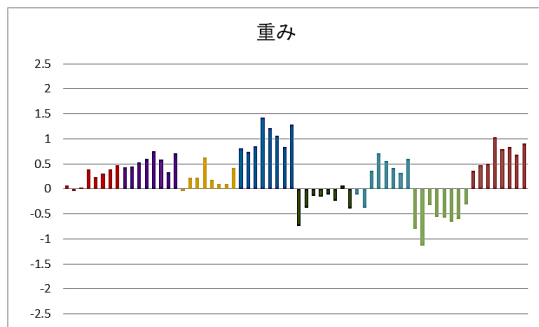


図3-6 素材別【重み】尺度値

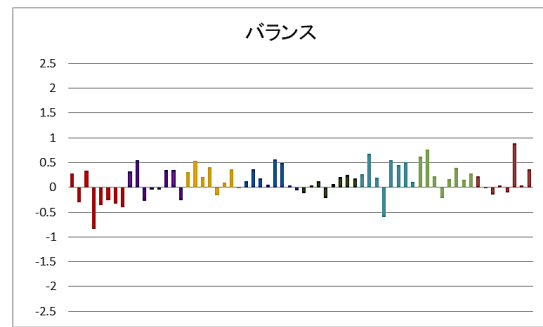


図3-7 素材別【バランス】尺度値

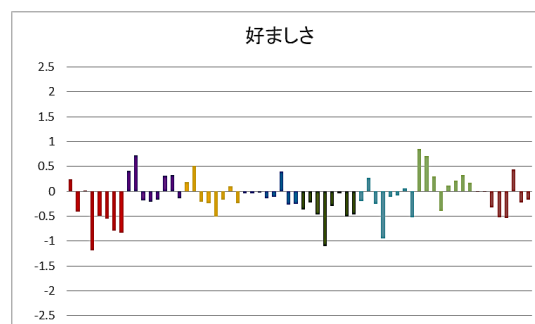


図3-8 素材別【好ましさ】尺度値

建築別尺度値の関係

各試料の建築ごとの尺度値を、それぞれ図3-9～3-13に示す。グラフからもわかるように、【バランス】【好ましさ】は、建築による傾向が比較あることがわかった。

【バランス】の尺度値は、後藤寺サクラ園を除き、バランスが悪いという尺度値があったとしても小さく、全体にバランスが良いという傾向が見られた。

【好ましさ】の尺度値は、後藤寺サクラ園・サンポライフ社屋の試料に対してバランスが悪い傾向が大きく見られ、その他の建築に対してはばらつきが見られた。

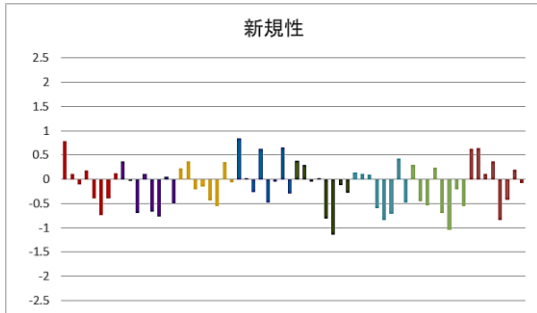


図3-9 建築別【新規性】尺度値

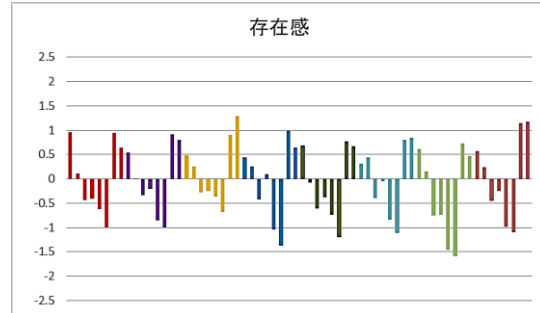


図3-10 建築別【存在感】尺度値

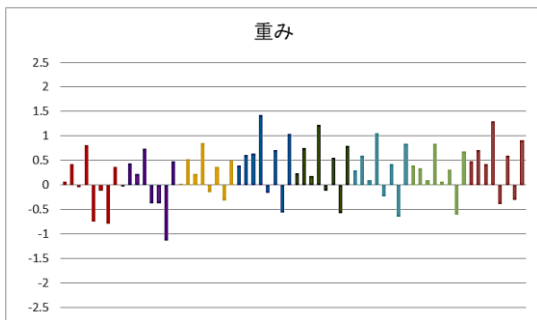


図3-11 建築別【重み】尺度値

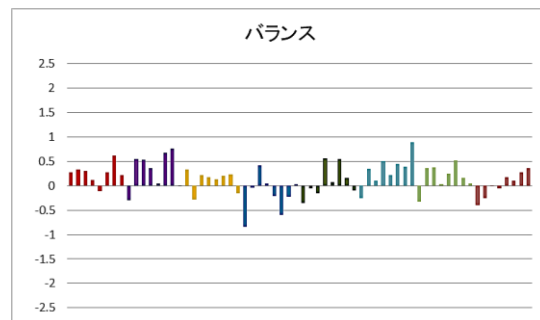


図3-12 建築別【バランス】尺度値

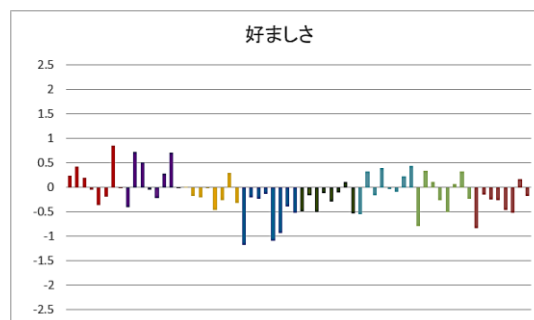


図3-13 建築別【好ましさ】尺度値

また、図 3-14～3-18 に建築ごとの尺度値をレーダーチャートにした図を示す。図からわかるように、どの建築も似たような八角形を示してるが、形の大小の差は全体的に見られない。そのことから、建築ファサードを印象評価する際には、建築形状よりも素材による影響が大きいということがわかった。

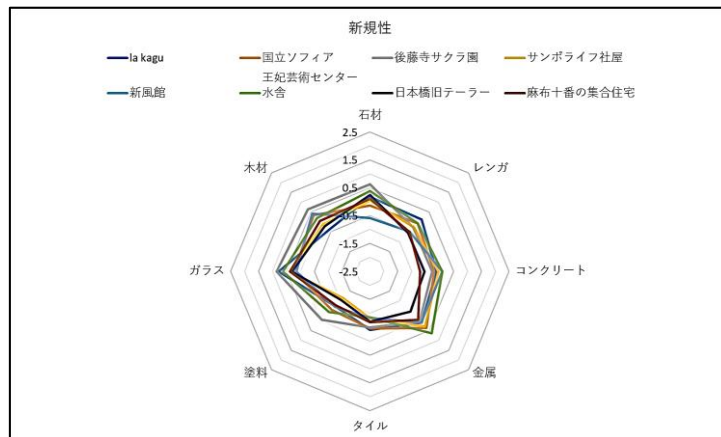


図3-14 建築別【新規性】レーダーチャート

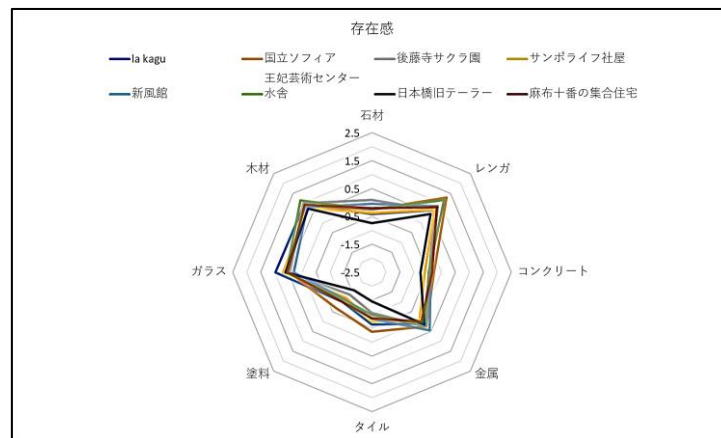


図3-15 建築別【存在感】レーダーチャート

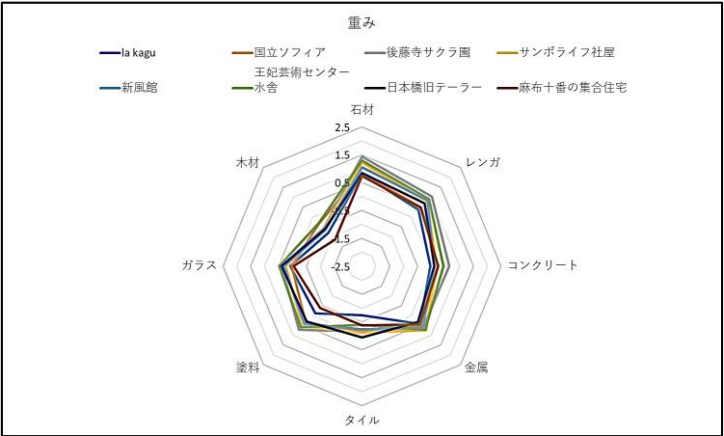


図3-16 建築別【重み】レーダーチャート

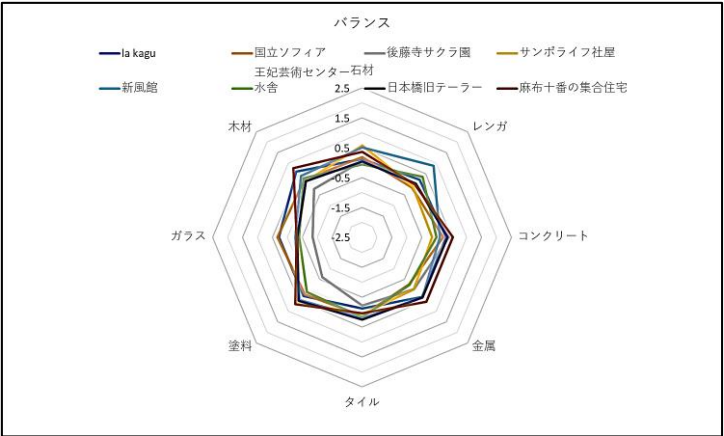


図3-17 建築別【バランス】レーダーチャート

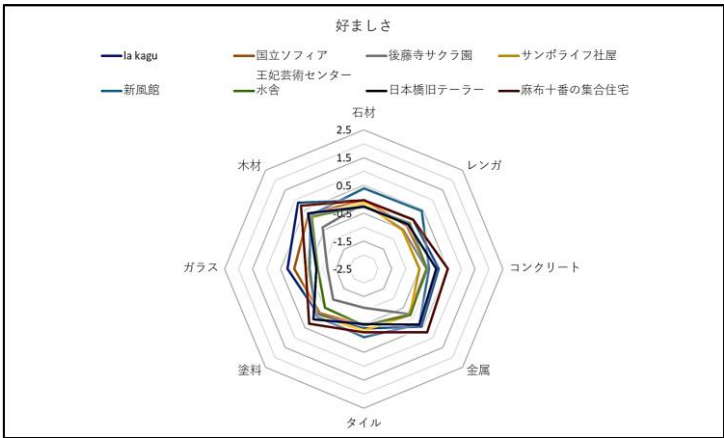


図3-18 建築別【好ましさ】レーダーチャート

【好ましき】の尺度値に影響を与える影響度を把握するため、数量化一類分析を行った。表3-4に変数化コードを示す。説明変数の連関係数を算出し、建築形状と開口率の相関が高かったため、目的変数【好ましき】に対して、素材・建築形状と素材・開口率をそれぞれ説明変数とした。図3-19にそれぞれの結果をまとめたものを示す。アイテムの順位を見ると、ファサードが人々に与える印象において、心理的影響を最も与える要因は、素材であることが分かった。次いで、開口率、建築形状であることが分かった。ただし建築形状に関しては、今回の印象評価が紙媒体で行われている影響が少なからず考えられ、実際には建築形状による心理的影響がより大きい可能性も考えられる。カテゴリースコアに着目すると木材やガラスが比較的高い数値を示しており、人々に好まれていることがわかった。開口率は、40%までの範囲ならば大きければ大きいほど【好ましき】の尺度値が高くなることがわかった。開口面積が大きいほうが人々は開放性・透明性があり、好ましいと感ずることがわかった。

なお、検査に使用した実在建築の開口率は、写真から想定した立面図を基に算出した（開口率＝開口面積/立面面積）。

表3-4 変数化コード表

コード	カテゴリーデータ		
	素材	建築形状	開口率(%)
1	石材	正方形	～10
2	レンガ	縦長型	11～20
3	コンクリート	横長型	21～30
4	金属		31～40
5	タイル		41～
6	塗料		
7	ガラス		
8	木材		

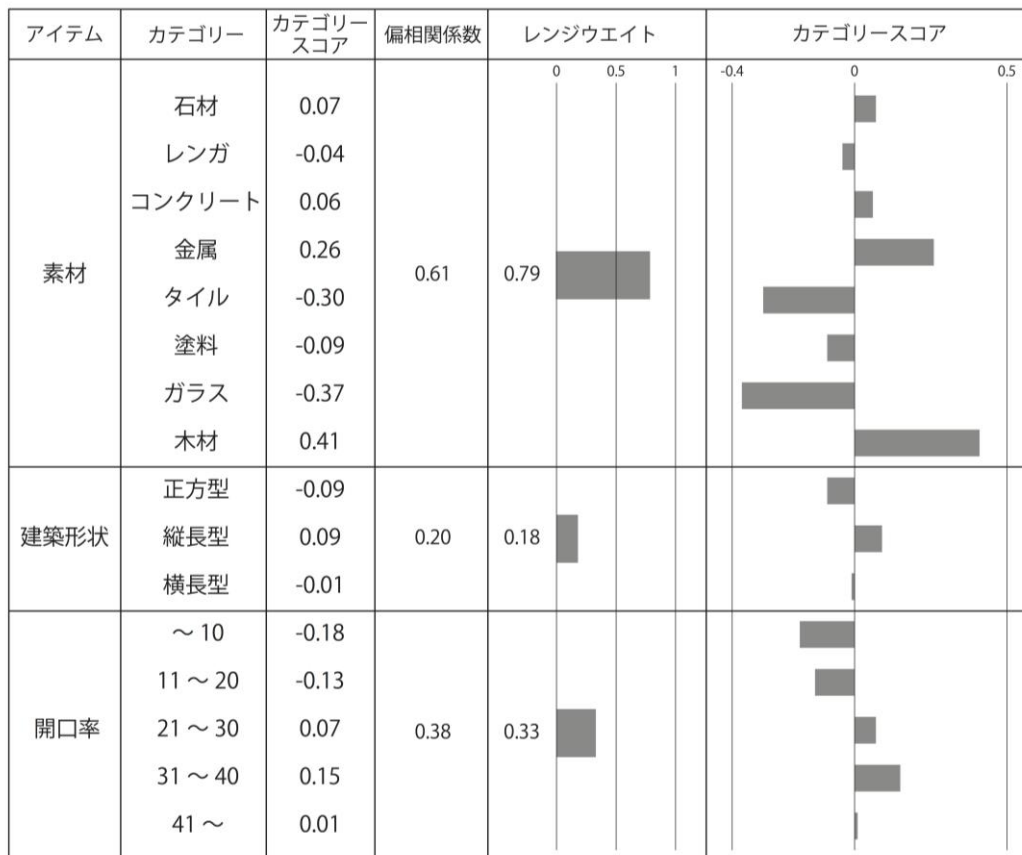


図3-19 数量化 I 類分析結果

評価尺度同士の関係性について、図 3-20 から【新規性】と【存在感】には正の相関が、図 3-21 から【新規性】と【バランス】には負の相関が、若干生じていることから、目新しいものは周囲に比べ派手に映ることで際立つが、多く存在しないが故にバランスが悪く感じてしまうことが分かる。また、【好ましき】と【バランス】のグラフと重回帰分析の結果を図 3-22 と表 3-5 に示す。グラフから全体的に強い正の相関が見られ、またお互いの重回帰分析の 1 次式の係数ではお互いに重いウェイトがあることから、印象評価の際の評価項目としてとても近いと考えられる。そのため、検査Ⅱ以降では【バランス】を評価尺度から取り除くこととした。

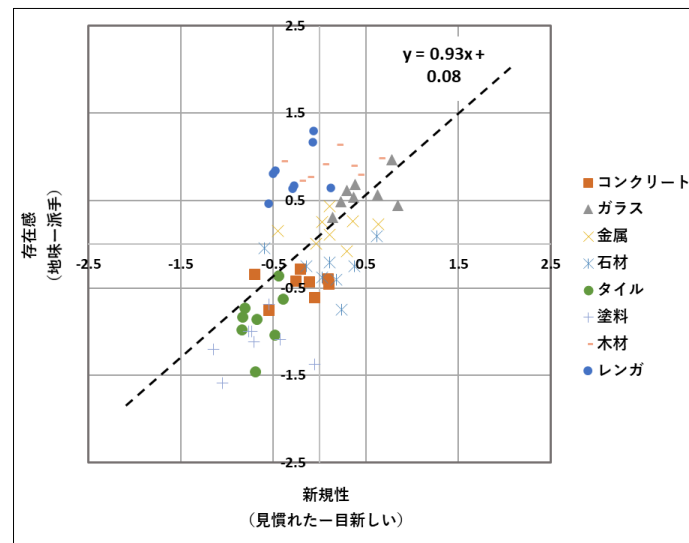


図3-20 【新規性】と【存在感】の関係性

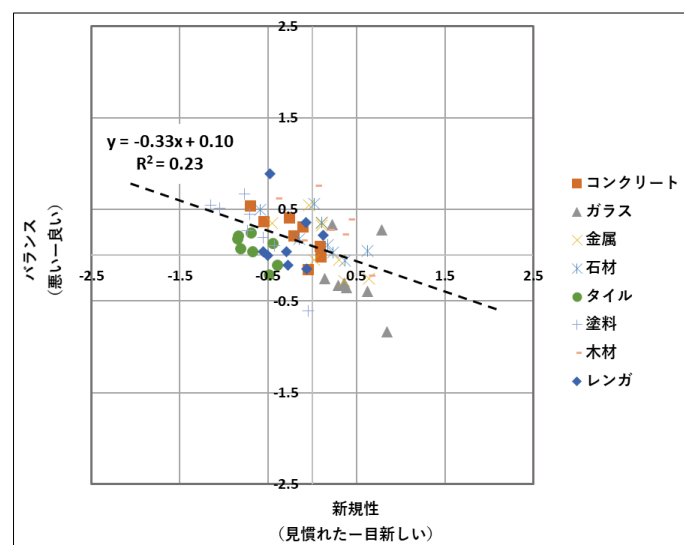


図3-21 【新規性】と【バランス】の関係性

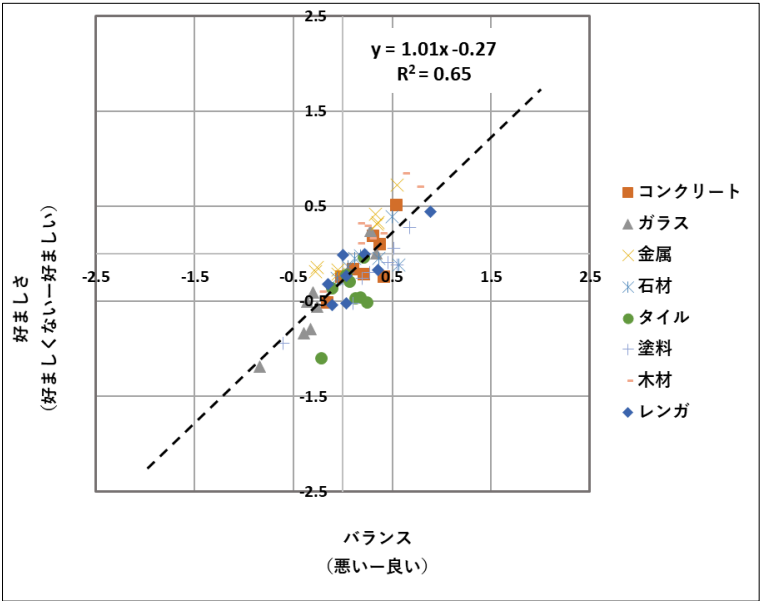


図3-22 【バランス】と【好ましさ】の関係

表3-5 評価尺度間の重回帰分析

	新規性	存在感	重み	バランス	好ましさ	切片
新規性		0.29	0.15	-0.96	0.36	0.03
存在感	0.91		-0.12	-0.45	0.85	0.28
重み	0.41	-0.10		0.61	-0.56	0.16
バランス	-0.23	-0.03	0.05		0.63	0.18
好ましさ	0.15	0.11	-0.09	1.11		-0.24
y	ax1	bx2	cx3	dx4	ex5	α

3.2. ファサード調査

実在建築におけるファサードの素材と設計意図の関係性を明らかにするため、『新建築』（2000年～2020年）に掲載された資料を対象とし、分析を行った。以下の特定条件により絞り込みをした529事例の建築の作品解説から、設計意図や素材・形状など様々な情報を抽出した。

〈分析条件〉

- ・新建築データ上の検索ワードとして「ファサード」を指定
- ・ファサード全体像と使用素材が明らかになっている事例
- ・個人住宅建築を除く

表3-6・3-7に、素材と用途地域・ファサードパターン・用途分類の仕分け表を示す。

素材に関しては、ファサード調査の結果から、使用されたすべての建材を43種類に分類分けを行った。

用途地域に関しては、現行の建築基準法により決められている用途地域を本研究用に再編成し直したものを採用している(表3-8)。

ファサードパターンに関しては、既往研究を参考に9種類(その他を含む)に分類をした(図3-23)。ランダム型は、文字通りランダムに決められたファサードや複雑な形状・表層をしたファサードを指す。アート型は、まるで絵のような芸術的なファサードや唯一無二のファサードを指す。

用途分類に関しては、一般社団法人公共建築協会の発表している用途分類¹²⁾を、本研究用に再編成し直したものを採用している。

表3-6 素材の仕分け表

素材分類	使用建材	素材分類	使用建材	素材分類	使用建材
木材	木材	H形鋼材(鉄骨)	H鋼材	緑化植物・植栽	緑化植物
木製格子	木製格子		H形鋼		緑化テラス
木製ルーバー	木製ルーバー		鉄骨		植栽
木製建具	木製建具		亜鉛メッキ銅板	太陽光パネル	太陽光パネル
ガラス(透過)	ガラス(透過)		アルミニウム銅板		ALCパネル
ガラス(半透過)	ガラス(半透過)		アルミカーテンウォール		ETFE
ガラス(不透過)	ガラス(不透過)		アルミリブパネル		FRPグレーチング
ガラス(反射)	ガラス(反射)		アルミパネル		GRCルーバー
ガラススクリーン	ガラススクリーン		ガルバリウム銅板		アクリル
ガラスルーバー	ガラスルーバー	金属板	ステンレス銅板		偏光板
ガラスシャッター	ガラスシャッター		スチール銅板		ロールスクリーン
ガラスチューブ	ガラスチューブ		スチールパネル		網戸
ガラスピース	ガラスピース		チタン亜鉛合金		ポリカーボネート
ガラスブロック	ガラスブロック		鉄板		ワイヤー鎖樋
ガラスブリーズソレイユ	ガラスブリーズソレイユ		銅板		紙管
鏡面ルーバー	鏡面ルーバー		メタル	その他	フレキシブルボード
モルタル	モルタル		金属パネル		バルーン
	コンクリート		鋼製パネル		ビニール
コンクリート	PC板		銅板		トラバーチン
コンクリート格子	コンクリート格子		鋼製プレート		トリカルナット
コンクリートブロック	コンクリートブロック	金属波板	アルミニウム波板		炭素繊維ストランロッド
コンクリートルーバー	コンクリートルーバー		スバンドレルパネル		ベアサッシ
	タイル	金属格子	アルミ面格子		テント膜
タイル	石器質タイル		ステンレスフレーム		PC庇
	セラミックタイル		スチールフレーム		珪酸カルシウム板
	花崗岩		亜鉛メッキルーバー		ステンレス鏡面仕上げ
	グリーンオニキス石	金属ルーバー	アルミルーバー		スチールサッシュ
	御影石		ガルバリウムルーバー		金属パネル樹脂製サッシ
	大理石		アルミフィン		
石材	大理石タソスホワイト		スチールルーバー		
	人工石パネル		チタンルーバー		
	ストーンスクリーン		金属製パイプルーバー		
	石材		鋼製ルーバー		
	ライムストーン	エキスパンドメタル	エキスパンドメタル		
	スレート板		アルミパンチングメタル		
石材ルーバー	花崗岩フィン	パンチングメタル	パンチングメタル		
	御影石ルーバー		有孔折版銅板		
石材鋳物	花ブロック		アルミメッシュ		
	セメント		ステンレスメッシュ		
セメント系	セメント板	金属簾	アルミ簾		
	窯業系サイディング		銅簾		
	サイディング張り		アルミ鋳物		
セメント系ルーバー	セメント板ルーバー	金属鋳物	アルミ製建具		
レンガ	レンガ		ステンレス鋳物		
	土壁		鉄の作品		
土系	テラコッタ				
土系ルーバー	テラコッタルーバー				
塗料	塗料				

表3-6 用途地域・ファサードパターン・用途分類の仕分け表

用途地域	ファサードパターン	用途分類
I 低層住居専用地域	A 無為型	1 複合施設
II 中高層住居専用地域	B 縦ライン型	2 文化施設
III 住居地域	C 横ライン型	3 体育施設
IV 近隣商業地域	D 縦ルーバー型	4 教育施設
V 商業地域	E 横ルーバー型	5 宗教施設
VI 工場地域	F 縦ズレ型	6 福祉施設
VII 工業専用地域	G 横ズレ型	7 医療施設
VIII 田園住居地域	H グリッド型	8 事務施設
IX その他	I ランダム型	9 試験・研究施設
F 海外	J アート型	10 宿泊施設
	K その他	11 商業施設
		12 情報通信施設
		13 交通施設
		14 流通施設
		15 他の産業施設
		16 一般行政施設
		17 特別行政施設
		18 低中層集合住宅
		19 高層集合住宅
		20 寄宿舎・寮
		21 特殊設備施設
		22 その他

表3-8 用途地域再編成表

用途地域	修論用用途地域	修論用コード
第一種低層住居専用地域	低層住居専用地域	I
第二種低層住居専用地域		
第一種中高層住居専用地域	中高層住居専用地域	II
第二種中高層住居専用地域		
第一種住居地域	住居地域	III
第二種住居地域		
準住居地域		
近隣商業地域	近隣商業地域	IV
商業地域	商業地域	V
準工業地域	工場地域	VI
工業地域		
工業専用地域	工業専用地域	VII
田園住居地域	田園住居地域	VIII
不明	その他	IX
海外	海外	F

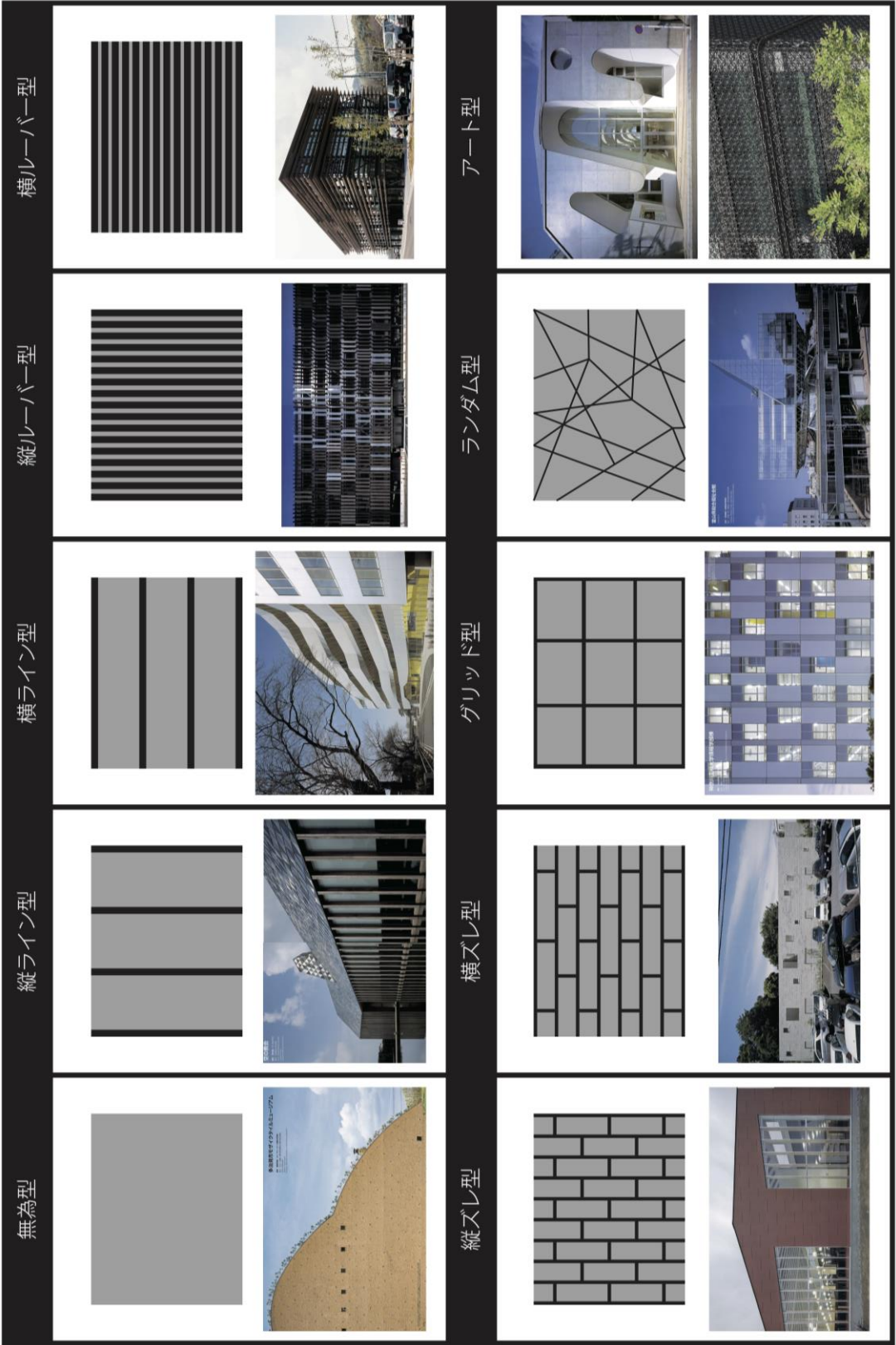


図3-23 ファサードパターン一覧

ファサード調査の結果を示す。

表 3-9・図 3-24 に用途地域別事例数を示す。円グラフから見ても変わるように今回の調査では、商業地域の事例が3割を超えている。次いで、住宅地域・中高層住宅専用地域となっている。このことから、建築雑誌に扱われるようなファサードを持つ建築は、都市開発をしているもしくは予定されている場所や人が多く集う場所に建てられる傾向があると考えられる。

また海外の事例は30件ほど扱っている。海外の建築は、日本の建築と比較すると規模やスケールがとても壮大であるため、今後より多くの海外の事例を調査することで、その違いがより明確になり、日本の建築の発展に繋がると考えられる。

表3-9 用途地域別事例数

I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	F
低層住居専用地域	中高層住居専用地域	住居地域	近隣商業地域	商業地域	工場地域	工業専用地域	田園住居地域	その他	海外
29	56	78	31	180	42	4	0	78	31
529									

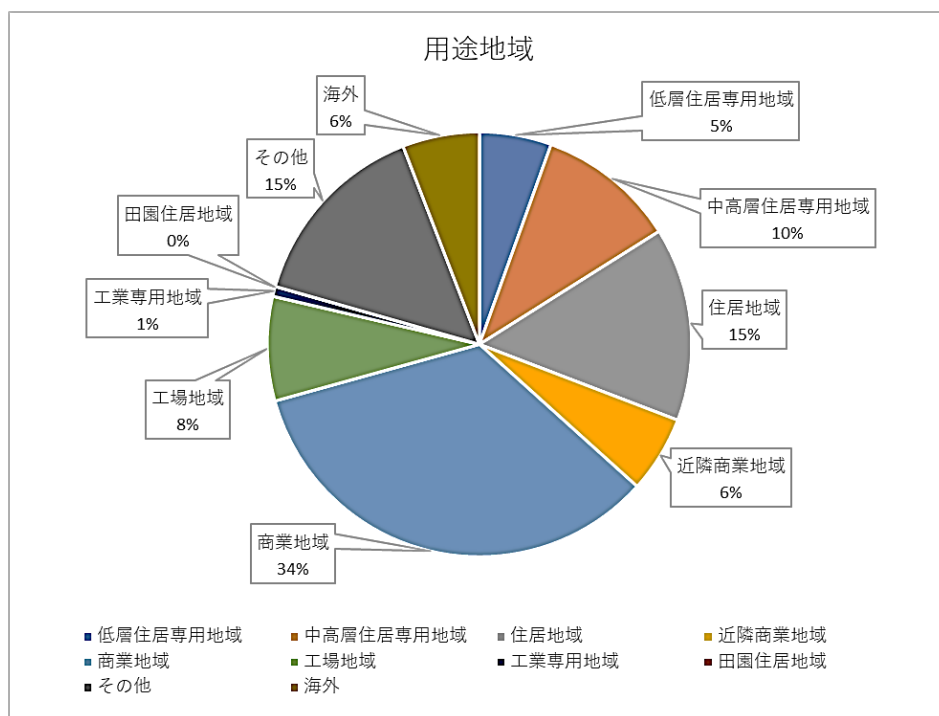


図3-24 用途地域の割合

表 3-10・図 3-25 にファサードパターン別事例数を示す。円グラフから見ても変わるように今回の調査では、グリッド型の事例が3割を占めている。次いで、横ライン型・縦ライン型となっている。このことから、建築ファサードの多くは、グリッドや縦・横方向を想起させる単純な形でできていることが考えられる。つまり、ファサードへの印象の差は、ファサードではなく、素材などの表層特性によるものが大きく影響していると考えられる。

表3-10 ファサードパターン別事例数

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
無為型	縦ライン型	横ライン型	縦ルーバー型	横ルーバー型	縦ズレ型	横ズレ型	グリッド型	ランダム型	アート型	その他
18	79	87	29	23	7	26	157	53	43	7
529										

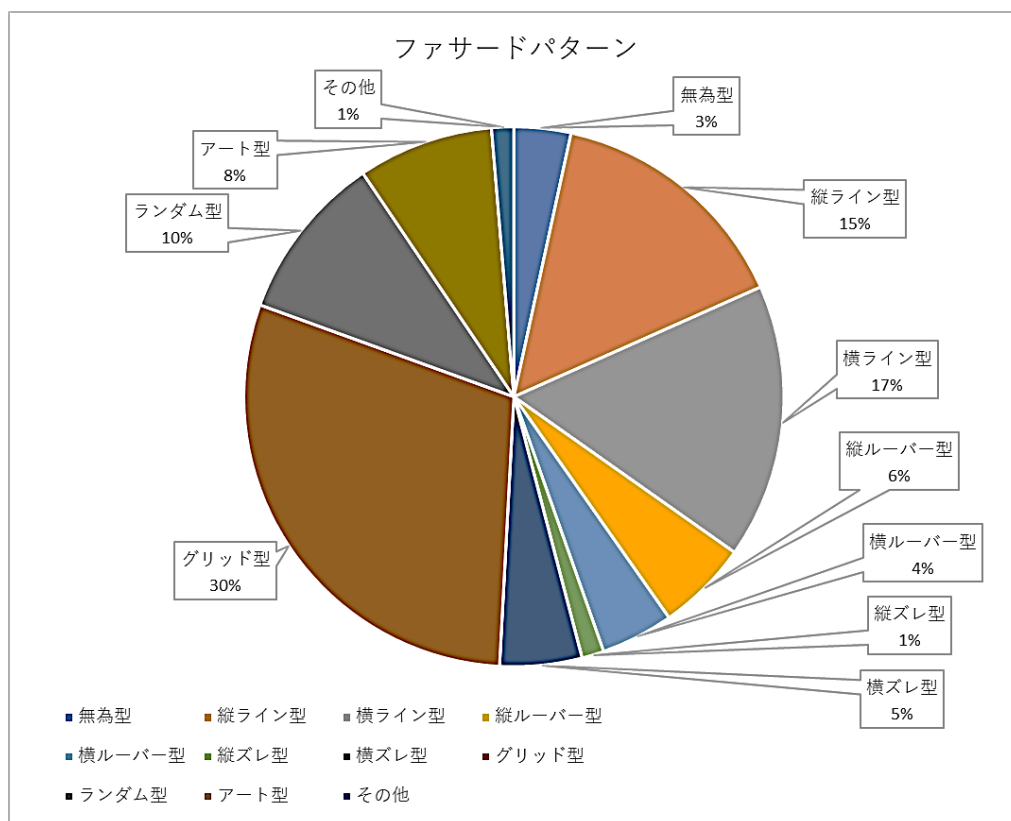


図3-25 ファサードパターンの割合

表 3-11 にファサードパターンと用途分類をクロス集計したものを示す。表からもわかるように、グリッド型・縦ライン型・横ライン型が複合施設・文化施設・教育施設・事務施設・商業施設に多く用いられることがわかる。また、アート型は商業施設に多く用いられ、よりこだわりのあるファサードが商業施設に多く見られる裏付けといえる。

表3-11 クロス集計（ファサードパターン-用途分類）

		用途分類																					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		複合施設	文化施設	体育施設	教育施設	宗教施設	福祉施設	医療施設	事務施設	試験・研究施設	宿泊施設	商業施設	情報通信施設	交通施設	流通施設	他の産業施設	一般行政施設	特別行政施設	低中層集合住宅	高層集合住宅	寄宿舍・寮	特殊設備施設	その他
ファサードパターン	A 無為型	0	1	0	2	1	0	0	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
	B 縦ライン型	13	10	1	7	2	7	5	3	3	1	9	0	0	4	0	2	0	8	1	0	2	1
	C 横ライン型	13	6	2	12	1	3	5	17	0	0	8	1	1	1	0	1	0	13	0	2	0	1
	D 縦ルーバー型	4	4	0	4	1	1	0	4	4	0	2	0	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0
	E 横ルーバー型	3	3	0	5	1	0	0	6	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	F 縦ズレ型	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0
	G 横ズレ型	4	4	0	2	2	0	0	0	1	0	3	0	1	1	0	1	0	7	0	0	0	0
	H グリッド型	26	20	1	12	1	3	3	38	3	1	20	1	2	2	0	6	0	12	4	1	0	1
	I ランダム型	2	9	0	7	1	4	1	6	0	0	9	0	0	2	0	0	1	10	0	0	0	1
	J アート型	1	3	0	5	4	0	0	7	0	2	19	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	K その他	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 3-12 にファサードパターンと素材をクロス集計したものを示す。表からもわかるように、ガラス(透過)がグリッド型・縦ライン型・横ライン型に多く用いられていることがわかり、中でもグリッド型との相性が良いことがわかった。また、木材・コンクリート・金属は比較的使用されている素材ながらも、特に相性の良いファサードパターンはなく、汎用性の高さがうかがえる。

表3-12 クロス集計（ファサードパターン-素材）

		素材																																								
		木材	木製格子	木製ルーバー	木製建具	ガラス（透過）	ガラス（半透過）	ガラス（反射）	ガラス（不透過）	ガラススクリーン	ガラスシャッター	ガラスチューブ	ガラスブロック	ガラスブリーズンレイユ	鏡面ルーバー	モルタル	コンクリート	コンクリートブロック	コンクリートパネル	タイル	石材	石材ルーバー	石材舗装	セメント系	セメント系ルーバー	レンガ	土系	土系ルーバー	塗料	H形鋼材（鉄骨）	金属板	金属波板	金属格子	金属ルーバー	エキスパンドメタル	パンチングメタル	金属舗装	強化植物・植栽	太陽光パネル	その他		
ファサードパターン	A 無角型	2	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B 縦ライン型	8	0	2	0	53	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	4	5	1	4	0	0	0	0	0	12	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0	9
	C 横ライン型	5	0	3	1	54	3	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	5	33	0	0	8	1	0	0	4	0	2	0	0	1	15	2	1	5	1	3	1	2	5	0	9
	D 縦ルーバー型	2	0	6	0	17	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	
	E 横ルーバー型	1	0	4	0	16	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	12	0	0	1	0	1	0	
	F 縦ズレ型	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	G 横ズレ型	3	0	1	0	9	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	1	2	0	0	1	0	5	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0		
	H グリッド型	14	0	2	0	123	16	2	3	2	1	2	0	0	2	0	0	26	2	0	10	11	0	0	5	1	3	0	0	1	2	21	1	2	5	0	1	0	0	2	1	4
	I ランダム型	11	0	1	0	98	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	22	0	0	0	4	5	0	0	4	0	1	0	0	0	2	11	2	0	3	0	1	0	0	0	6	
	J アート型	4	0	0	0	22	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	2	2	0	0	1	0	2	0	0	0	1	9	0	1	0	0	0	3	0	0	4	
	K その他	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	

表 3-13・図 3-26 に用途分類別事例数を示す。円グラフから見ても変わるように今回の調査では、事務施設・商業施設の事例が全体の3割以上を占めている。次いで、複合施設・文化施設・教育施設・低中層集合となっている。このことから、やはり建築雑誌に扱われるようなファサードを持つ建築は、人が多く集う場所に建てられる傾向があると考えられる。

表3-13 用途分類別事例数

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
複合施設	文化施設	体育施設	教育施設	宗教施設	福祉施設	医療施設	事務施設	試験・研究施設	宿泊施設	商業施設	情報通信施設	交通施設	流通施設	他の産業施設	一般行政施設	特別行政施設	低中層集合住宅	高層集合住宅	寄宿舍・寮	特殊設備施設	その他
66	60	4	60	14	19	15	89	12	4	79	2	5	11	0	11	1	61	5	4	2	5
529																					

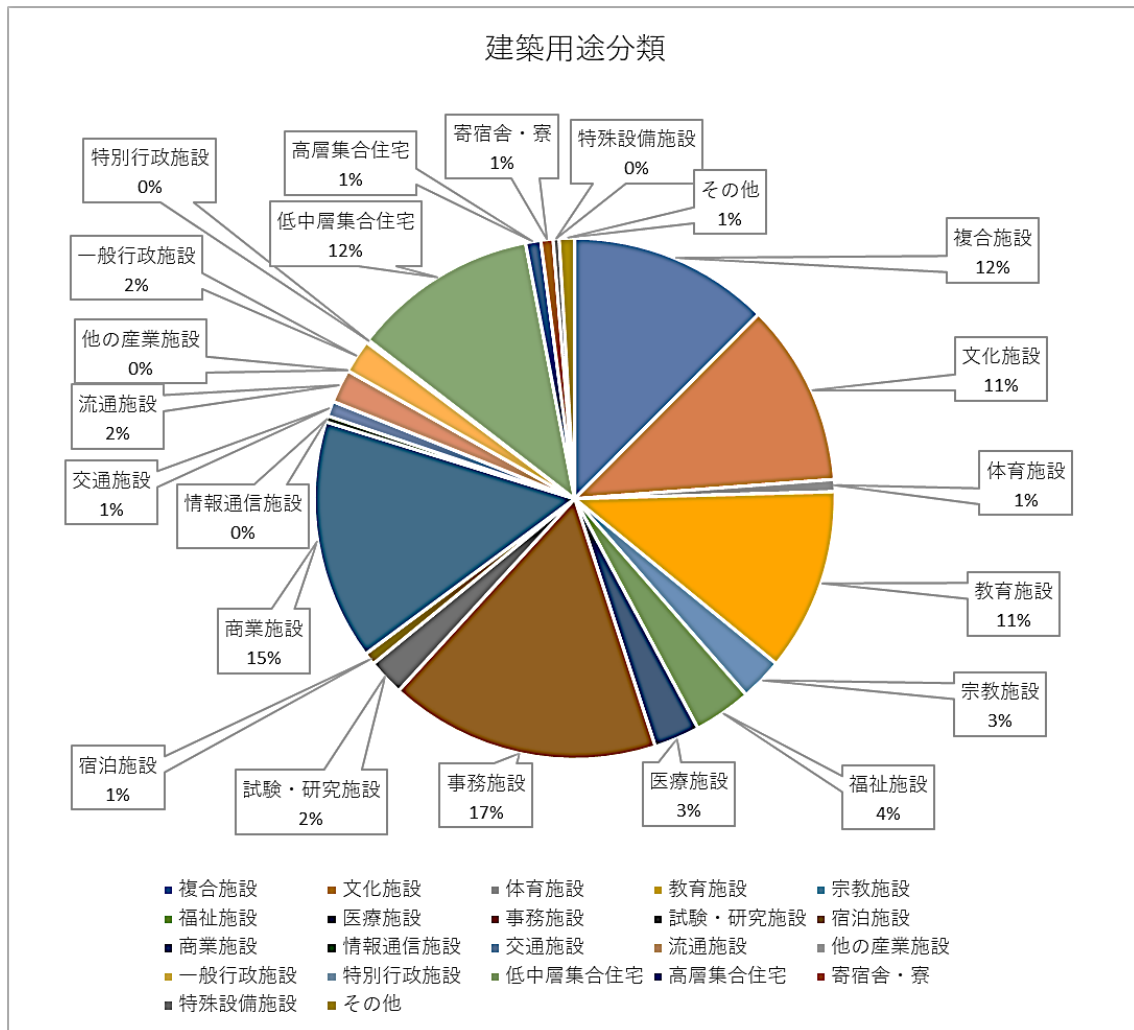


図3-26 用途分類の割合

抽出された設計意図は、類似するものなどをまとめて、61 種類に分類できた(表 3-14)。

表3-14 クロス集計 (素材-設計意図)

1	思想	31	外観一貫性
2	素材	32	新規性
3	景色の映込み	33	非日常
4	〇〇の再現・模倣	34	内部空間構成
5	デザイン性	35	地域性
6	設計指針の継承	36	看板
7	環境への配慮	37	方向性
8	日射	38	深み・奥行き感
9	熱環境	39	耐震・耐力
10	採光	40	静けさ・落ち着き
11	透明感	41	美観
12	内部情報・アクティビティの表出	42	エイジング・経年変化
13	風環境	43	ローコスト・プロトタイプ
14	プライバシー(視線)	44	柔らかさ
15	開放性・人の誘致	45	心理的影響
16	重み	46	ブランド性・企業性
17	スケール感・ヴォリューム感	47	シンプルさ
18	眺望	48	開口形式
19	目隠し	49	陰影
20	構造	50	物語性
21	存在感	51	存在感の消失
22	象徴性	52	耐候
23	親しみやすさ	53	耐火
24	内外の関係性	54	排熱
25	清潔感	55	耐風
26	設計者	56	歴史
27	施主	57	防音
28	景観・街並み	58	電波対策
29	背景	59	防犯
30	建築の表情	60	内向性
		61	その他・不明

表 3-15 に用途分類と設計意図をクロス集計したものを示す。表から以下のことが読み取れる。

- * 複合施設・事務施設・商業施設といった都市部に多く見られる建築は、街並みや景観への配慮が一番重要視されている。
- * 事務施設は、人々が働く場ということもあり、日射・採光・眺望といった内部環境への配慮もされている。
- * 商業施設は、多くの人々が行き交う場所ということもあり、内部情報やアクティビティの表出をし、外部へのアピールを行っている。
- * 低中層集合住宅では、プライバシーが一番重要視されている。また、内部空間構成がファサードに作用することが見受けられる。

表3-15 クロス集計（用途分類-設計意図）

		設計意図																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		思想	素材	色の再現・模倣	○の再現・模倣	デザイン性の継承	環境への配慮	日射環境	採光環境	透明感	内部情報・アクティビティの表出	風環境	プライバシー（視線遮断）	開放性・重み	スケール感・ヴォリューム感	目隠し	存在感	象徴性	親しみの関係性	内外の清潔感	設計者	景観・街並み	背景	建築の表情	外観の一貫性	非常規性	内部空間構成	地域性	方向性	深み・奥行き感	耐震・耐力	静けさ・落ち着き	エイジング・経年変化	ロイヤリティ・プロトタイプ	心理的影響	ブランド性・企業性	シンボルさ	開口形式	陰影	物語性	存在感の消失	耐火	耐熱	耐風	歴史	防音	電波対策	防犯	内向性	その他・不明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
用途分類	1	複合施設	1	1	3	6	1	3	1	5	0	3	4	4	1	2	3	4	6	1	1	4	2	1	3	0	0	1	15	2	3	1	0	0	1	1	0	0	1	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

43 種類に分類された素材と 61 種類に分類された設計意図で、クロス集計を行ったものを表 3-16 に示す。多く用いられている素材として、「木材・ガラス・コンクリート・金属」が比較的大きな数値を示しているが、設計意図に関しては「景観・街並み」への意識が強いことわかる。図の中で濃く示されてる箇所が、素材と設計意図が強い関係性があると言えるが、ここでは内部環境や周囲との関係性を考慮したうえで、素材の選択をしていることが見受けられた。

表3-16 クロス集計（素材-設計意図）

[illegible]

61 種類の設計意図について、それぞれの内容をもとに kj 法¹³⁾に準じて分類・整理を行った結果、設計意図は【人・都市・建築・環境】という4つの側面に大別でき、それらはさらに9つのカテゴリーに分類された(図3-27)。

この中で上位3つのカテゴリーは、「内部環境への配慮(213件/25.5%)」、「街並み/景観(203件/24.3%)」、「内外の関係性(188/22.5%)」であった。これは、ファサードを単なる面として内側と外側からの見え方だけを考慮しているのではなく、建築内部と街や都市などといった外部との繋がり方を操作する重要な機能として認識されていることを示している。

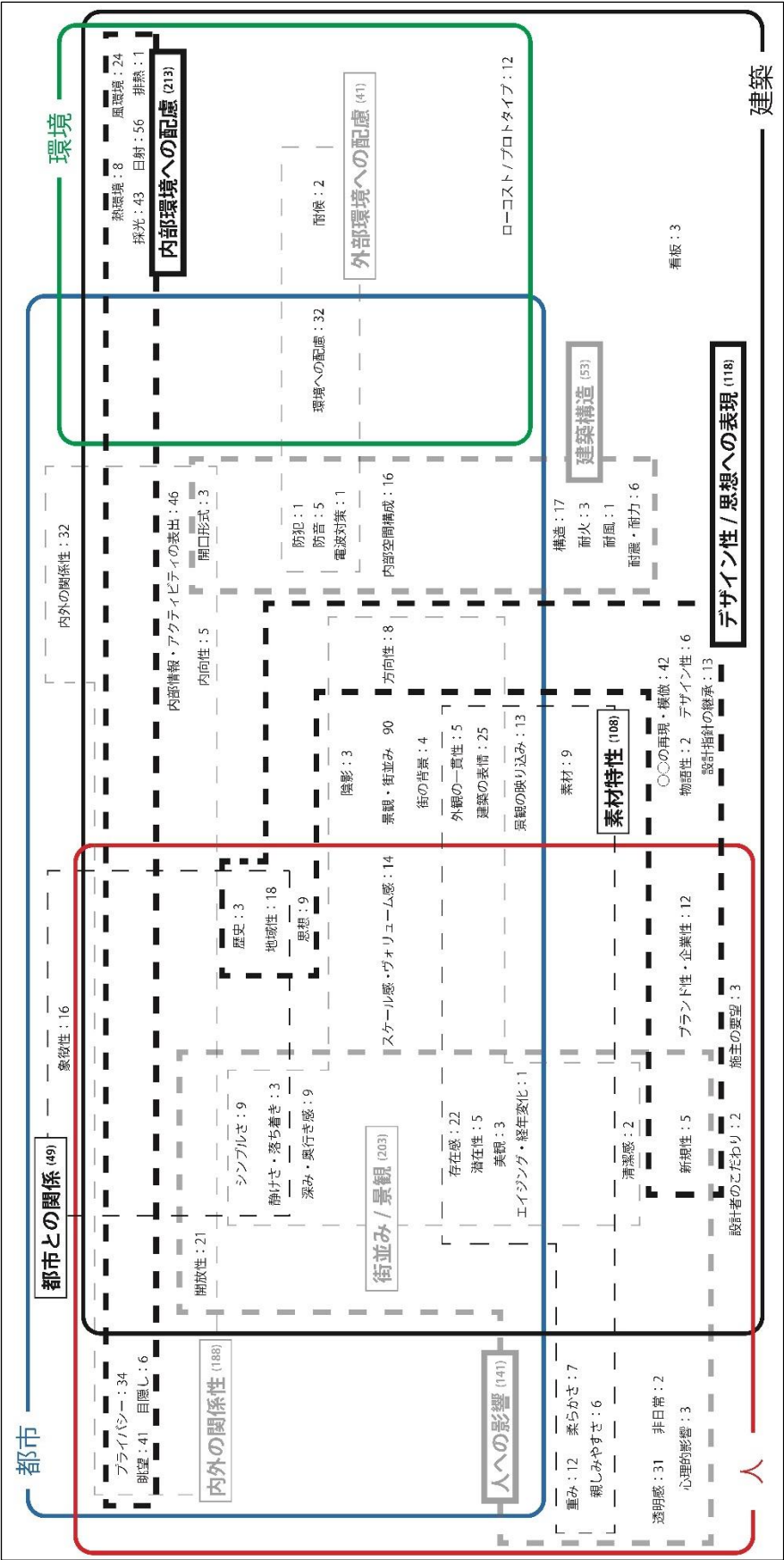


図3-27 設計意図図の分類結果

また、検査Ⅰで使用していた【バランス】という評価尺度の代わりとして、全体の3割強を占めている【人】という側面を持つ設計意図の中から、人の感覚尺度に類似する項目を参考にして検査Ⅱの評価尺度を構成することとした(図 3-28)。最終的に図中の赤字で示した2項目を追加し、全6項目を検査Ⅱの評価尺度として用いた。

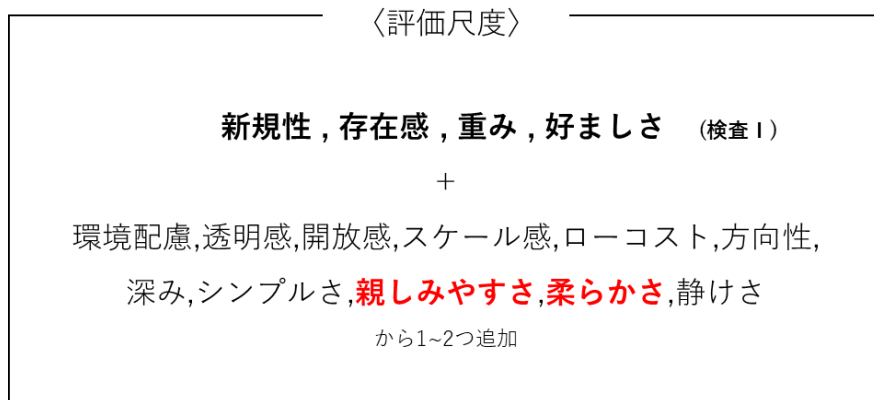


図3-28 評価尺度の検討

3.3. 検査Ⅱ

3.3.1. 検査概要

検査Ⅱの試料概要を表 3-17 に示す。検査Ⅱでは、検査Ⅰで印象評価に一番影響を与える
と分かった素材に加えて、ファサード調査にて抽出した情報からファサードパターン、明
度・彩度を条件に追加し作成した簡易的な建築モデルを検査試料(61 事例)とした(図 3-29)。
明度・彩度の情報を表 3-18 に、検査試料一覧を表 3-19 に示す。

なお、明度・彩度は、「SketchUp2019」上で、素材テクスチャを張り付ける際に、詳細設
定として明度・彩度の操作を行った。さらに建築モデルを作成する際に、現実味のないファ
サードパターンや色彩になる事例は、検査対象外とした。

表3-17 試料概要

素材	ファサード パターン	彩 度		
		低	中	高
ガラス コンクリート 金属 木材 石材 タイル	グリッド型	低	②	
	縦型	中	③	①
	横型	高	④	

※①中明度・中彩度が基準

表3-18 明度・彩度

	RGBコード			HSVコード			①中明度中彩度			②低明度中彩度			③中明度低彩度			④高明度中彩度			⑤中明度高彩度		
	R	B	G	H	S	V	H	S	V	H	S	V	H	S	V	H	S	V	H	S	V
Concrete Simple B01 2m	125	122	120	24	3	49	24	3	50	24	3	25	24	-	50	24	3	75	24	-	50
Stucco_E01_50cm	117	69	47	18	59	45	18	50	50	18	50	25	18	25	50	18	50	75	18	75	50
Steel_Blurry	173	177	177	180	2	69	180	2	50	180	2	25	180	-	50	180	2	75	180	-	50
Stone_A_200cm(石材②)	134	140	141	188	4	55	188	4	50	188	4	25	188	-	50	188	4	75	188	-	50
Stone_D_200cm(石材③)	179	173	168	27	6	70	27	6	50	27	6	25	27	-	50	27	6	75	27	-	50
Marble_C_150cm(石材①)	149	142	137	24	8	58	24	8	50	24	8	25	24	-	50	24	8	75	24	-	50
Vebeer_A02_120cm(木材①)	166	141	119	28	28	65	28	50	50	28	50	25	28	25	50	28	50	75	28	75	50
Vebeer_B01_120cm(木材②)	162	125	95	26	41	63	26	50	50	26	50	25	26	25	50	26	50	75	26	75	50
Vebeer_C01_120cm(木材③)	165	129	107	22	35	64	22	50	50	22	50	25	22	25	50	22	50	75	22	75	50
Glass_Window_Neutral	255	247	239	30	6	100	32	9	56	30	2	39	30			30	1	78	30		

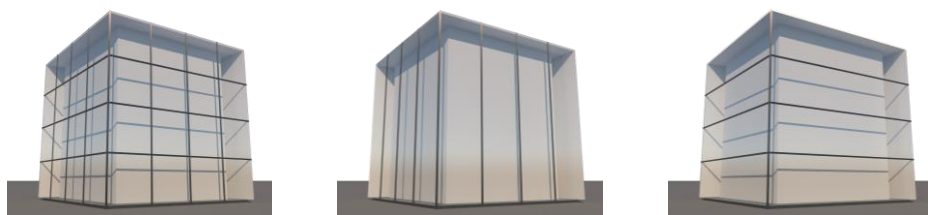


図3-29 試料例(左からグリッド型・縦型・横型)

表3-19 試料一覧

試料番号	素材	ファサードパターン	明度彩度
1	木材・木製ルーバー	横型	①中明度中彩度
2	石材	グリッド型	②低明度中彩度
3	コンクリート	縦型	④高明度中彩度
4	ガラス	横型	①中明度中彩度
5	タイル	グリッド型	⑤中明度高彩度
6	木材・木製ルーバー	縦型	①中明度中彩度
7	タイル	横型	⑤中明度高彩度
8	石材	縦型	①中明度中彩度
9	タイル	横型	④高明度中彩度
10	木材・木製ルーバー	横型	⑤中明度高彩度
11	金属板・金属ルーバー	縦型	①中明度中彩度
12	コンクリート	横型	②低明度中彩度
13	タイル	グリッド型	③中明度低彩度
14	金属板・金属ルーバー	横型	④高明度中彩度
15	木材・木製ルーバー	縦型	④高明度中彩度
16	ガラス	縦型	②低明度中彩度
17	金属板・金属ルーバー	グリッド型	④高明度中彩度
18	ガラス	縦型	①中明度中彩度
19	タイル	グリッド型	④高明度中彩度
20	石材	横型	①中明度中彩度
21	金属板・金属ルーバー	横型	②低明度中彩度
22	ガラス	縦型	④高明度中彩度
23	木材・木製ルーバー	グリッド型	③中明度低彩度
24	金属板・金属ルーバー	グリッド型	②低明度中彩度
25	石材	横型	②低明度中彩度
26	タイル	横型	①中明度中彩度
27	コンクリート	グリッド型	①中明度中彩度
28	木材・木製ルーバー	縦型	②低明度中彩度
29	コンクリート	グリッド型	④高明度中彩度
30	ガラス	グリッド型	①中明度中彩度

試料番号	素材	ファサードパターン	明度彩度
31	木材・木製ルーバー	グリッド型	②低明度中彩度
32	ガラス	グリッド型	②低明度中彩度
33	石材	グリッド型	④高明度中彩度
34	木材・木製ルーバー	横型	②低明度中彩度
35	タイル	グリッド型	①中明度中彩度
36	木材・木製ルーバー	横型	④高明度中彩度
37	ガラス	横型	②低明度中彩度
38	コンクリート	横型	④高明度中彩度
39	木材・木製ルーバー	グリッド型	①中明度中彩度
40	石材	縦型	④高明度中彩度
41	タイル	横型	③中明度低彩度
42	木材・木製ルーバー	グリッド型	⑤中明度高彩度
43	石材	縦型	②低明度中彩度
44	コンクリート	縦型	①中明度中彩度
45	金属板・金属ルーバー	縦型	④高明度中彩度
46	コンクリート	横型	①中明度中彩度
47	木材・木製ルーバー	縦型	③中明度低彩度
48	木材・木製ルーバー	縦型	⑤中明度高彩度
49	金属板・金属ルーバー	グリッド型	①中明度中彩度
50	コンクリート	グリッド型	②低明度中彩度
51	ガラス	横型	④高明度中彩度
52	金属板・金属ルーバー	縦型	②低明度中彩度
53	タイル	グリッド型	②低明度中彩度
54	木材・木製ルーバー	グリッド型	④高明度中彩度
55	石材	横型	④高明度中彩度
56	ガラス	グリッド型	④高明度中彩度
57	タイル	横型	②低明度中彩度
58	木材・木製ルーバー	横型	③中明度低彩度
59	金属板・金属ルーバー	横型	①中明度中彩度
60	コンクリート	縦型	②低明度中彩度
61	石材	グリッド型	①中明度中彩度

評価尺度は検査Ⅰとファサード調査の結果から、【バランス】に代わって、【硬軟性】と【親しみやすさ】を新たに加えた(表 3-20)。被験者は、本学建築学域修士1・2年、OBOGと本学他学域修士1・2年の男女32名(20代前半)とした。回答方法は、Google Formを使用した(図 3-30)。

表3-20 検査Ⅱ評価尺度

新規性	見慣れた	—	目新しい
存在感	地味である	—	派手である
重み	軽快である	—	重厚である
硬軟性	柔らかそうな	—	硬そうな
親しみやすさ	親しみにくい	—	親しみやすい
好ましさ	好ましくない	—	好ましい

図3-30 検査Ⅱ回答フォーム

3.3.2. 結果・考察

表 3-21・3-22 に系列範疇法の結果と各評価尺度の共通尺度を示した。各評価尺度の標準偏差は 0.89～0.94 となっており、ばらつきは見られるが平均的であり、妥当であると思われる。

【新規性】の尺度値の平均は「0.08」となっており、やや見慣れたと評価している割合が多い。

【存在感】の尺度値の平均は「-0.08」となっており、やや地味であると評価している割合が多い。

【重み】の尺度値の平均は「0.10」となっており、やや重厚であると評価している割合が多い。

【硬軟性】の尺度値の平均は「0.43」となっており、やや硬そうだと評価している割合が多い。

【親しみやすさ】の尺度値の平均は「-0.10」となっており、やや親しみにくいと評価している割合が多い。

【好ましき】の尺度値の平均は「0.11」となっており、やや好ましいと評価している割合が多い。

表3-21 系列範疇法結果

系列範疇法分析結果												
	新規性		存在感		重み		硬軟性		親しみやすさ		好ましさ	
	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差
合計	4.76	54.21	-4.70	55.41	5.80	56.61	26.17	56.96	-6.11	56.97	6.93	57.36
平均	0.08	0.89	-0.08	0.91	0.10	0.93	0.43	0.93	-0.10	0.93	0.11	0.94
偏差	0.87	0.17	0.71	0.15	0.73	0.16	0.46	0.14	0.45	0.14	0.34	0.11

表3-22 共通尺度

共通尺度					
評価項目	1	2	3	4	5
新規性	-1.91	-0.80	0	0.82	2.02
存在感	-1.92	-0.81	0	0.81	1.91
重み	-2.14	-0.93	0	0.87	2.00
硬軟性	-1.84	-0.80	0	0.82	1.96
親しみやすさ	-1.82	-0.76	0	0.76	1.79
好ましさ	-1.67	-0.70	0	0.77	1.80

検査Ⅰ同様に、【好ましさ】の尺度値に影響を与える影響度を把握するため、数量化一類分析を行った(図3-31)。表3-23に変数化コードを示す。目的変数【好ましさ】に対して、素材、ファサードパターン、明度・彩度を説明変数とした。

アイテムの順位を見ると、心理的影響を与える要因は、順に素材→明度・彩度→ファサードパターンであることが分かった。ファサードパターンのレンジウエイトはとても小さく、印象評価の際には建築形状やファサードパターンといったファサードを構成する素材特性以外は重要視されていないと考えられる。

カテゴリースコアに着目するとコンクリート、木材、ガラスが比較的高い数値を示しており、素材そのものの表情がファサード表層として表れていると、好ましく感じられていると考えられる。明度彩度においては、高明度より低明度のほうが、高彩度よりも低彩度のほうが、【好ましさ】の数値が高いことがわかった。

表3-23 変数化コード表

コード	カテゴリーデータ		
	素材	ファサードパターン	明度彩度
1	ガラス	グリッド型	①中明度中彩度
2	コンクリート	縦型	②低明度中彩度
3	金属	横型	③中明度低彩度
4	木材		④高明度中彩度
5	石材		⑤中明度高彩度
6	タイル		

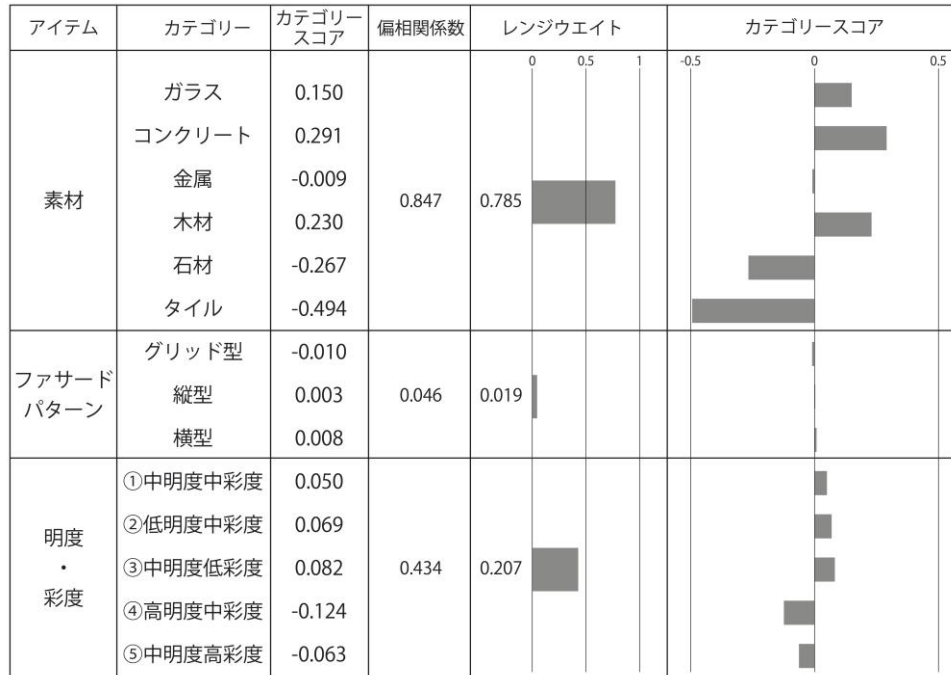


図3-31 数量化Ⅰ類分析結果

素材ごとの明度彩度・ファサードパターンによる評価尺度への影響度を以下に示す。

〈ガラス〉表 3-24・図 3-32～3-37

表3-24 ガラスファサードにおける尺度値

試料番号	素材	ファサードパターン	明度彩度	新規性	存在感	重み	硬軟性	親しみやすさ	好ましさ
32	ガラス	グリッド型	②低明度中彩度	1.06	0.82	-0.28	0.22	-0.73	0.26
30	ガラス	グリッド型	①中明度中彩度	0.98	0.77	-1.12	0.15	-0.55	0.21
56	ガラス	グリッド型	④高明度中彩度	0.92	1.03	-1.21	-0.02	-0.25	0.30
16	ガラス	縦型	②低明度中彩度	1.48	0.72	-0.50	0.30	-0.72	0.28
18	ガラス	縦型	①中明度中彩度	1.19	0.78	-0.91	0.25	-0.54	0.33
22	ガラス	縦型	④高明度中彩度	0.95	0.80	-1.51	0.01	-0.42	0.33
37	ガラス	横型	②低明度中彩度	1.08	0.63	-0.56	0.29	-0.77	0.16
4	ガラス	横型	①中明度中彩度	1.23	0.65	-1.32	0.17	-0.45	0.15
51	ガラス	横型	④高明度中彩度	1.16	1.13	-1.50	-0.23	-0.44	0.35

- * 【新規性】に関しては、全体的に 1.00 を超える値が多く、目新しいと評価されている。
グリッド型は明度による影響がほとんどないが、縦型は低明度の方が、横型は高明度の方が【新規性】の尺度値が高くなった。
- * 【存在感】に関しては、全体的に高明度ほど尺度値が高く、派手であると評価されているが、グラフの形はそれぞれ異なっている。
- * 【重み】に関しては、全体的に高明度ほど尺度値が低く、軽快であると評価されている。グラフの形はグリッド型・横型と縦型に分かれている。
- * 【硬軟性】・【親しみやすさ】・【好ましさ】に関しては、ファサードパターンによる影響がほとんどなく、それぞれ同じようなグラフとなっていて、硬そうな・親しみにくい・好ましいに寄った評価をされている。

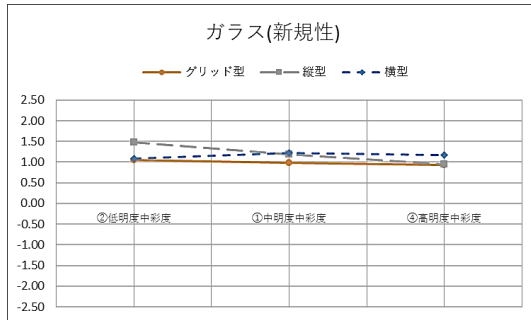


図3-32 ガラスファサードにおける【新規性】

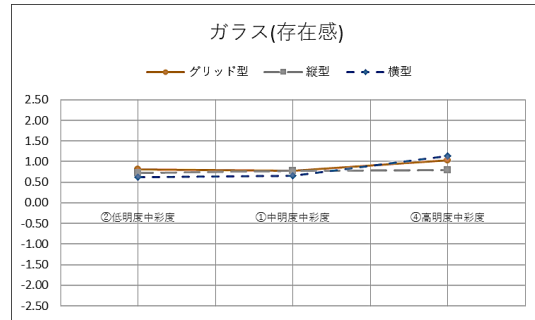


図3-33 ガラスファサードにおける【存在感】

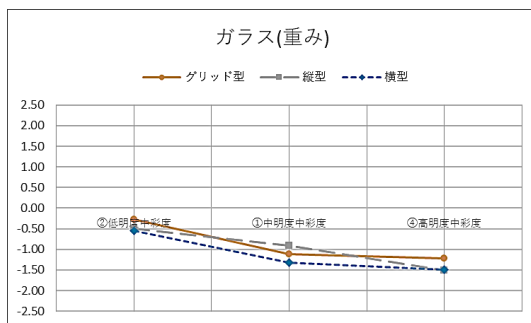


図3-34 ガラスファサードにおける【重み】

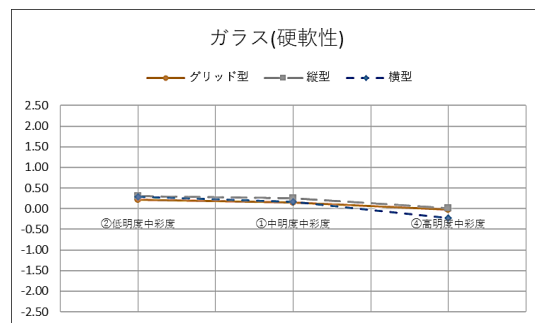


図3-35 ガラスファサードにおける【硬軟性】

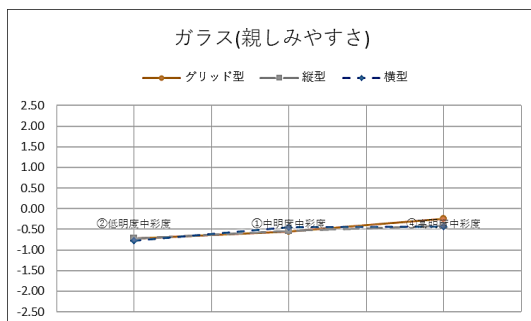


図3-36 ガラスファサードにおける【親しみやすさ】

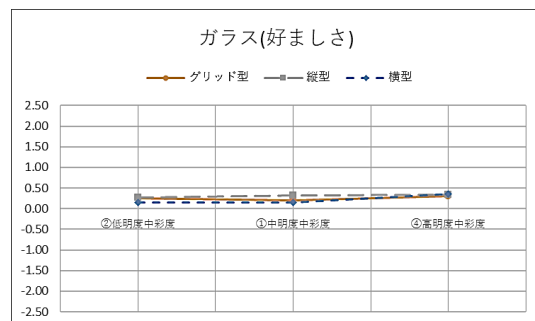


図3-37 ガラスファサードにおける【好ましき】

〈金属〉表 3-25・図 3-38～3-43

表3-25 金属ファサードにおける尺度値

試料番号	素材	ファサードパターン	明度彩度	新規性	存在感	重み	硬軟性	親しみやすさ	好ましさ
24	金属板・金属ルーバー	グリッド型	②低明度中彩度	1.51	0.94	1.02	1.38	-1.34	-0.25
49	金属板・金属ルーバー	グリッド型	①中明度中彩度	1.25	1.08	0.64	1.20	-1.12	0.02
17	金属板・金属ルーバー	グリッド型	④高明度中彩度	1.11	1.40	0.04	0.99	-1.26	0.07
52	金属板・金属ルーバー	縦型	②低明度中彩度	-0.32	-0.61	0.78	0.95	-0.73	0.15
11	金属板・金属ルーバー	縦型	①中明度中彩度	-0.53	-0.74	0.61	0.92	-0.43	0.50
45	金属板・金属ルーバー	縦型	④高明度中彩度	-0.15	-0.14	-0.06	0.65	-0.56	0.12
21	金属板・金属ルーバー	横型	②低明度中彩度	-0.17	-0.62	0.88	1.07	-0.38	0.35
59	金属板・金属ルーバー	横型	①中明度中彩度	-0.14	-0.35	0.75	0.68	-0.59	-0.08
14	金属板・金属ルーバー	横型	④高明度中彩度	0.17	-0.09	0.04	0.49	-0.29	0.05

- * 【新規性】に関しては、グリッド型は高明度ほど尺度値が低くなるが、1.00 以上の値を示しており、目新しいと評価されている。縦型は低明度・高明度が中明度より尺度値が高いV字型のグラフとなっており、横型は低明度・中明度がほぼ同値であり高明度が高い尺度値を示している。
- * 【存在感】に関しては、グリッド型・横型は異なる上り幅ではあるが高明度ほど尺度値が高く、縦型は低明度・高明度が中明度より尺度値が高いV字型のグラフとなっている。グリッド型は 0.94～1.40 と値が高く、派手であると評価されている。
- * 【親しみやすさ】に関しては、グリッド型・縦型は低明度・高明度が中明度より尺度値が低い山型、横型は低明度・高明度が中明度より尺度値が高いV字型のグラフとなっている。全体的に親しみにくい寄りに評価されているが、特にグリッド型は尺度値が小さい。
- * 【好ましさ】に関しては、グリッド型は高明度ほど尺度値が高くなり、縦型は低明度・高明度が中明度より尺度値が低い山型、横型は低明度・高明度が中明度より尺度値が高いV字型のグラフとなっている。
- * 【重み】・【硬軟性】に関しては、高明度ほど尺度値が小さく、それぞれ同じようなグラフとなっている。それぞれ、全体的に重厚である・硬そうに寄った評価をされている。

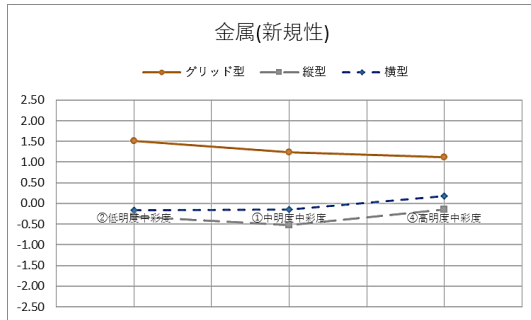


図3-38 金属ファサードにおける【新規性】

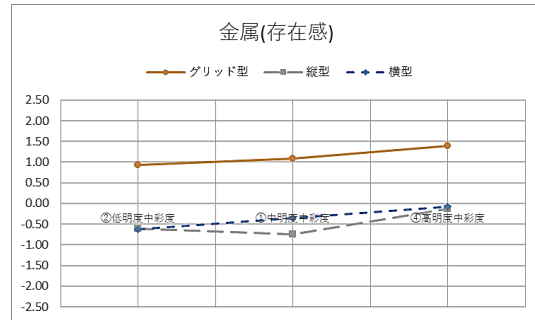


図3-39 金属ファサードにおける【存在感】

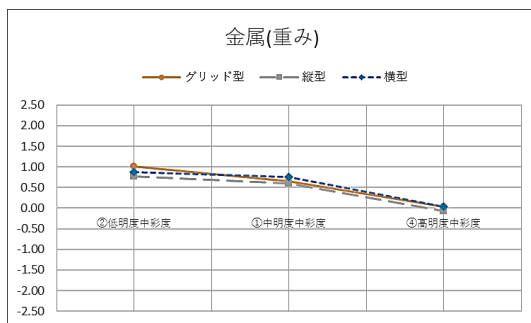


図3-40 金属ファサードにおける【重み】

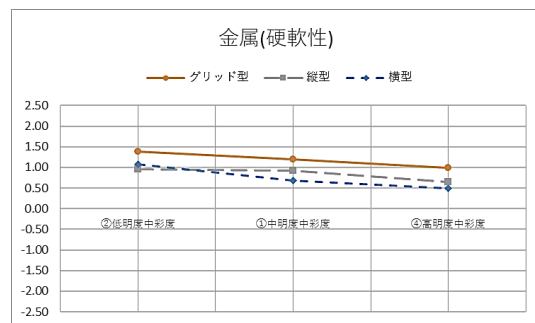


図3-41 金属ファサードにおける【硬軟性】

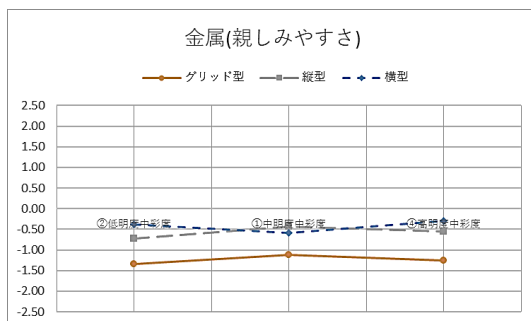


図3-42 金属ファサードにおける【親しみやすさ】

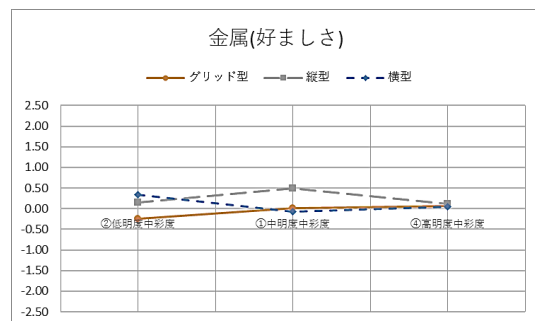


図3-43 金属ファサードにおける【好ましさ】

〈コンクリート〉表 3-26・図 3-44～3-49

表3-26 コンクリートファサードにおける尺度値

試料番号	素材	ファサードパターン	明度彩度	新規性	存在感	重み	硬軟性	親しみやすさ	好ましさ
50	コンクリート	グリッド型	②低明度中彩度	-0.19	-0.83	1.18	1.25	-0.28	0.33
27	コンクリート	グリッド型	①中明度中彩度	-0.26	-0.76	0.48	0.81	0.14	0.43
29	コンクリート	グリッド型	④高明度中彩度	0.06	-0.43	-0.51	0.30	0.18	0.52
60	コンクリート	縦型	②低明度中彩度	-0.28	-1.23	1.13	1.35	-0.15	0.48
44	コンクリート	縦型	①中明度中彩度	-0.52	-1.12	0.82	1.01	0.09	0.35
3	コンクリート	縦型	④高明度中彩度	-0.76	-0.56	-1.00	0.38	0.26	0.29
46	コンクリート	横型	①中明度中彩度	-0.86	-1.21	0.75	0.99	0.07	0.33
12	コンクリート	横型	②低明度中彩度	-0.29	-1.11	1.40	1.47	-0.26	0.46
38	コンクリート	横型	④高明度中彩度	-0.81	-0.49	-0.43	0.30	0.41	0.44

- * 【新規性】に関しては、全体的に見慣れた寄りの評価をされている。グリッド型は低明度・高明度が中明度より尺度値が高いV字型、縦型は高明度ほど尺度値が小さくなる、横型は低明度・高明度が中明度より尺度値が低い山型のグラフとなっている。
- * 【存在感】に関しては、全体的に地味である寄りの評価をされている。グラフは、どれも高明度ほど尺度値が高くなる。
- * 【重み】に関しては、尺度値にばらつきが見られ、グラフの形もそれぞれ異なっている。
- * 【硬軟性】に関しては、全体的に硬そうな寄りの評価をされている。グリッド型・縦型は、高明度ほど尺度値が低くなるグラフをしている。横型は、低明度・高明度が中明度より尺度値が低い山型のグラフとなっている。
- * 【親しみやすさ】に関しては、尺度値にばらつきが見られ、グラフの形もそれぞれ異なっている。グリッド型・縦型は、高明度ほど尺度値が低くなるグラフをしている。横型は、低明度・高明度が中明度より尺度値が低い山型のグラフとなっている。
- * 【好ましさ】に関しては、全体的に好ましい寄りの評価をされていて、グラフの形も似たものとなっている。

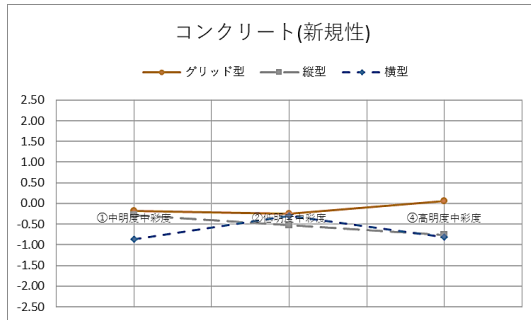


図3-44 コンクリートファサードにおける【新規性】

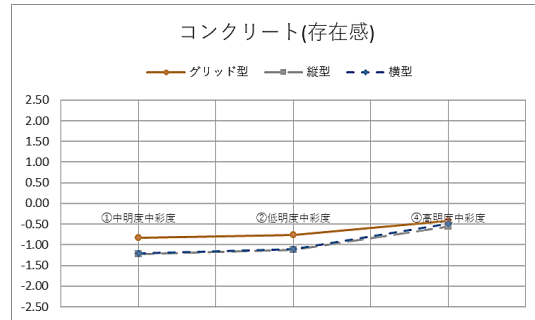


図3-45 コンクリートファサードにおける【存在感】

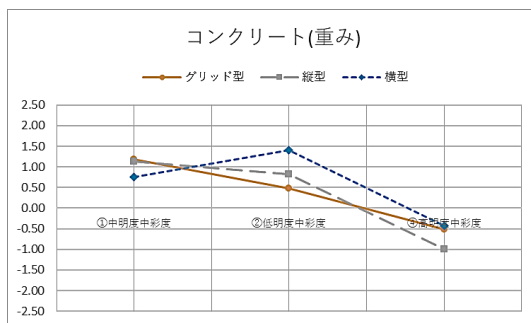


図3-46 コンクリートファサードにおける【重み】

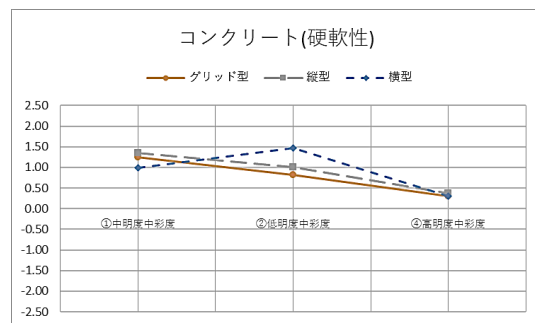


図3-47 コンクリートファサードにおける【硬軟性】

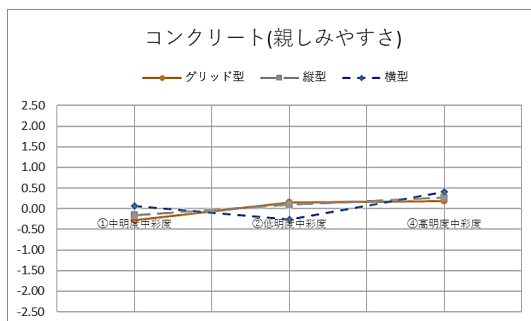


図3-48 コンクリートファサードにおける【親しみやすさ】

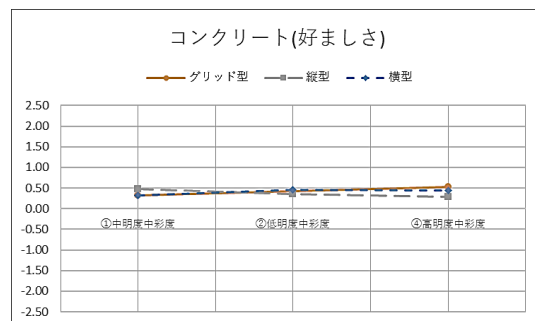


図3-49 コンクリートファサードにおける【好ましさ】

〈石材〉表 3-27・図 3-50～3-55

表3-27 コンクリートファサードにおける尺度値

試料番号	素材	ファサードパターン	明度彩度	新規性	存在感	重み	硬軟性	親しみやすさ	好ましさ
2	石材	グリッド型	②低明度中彩度	0.48	-0.64	1.12	0.96	-0.57	-0.31
61	石材	グリッド型	①中明度中彩度	-0.03	-0.22	0.22	0.23	-0.15	-0.11
33	石材	グリッド型	④高明度中彩度	0.71	0.57	-0.72	-0.43	-0.25	-0.37
43	石材	縦型	②低明度中彩度	0.03	-0.61	1.12	0.79	-0.43	-0.10
8	石材	縦型	①中明度中彩度	0.17	-0.54	0.20	0.27	-0.05	-0.20
40	石材	縦型	④高明度中彩度	0.10	0.35	-0.64	-0.27	-0.02	-0.14
25	石材	横型	②低明度中彩度	-0.15	-0.51	1.03	0.79	-0.33	-0.11
20	石材	横型	①中明度中彩度	-0.01	-0.38	0.46	0.42	0.21	0.09
55	石材	横型	④高明度中彩度	0.19	0.33	-0.55	-0.37	0.11	-0.15

* 【新規性】を除く5つの項目は、それぞれのファサードパターンでグラフの形が似ていて、ファサードパターンよりも明度による影響が大きいことがわかる。

* 【新規性】に関しては、尺度値にばらつきが見られ、グラフの形もそれぞれ異なっている。縦型・横型は低明度・高明度が中明度より尺度値が低い山型、グリッド型は低明度・高明度が中明度より尺度値が高いV字型のグラフとなっている。

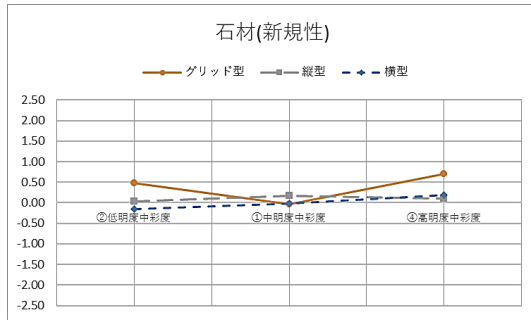


図3-50 石材ファサードにおける【新規性】

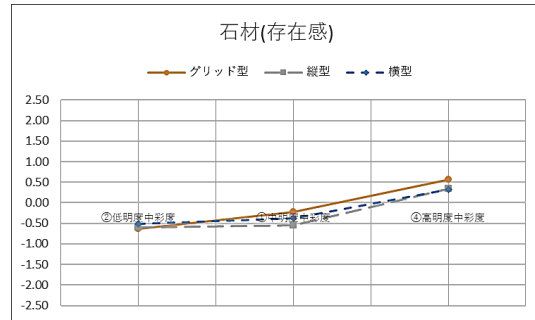


図3-51 石材ファサードにおける【存在感】

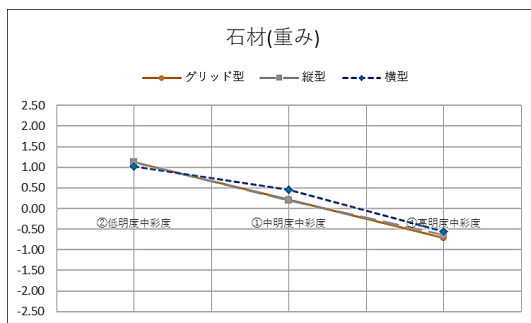


図3-52 石材ファサードにおける【重み】

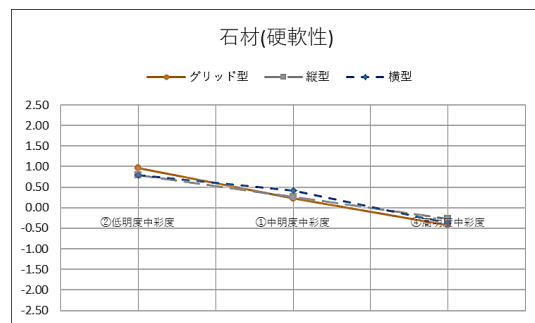


図3-53 石材ファサードにおける【硬軟性】

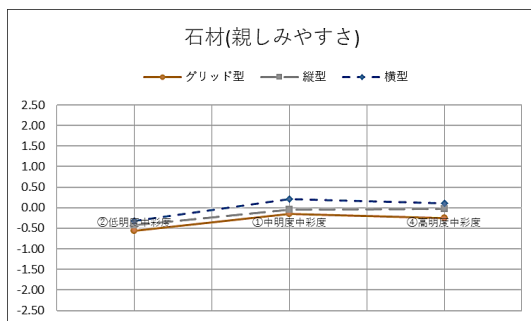


図3-54 石材ファサードにおける【親しみやすさ】

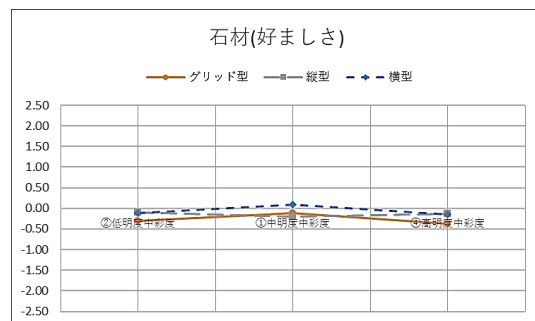


図3-55 石材ファサードにおける【好ましさ】

〈タイル(明度)〉表 3-28・図 3-56～3-61

表3-28 タイルファサードにおける尺度値(明度)

試料番号	素材	ファサードパターン	明度彩度	新規性	存在感	重み	硬軟性	親しみやすさ	好ましさ
53	タイル	グリッド型	②低明度中彩度	-1.13	-1.10	0.68	0.70	0.25	-0.14
35	タイル	グリッド型	①中明度中彩度	-1.46	-0.44	-0.20	0.32	0.42	-0.39
19	タイル	グリッド型	④高明度中彩度	-1.03	0.06	-0.60	0.05	0.13	-0.58
57	タイル	横型	②低明度中彩度	-1.25	-1.16	0.80	0.89	0.39	-0.02
26	タイル	横型	①中明度中彩度	-1.46	-0.58	0.07	0.39	0.39	-0.26
9	タイル	横型	④高明度中彩度	-1.07	-0.09	-0.76	0.26	-0.07	-0.86

- * 6つの項目はそれぞれのファサードパターンでグラフの形が似ていることから、タイルにおいて、ファサードパターンよりも明度による影響が大きいことがわかる。
- * 【新規性】に関しては、見慣れた寄りの評価をされていて、低明度・高明度が中明度より尺度値が高いV字型のグラフとなっている。
- * 【存在感】に関しては、地味である寄りの評価をされていて、高明度ほど尺度値が高くなる。
- * 【親しみやすさ】に関しては、親しみやすい寄りの評価をされていて、低明度・高明度が中明度より尺度値が低い山型のグラフとなっている。
- * 【重み】【硬軟性】【好ましさ】に関しては、それぞれ、【重み】の尺度値はばらつきが見られ、硬そうな寄り・好ましくない寄りの評価をされていて、高明度ほど尺度値が低くなる。

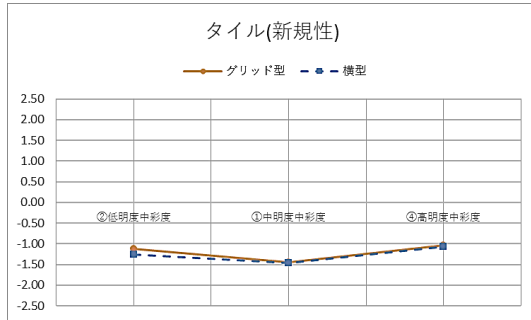


図3-56 タイルファサードにおける【新規性】(明度)

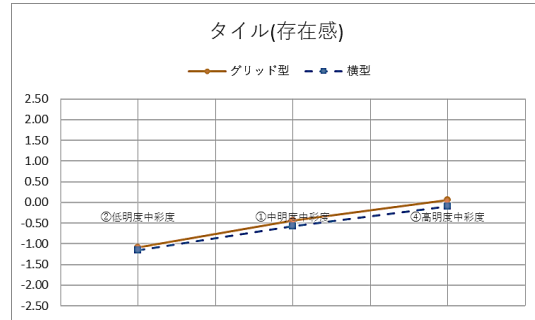


図3-57 タイルファサードにおける【存在感】(明度)

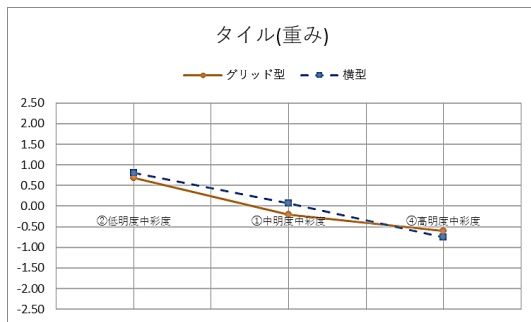


図3-58 タイルファサードにおける【重み】(明度)

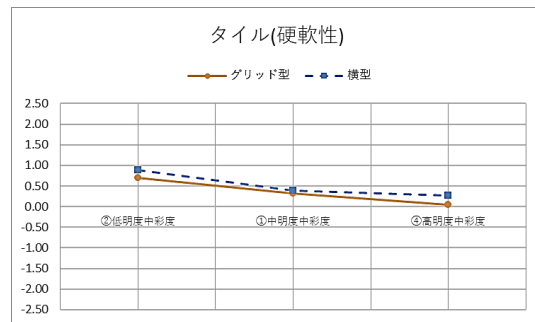


図3-59 タイルファサードにおける【硬軟性】(明度)

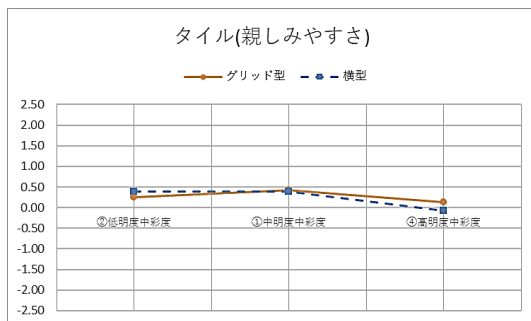


図3-60 タイルファサードにおける【親しみやすさ】(明度)

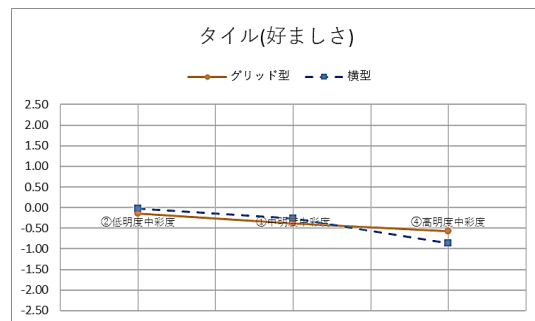


図3-61 タイルファサードにおける【好ましさ】(明度)

〈タイル(彩度)〉表 3-29・図 3-62～3-67

表3-29 タイルファサードにおける尺度値(彩度)

試料番号	素材	ファサードパターン	明度彩度	新規性	存在感	重み	硬軟性	親しみやすさ	好ましさ
13	タイル	グリッド型	③中明度低彩度	-1.41	-1.30	-0.13	0.51	0.26	-0.27
35	タイル	グリッド型	①中明度中彩度	-1.46	-0.44	-0.20	0.32	0.42	-0.39
5	タイル	グリッド型	⑤中明度高彩度	-1.46	-0.14	0.06	0.62	0.41	-0.44
41	タイル	横型	③中明度低彩度	-1.51	-1.07	-0.05	0.19	0.50	-0.38
26	タイル	横型	①中明度中彩度	-1.46	-0.58	0.07	0.39	0.39	-0.26
7	タイル	横型	⑤中明度高彩度	-1.40	-0.21	0.24	0.69	0.38	-0.46

* 6つの項目はそれぞれのファサードパターンでグラフの形が似ていることから、タイルを用いたファサードの印象評価において、ファサードパターンよりも彩度による影響が大きいことがわかる。

* 【存在感】に関しては、高彩度ほど尺度値が高くなるが、全体的に地味である寄りの評価をされている。

* 【重み】に関しては、グリッド型は軽快である寄りの、横型は重厚である寄りの評価をされている。

* 【存在感】・【重み】を除く4つの項目は、グラフとして大きな起伏がなく、それぞれ見慣れた寄り・硬そうな寄り・親しみやすい寄り・好ましい寄りの評価をされていることから、タイルを用いたファサードの印象評価において、ファサードパターン・彩度による影響は小さいことがわかる。

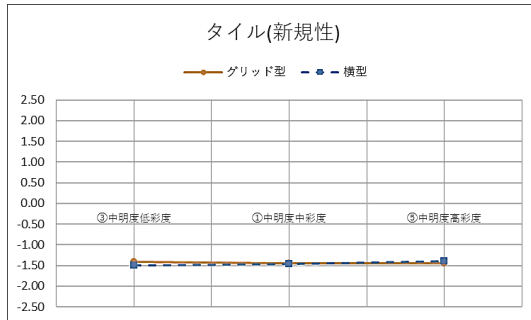


図3-62 タイルファサードにおける【新規性】(彩度)

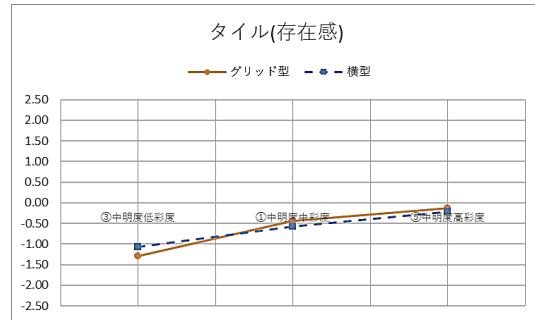


図3-63 タイルファサードにおける【存在感】(彩度)

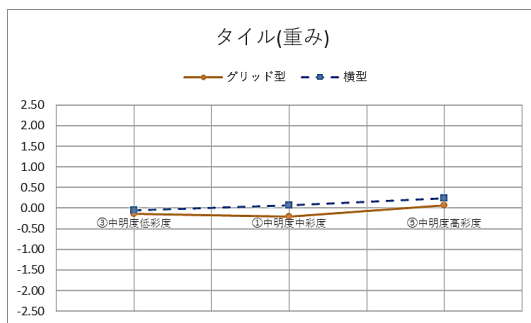


図3-64 タイルファサードにおける【重み】(彩度)

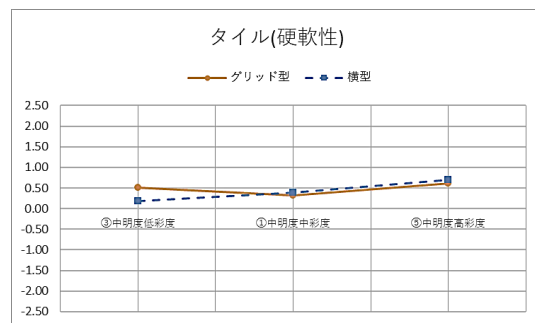


図3-65 タイルファサードにおける【硬軟性】(彩度)

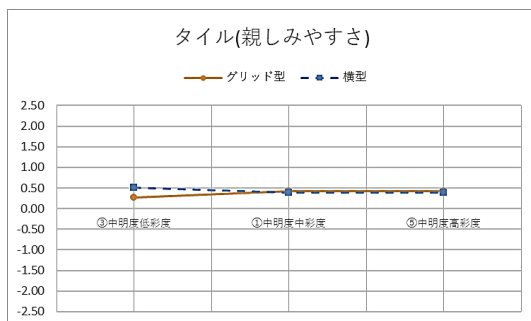


図3-66 タイルファサードにおける【親しみやすさ】(彩度)

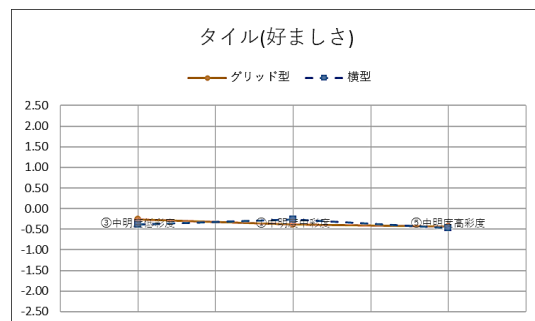


図3-67 タイルファサードにおける【好ましさ】(彩度)

〈木材(明度)〉表 3-30・図 3-68～3-73

表3-30 木材ファサードにおける尺度値(明度)

試料番号	素材	ファサードパターン	明度彩度	新規性	存在感	重み	硬軟性	親しみやすさ	好ましき
31	木材・木製ルーバー	グリッド型	②低明度中彩度	1.33	0.23	0.96	0.67	-0.04	0.53
39	木材・木製ルーバー	グリッド型	①中明度中彩度	1.18	0.36	0.36	0.25	0.16	0.55
54	木材・木製ルーバー	グリッド型	④高明度中彩度	1.07	0.82	0.03	-0.15	-0.03	0.15
28	木材・木製ルーバー	縦型	②低明度中彩度	0.16	-0.61	0.77	0.52	0.25	0.64
6	木材・木製ルーバー	縦型	①中明度中彩度	-0.25	-0.22	0.05	-0.12	0.82	0.52
15	木材・木製ルーバー	縦型	④高明度中彩度	0.27	0.56	-0.63	-0.33	0.06	-0.29
34	木材・木製ルーバー	横型	②低明度中彩度	0.25	-0.41	0.95	0.40	0.21	0.60
1	木材・木製ルーバー	横型	①中明度中彩度	-0.13	-0.09	0.13	0.28	0.50	0.55
36	木材・木製ルーバー	横型	④高明度中彩度	0.30	0.64	-0.49	-0.24	0.09	-0.24

- * 【新規性】に関しては、尺度値にばらつきが見られる。グリッド型は目新しい寄りの評価をされていて、高明度ほど尺度値が小さくなっている。縦型・横型は見慣れた寄りの評価をされていて、低明度・高明度が中明度より尺度値が高いV字型のグラフとなっている。
- * 【存在感】に関しては、尺度値にばらつきが見られるが、どれも高明度ほど尺度値が高くなっている。
- * 【重み】・【硬軟性】に関しては、尺度値にばらつきが見られるが、どちらも高明度ほど尺度値が低くなっている。
- * 【親しみやすさ】に関しては、尺度値にばらつきが見られるが、全体的に親しみやすい寄りの評価をされていて、低明度・高明度が中明度より尺度値が低い山型のグラフとなっている。
- * 【好ましき】に関しては、尺度値にばらつきが見られるが、どちらも高明度ほど尺度値が低くなっている。

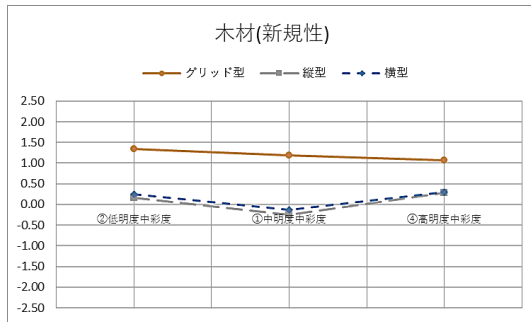


図3-68 木材ファサードにおける【新規性】

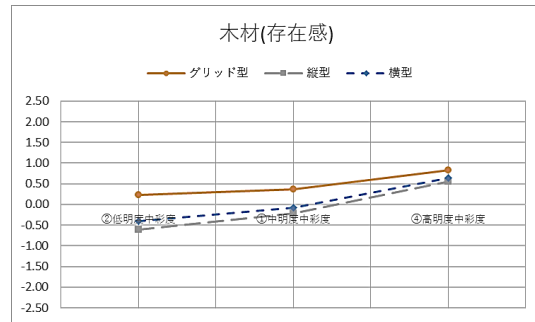


図3-69 木材ファサードにおける【存在感】(明度)

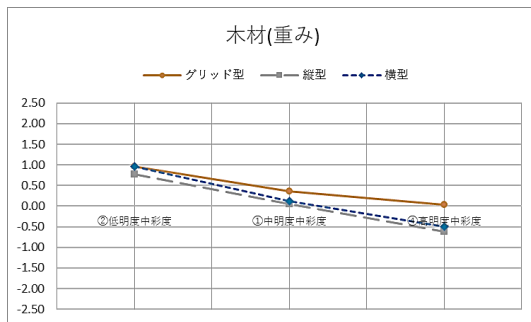


図3-70 木材ファサードにおける【重み】(明度)

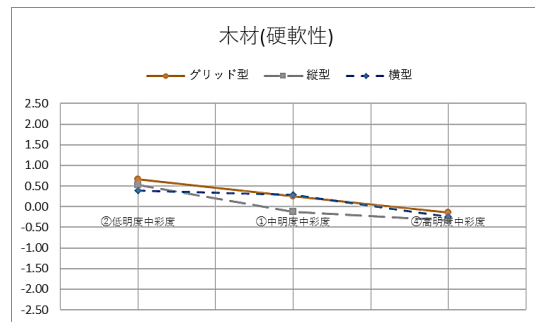


図3-71 木材ファサードにおける【硬軟性】(明度)

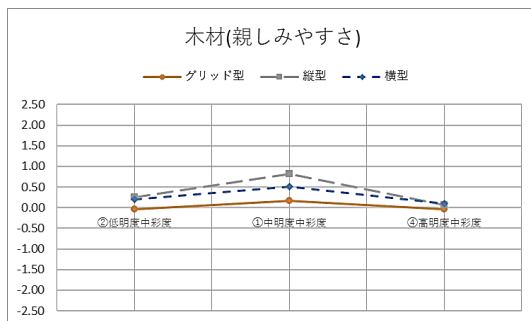


図3-72 木材ファサードにおける【親しみやすさ】(明度)

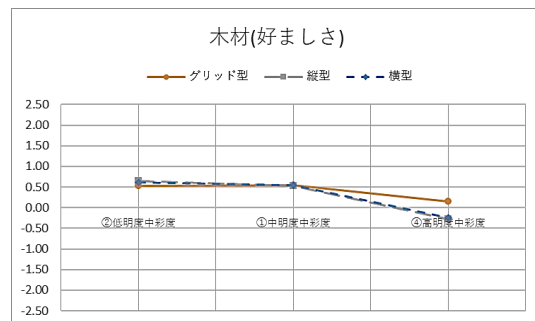


図3-73 木材ファサードにおける【好ましさ】(明度)

〈木材(彩度)〉表 3-31・図 3-74～3-79

表3-31 木材ファサードにおける尺度値(彩度)

試料番号	素材	ファサードパターン	明度彩度	新規性	存在感	重み	硬軟性	親しみやすさ	好ましさ
23	木材・木製ルーバー	グリッド型	③中明度低彩度	1.42	0.57	0.29	0.04	0.03	0.56
39	木材・木製ルーバー	グリッド型	①中明度中彩度	1.18	0.36	0.36	0.25	0.16	0.55
42	木材・木製ルーバー	グリッド型	⑤中明度高彩度	1.22	0.81	0.46	0.29	-0.11	0.40
47	木材・木製ルーバー	縦型	③中明度低彩度	0.07	-0.58	0.08	0.05	0.43	0.25
6	木材・木製ルーバー	縦型	①中明度中彩度	-0.25	-0.22	0.05	-0.12	0.82	0.52
48	木材・木製ルーバー	縦型	⑤中明度高彩度	0.42	0.52	0.18	-0.06	0.25	0.09
58	木材・木製ルーバー	横型	③中明度低彩度	-0.05	-0.41	0.32	0.06	0.36	0.52
1	木材・木製ルーバー	横型	①中明度中彩度	-0.13	-0.09	0.13	0.28	0.50	0.55
10	木材・木製ルーバー	横型	⑤中明度高彩度	0.30	0.31	0.38	0.15	0.41	0.37

- * 【新規性】に関しては、尺度値にばらつきが見られる。グリッド型は目新しい寄りの評価をされていて、低彩度・高彩度が中彩度より尺度値が高いV字型のグラフとなっている。縦型・横型も同様のグラフの形をしている。
- * 【存在感】に関しては、尺度値にばらつきが見られる。グリッド型は派手である寄りの評価をされていて、低彩度・高彩度が中彩度より尺度値が高いV字型のグラフとなっている。縦型・横型は高彩度ほど尺度値が高くなっている。
- * 【重み】に関しては、全体的に重厚である寄りの評価をされていて、グリッド型は高彩度ほど尺度値が高く、縦型・横型は低彩度・高彩度が中彩度より尺度値が高いV字型のグラフとなっている。
- * 【硬軟性】に関しては、全体的に硬そうな寄りの評価をされている。グリッド型は高彩度ほど尺度値が高く、縦型は低彩度・高彩度が中彩度より尺度値が高いV字型、横型は低明度・高明度が中明度より尺度値が低い山型のグラフとなっている。
- * 【親しみやすさ】に関しては、全体的に親しみやすい寄りの評価をされていて、グラフはどれも低彩度・高彩度が中彩度より尺度値が低い山型になっている。
- * 【好ましさ】に関しては、全体的に好ましい寄りの評価をされていて、グラフはどれも低彩度・高彩度が中彩度より尺度値が低い山型になっている。

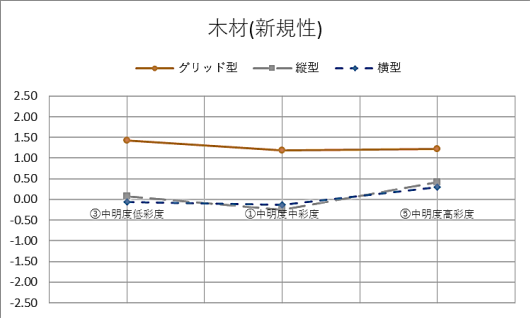


図3-74 木材ファサードにおける【新規性】

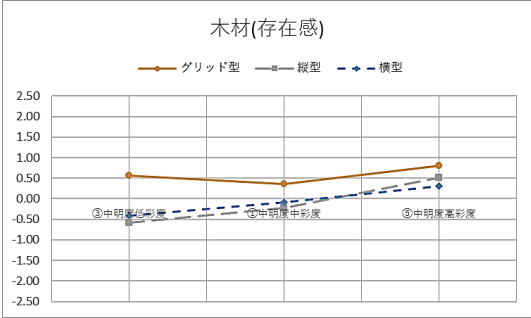


図3-75 木材ファサードにおける【新規性】

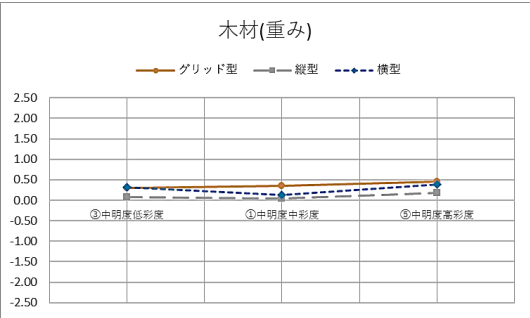


図3-76 木材ファサードにおける【新規性】

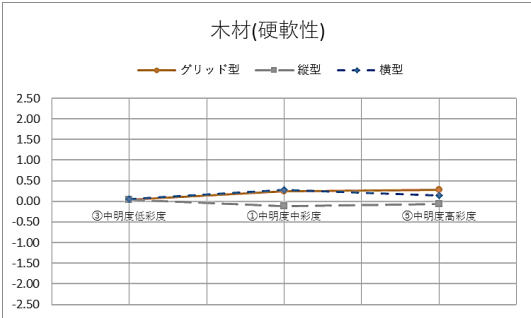


図3-77 木材ファサードにおける【新規性】

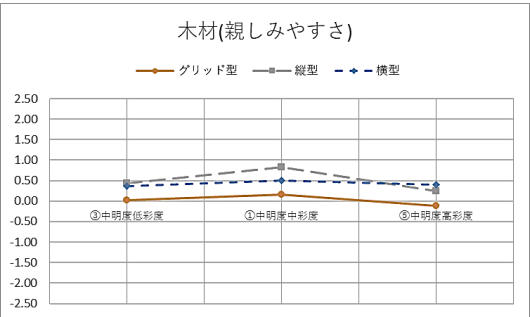


図3-78 木材ファサードにおける【新規性】

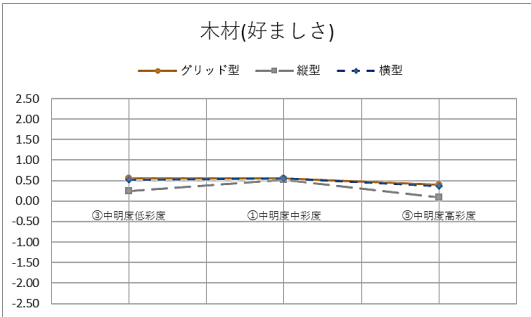


図3-79 木材ファサードにおける【新規性】

各素材における評価尺度同士の関係性について、以下のことが明らかになった。評価尺度の値をそれぞれプロットしたグラフにおける線形近似曲線の決定係数が 0.70 以上のものについて述べる。

〈ガラス〉

* 図 3-80 から、【存在感】と【硬軟性】には負の相関があり、柔らかそうなガラスファースайдほど、派手であると認識される傾向がある。

* 図 3-81 から、【重み】と【親しみやすさ】には負の相関があり、重厚そうなガラスファースайдほど、親しみにくいと認識される傾向がある。

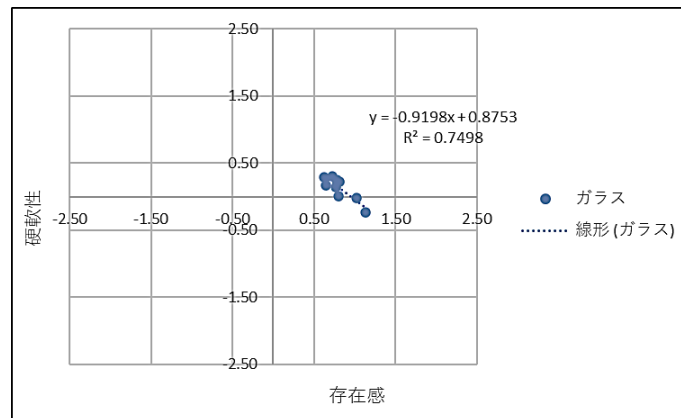


図3-80 ガラスファサードにおける【存在感】と【硬軟性】

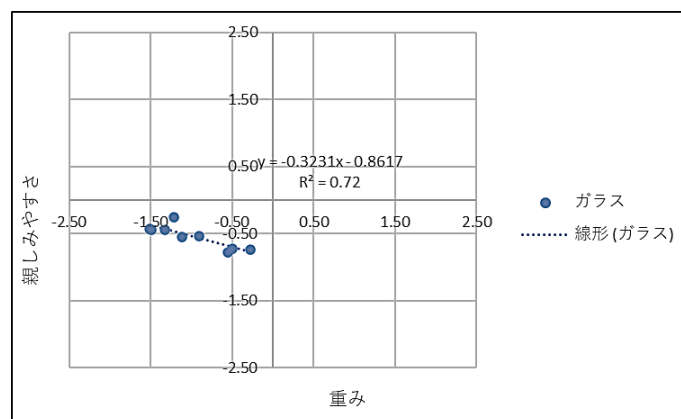


図3-81 ガラスファサードにおける【重み】と【親しみやすさ】

〈金属〉

- * 図 3-82 から、【新規性】と【存在感】には正の相関があり、目新しい金属ファースイドほど派手であると認識される傾向がある。
- * 図 8-83 から、【新規性】と【親しみやすさ】には負の相関があり、と認識される傾向がある。目新しい金属ファースイドほど親しみにくいと認識される傾向がある。
- * 図 8-84 から、【存在感】と【親しみやすさ】には負の相関があり、派手である金属ファースイドほど親しみにくいと認識される傾向がある。

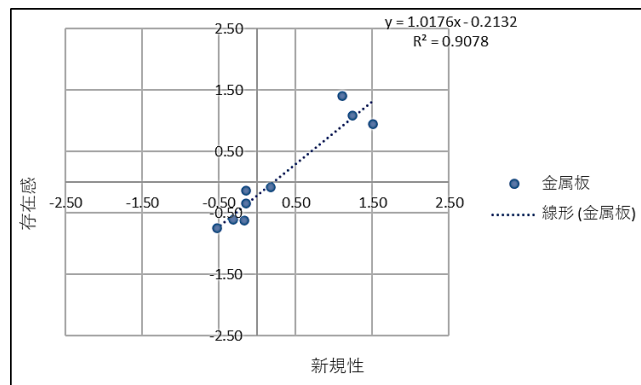


図3-82 金属ファサードにおける【新規性】と【存在感】

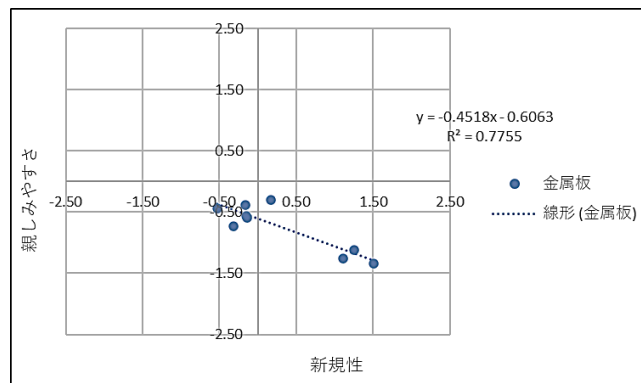


図3-83 金属ファサードにおける【新規性】と【親しみやすさ】

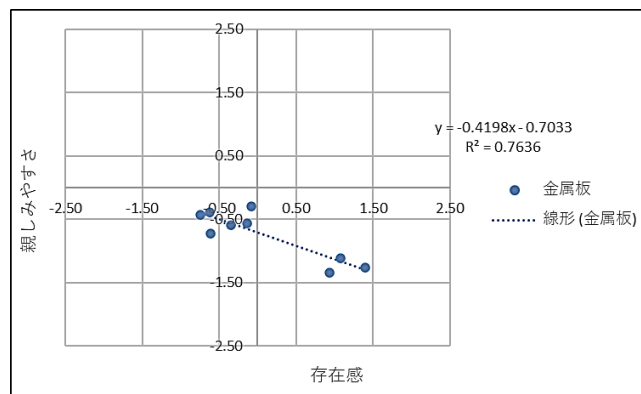


図3-84 金属ファサードにおける【存在感】と【親しみやすさ】

〈コンクリート〉

- * 図 3-85 から、【存在感】と【重み】には負の相関があり、地味であるコンクリートファサードほど、重厚であると認識される傾向がある。
- * 図 3-86 から、【存在感】と【硬軟性】には負の相関があり地味であるコンクリートファサードほど、硬そうだと認識される傾向がある。
- * 図 3-87 から、【重み】と【硬軟性】には正の相関があり、重厚であるコンクリートファサードほど、硬そうだと認識される傾向がある。
- * 図 3-88 から、【重み】と【親しみやすさ】には負の相関があり、重厚であるコンクリートファサードほど、親しみにくいと認識される傾向がある。
- * 図 3-89 から、【硬軟性】と【親しみやすさ】には負の相関があり、硬そうなコンクリートファサードほど、親しみにくいと認識される傾向がある。

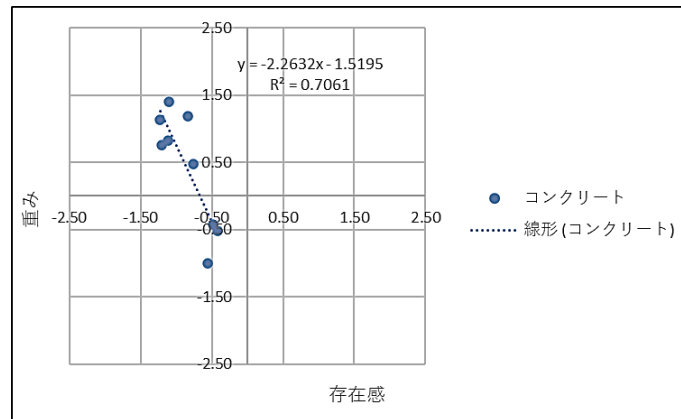


図3-85 コンクリートファサードにおける【存在感】と【重み】

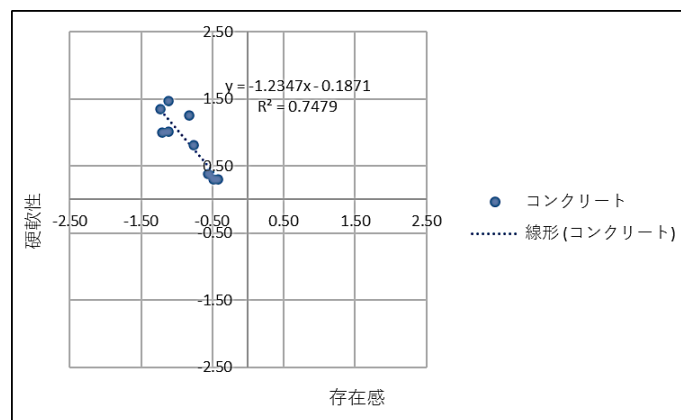


図3-86 コンクリートファサードにおける【存在感】と【硬軟性】

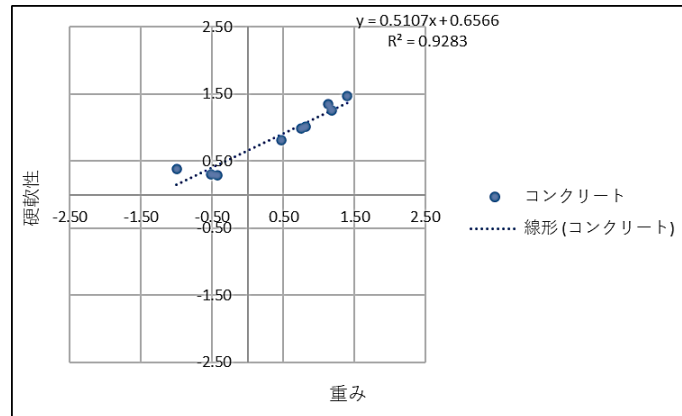


図3-87 コンクリートファサードにおける【重み】と【硬軟性】

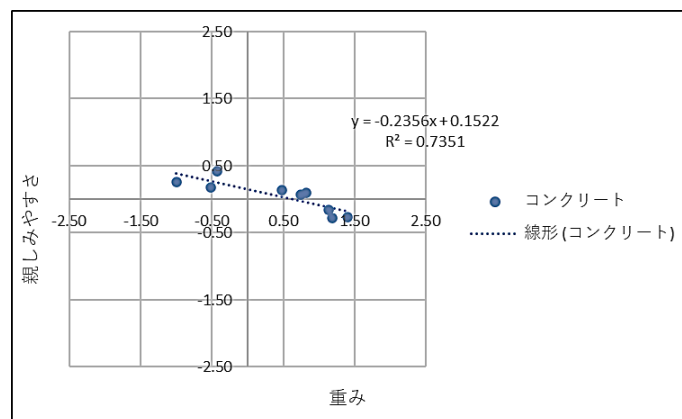


図3-88 コンクリートファサードにおける【重み】と【親しみやすさ】

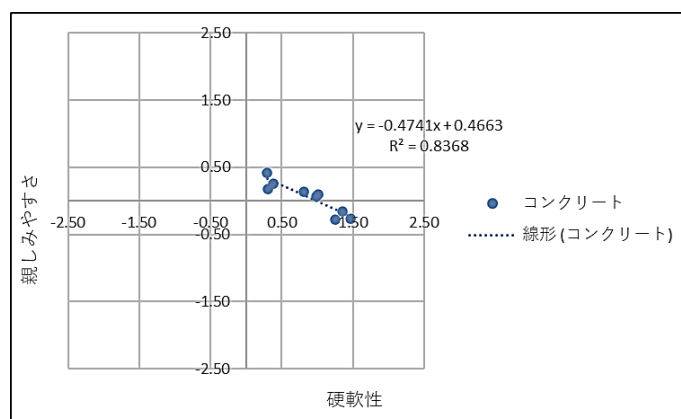


図3-89 コンクリートファサードにおける【硬軟性】と【親しみやすさ】

〈石材〉

- * 図 3-90 から、【新規性】と【好ましさ】には負の相関があり、目新しい石材ファサードほど、好ましくないと認識される傾向がある。
- * 図 3-91 から、【存在感】と【重み】には負の相関があり、軽快である石材ファサードほど、派手であると認識される傾向がある。
- * 図 3-92 から、【存在感】と【硬軟性】には負の相関があり、柔らかそうな石材ファサードほど、派手であると認識される傾向がある。
- * 図 3-93 から、【重み】と【硬軟性】には正の相関があり、硬そうな石材ファサードほど、重厚であると認識される傾向がある。

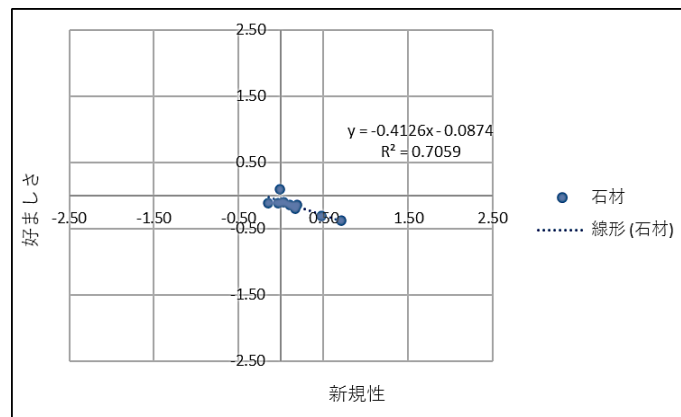


図3-90 石材ファサードにおける【新規性】と【好ましさ】

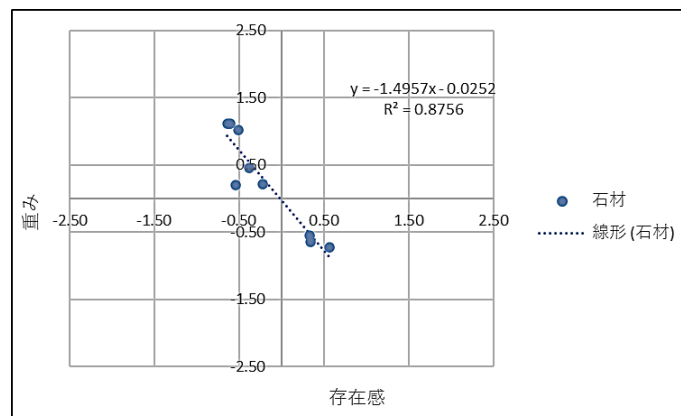


図3-91 石材ファサードにおける【存在感】と【重み】

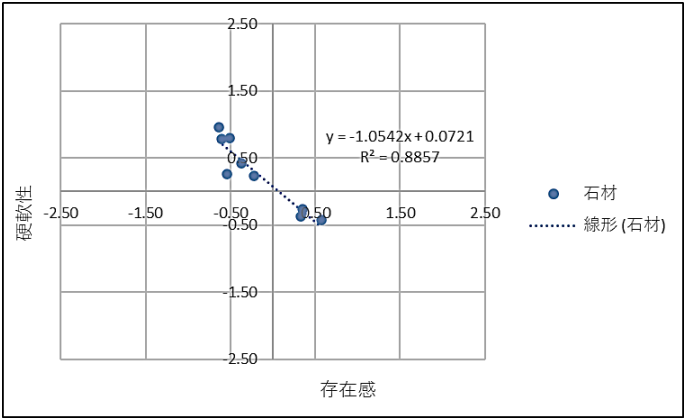


図3-92 石材ファサードにおける【存在感】と【硬軟性】

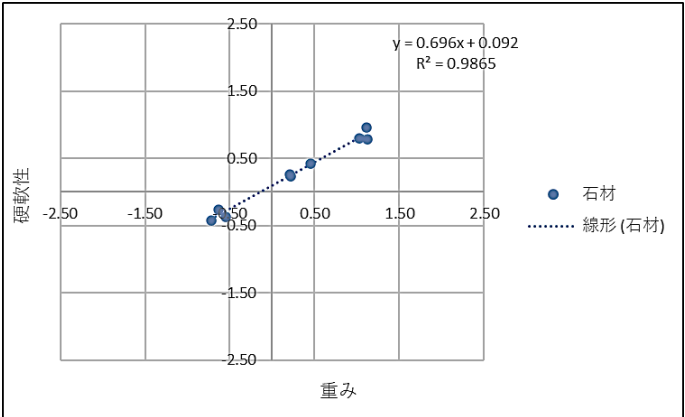


図3-93 石材ファサードにおける【重み】と【硬軟性】

〈タイル〉

* 図 3-94 から、【重み】と【硬軟性】には正の相関があり、硬そうなタイルファサードほど、重厚であると認識される傾向がある。

* 図 3-95 から、【重み】と【好ましさ】には正の相関があり、重厚であるタイルファサードほど、好ましいと認識される傾向がある。

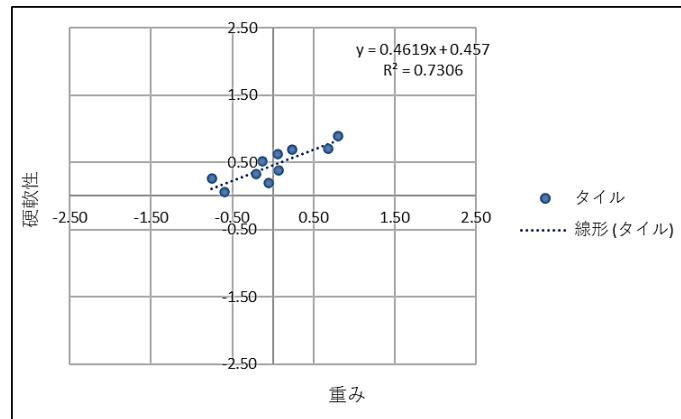


図3-94 タイルファサードにおける【重み】と【硬軟性】

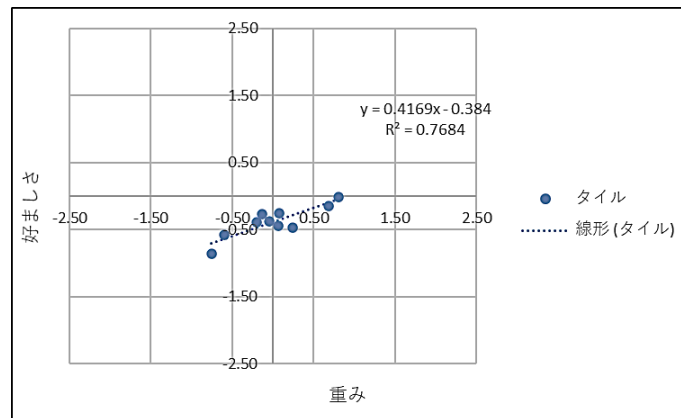


図3-95 タイルファサードにおける【重み】と【好ましさ】

〈木材〉

* 図 3-96 から、【重み】と【硬軟性】には正の相関があり、硬そうな木材ファサードほど、重厚であると認識される傾向がある。

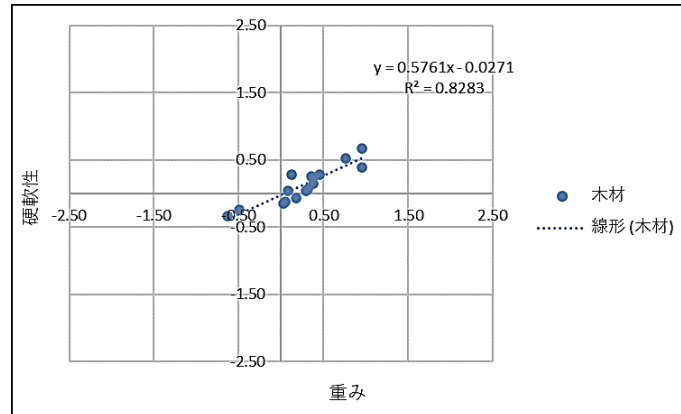


図3-96 木材ファサードにおける【重み】と【硬軟性】

ファサードにおける評価構造を数量的に把握することを目的に、素材、ファサードパターン、明度・彩度の4種類15項目を用いて数量化Ⅲ類で分析を行った(図3-97)。分析から、軸は固有値の上位2つとした。第1軸(x軸方向、相関係数:0.454)では、正から負にかけて、ファサード素材の彩度や明度を示す傾向があるため、「色彩特性」を示す軸として解釈し、『明度値(負)-彩度値(正)』とした。第2軸(y軸方向、相関係数:0.332)では、材種やファサードパターンを示す傾向があるため、「素材特性」を示す軸として解釈し、『人工的(負)-自然的(正)』とした。第1軸と【親しみやすさ】は中程度の相関関係があり、第1軸が正に行くほど(彩度値が大きくまたは小さくなるほど)、【親しみやすさ】の値が大きくなる傾向がある。また、第2軸と【好ましさ】にも中程度の相関関係があり、第1軸が正に行くほど(自然的であるほど)、【親しみやすさ】の値が大きくなる傾向がある。以上から、ファサード評価には素材の明るさ・鮮やかさ(色彩特性)や自然さ(素材特性)といった要素からなることがわかった。

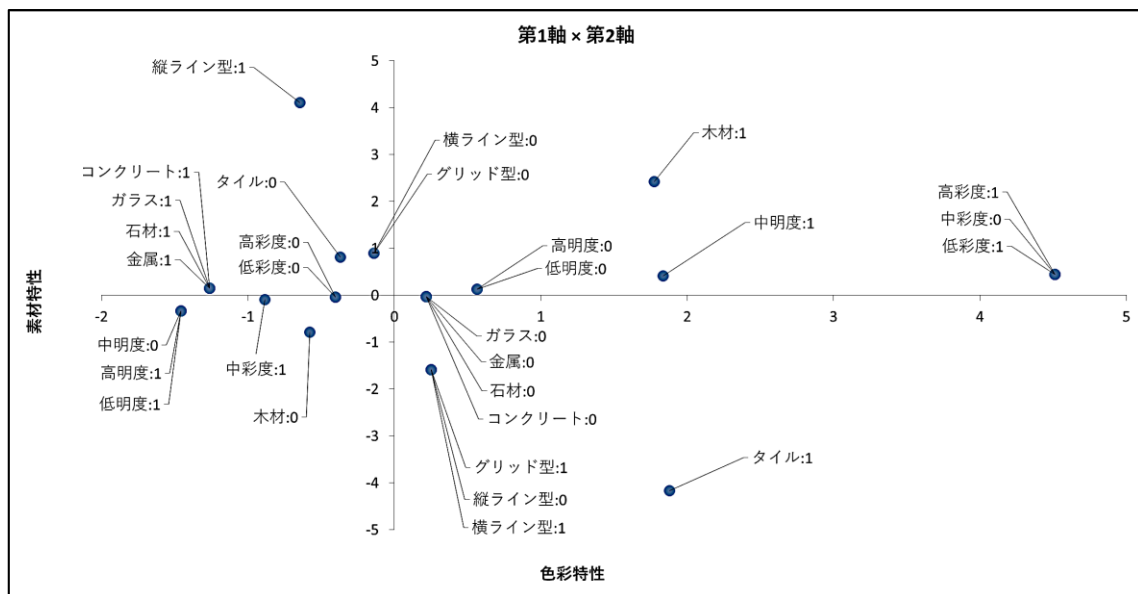


図3-97 数量化Ⅲ類分析結果

設計意図を表現する際に使用すべき素材やファサードパターンなどのガイドラインを提示すること目的として、試料に対し算出した6つの評価値を階層クラスター分析¹⁴⁾(ウォード法)により、10つのクラスターに分類した結果を図3-98に示す。各クラスターの分類された試料の各評価尺度値と建築モデルを整理したものを表3-32に示す。表からもわかるように、クラスターごとにそれぞれの心理的特徴と物理的特徴があることがわかる。

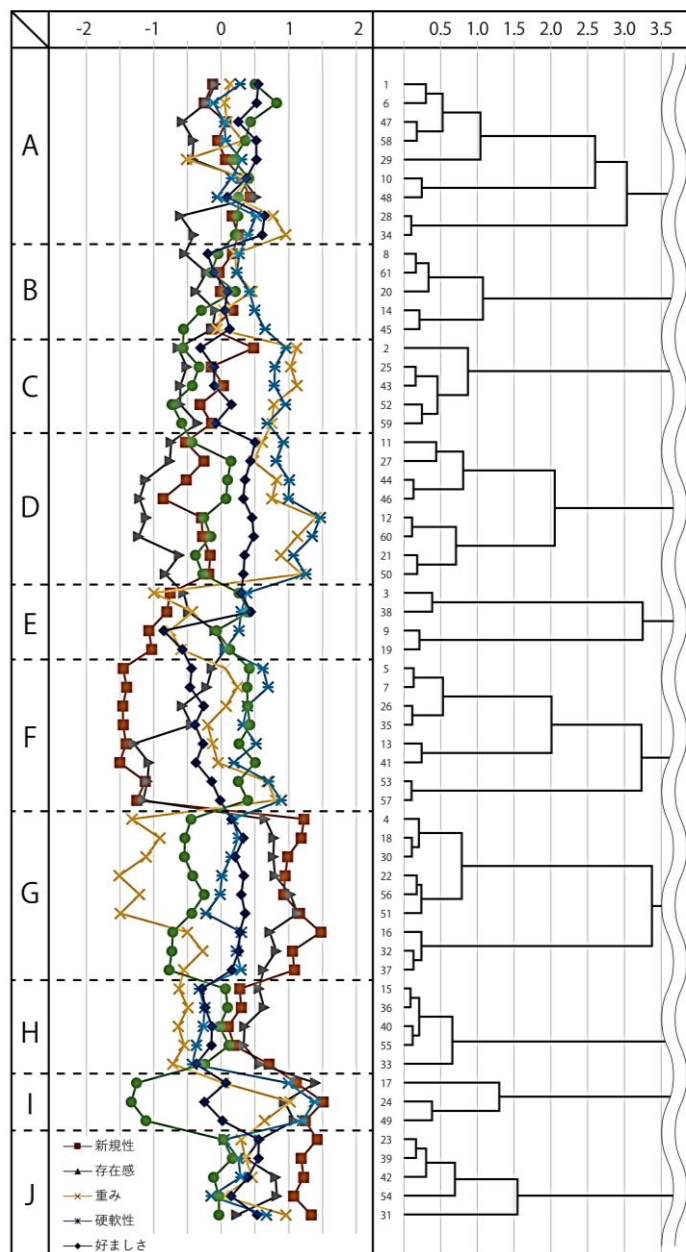


図3-98 心理量クラスター分析結果

表3-32 各クラスターの心理量と物理量

クラスター分類	試料番号	新規性	存在感	重み	硬軟性	親しみやすさ	好ましさ	素材	ファサードパターン	明度彩度
A	1	-0.13	-0.09	0.13	0.28	0.50	0.55	木材・木製ルーバー	横ライン型	①中明度中彩度
	6	-0.25	-0.22	0.05	-0.12	0.82	0.52	木材・木製ルーバー	縦ライン型	①中明度中彩度
	47	0.07	-0.58	0.08	0.05	0.43	0.25	木材・木製ルーバー	縦ライン型	③中明度低彩度
	58	-0.05	-0.41	0.32	0.06	0.36	0.52	木材・木製ルーバー	横ライン型	③中明度低彩度
	29	0.06	-0.43	-0.51	0.30	0.18	0.52	コンクリート	グリッド型	④高明度中彩度
	10	0.30	0.31	0.38	0.15	0.41	0.37	木材・木製ルーバー	横ライン型	⑤中明度高彩度
	48	0.42	0.52	0.18	-0.06	0.25	0.09	木材・木製ルーバー	縦ライン型	⑤中明度高彩度
	28	0.16	-0.61	0.77	0.52	0.25	0.64	木材・木製ルーバー	縦ライン型	②低明度中彩度
	34	0.25	-0.41	0.95	0.40	0.21	0.60	木材・木製ルーバー	横ライン型	②低明度中彩度
B	8	0.17	-0.54	0.20	0.27	-0.05	-0.20	石材	縦ライン型	①中明度中彩度
	61	-0.03	-0.22	0.22	0.23	-0.15	-0.11	石材	グリッド型	①中明度中彩度
	20	-0.01	-0.38	0.46	0.42	0.21	0.09	石材	横ライン型	①中明度中彩度
	14	0.17	-0.09	0.04	0.49	-0.29	0.05	金属板・金属ルーバー	横ライン型	④高明度中彩度
	45	-0.15	-0.14	-0.06	0.65	-0.56	0.12	金属板・金属ルーバー	縦ライン型	④高明度中彩度
C	2	0.48	-0.64	1.12	0.96	-0.57	-0.31	石材	グリッド型	②低明度中彩度
	25	-0.15	-0.51	1.03	0.79	-0.33	-0.11	石材	横ライン型	②低明度中彩度
	43	0.03	-0.61	1.12	0.79	-0.43	-0.10	石材	縦ライン型	②低明度中彩度
	52	-0.32	-0.61	0.78	0.95	-0.73	0.15	金属板・金属ルーバー	横ライン型	②低明度中彩度
	59	-0.14	-0.35	0.75	0.68	-0.59	-0.08	金属板・金属ルーバー	横ライン型	①中明度中彩度
D	11	-0.53	-0.74	0.61	0.92	-0.43	0.50	金属板・金属ルーバー	縦ライン型	①中明度中彩度
	27	-0.26	-0.76	0.48	0.81	0.14	0.43	コンクリート	グリッド型	①中明度中彩度
	44	-0.52	-1.12	0.82	1.01	0.09	0.35	コンクリート	縦ライン型	①中明度中彩度
	46	-0.86	-1.21	0.75	0.99	0.07	0.33	コンクリート	横ライン型	①中明度中彩度
	12	-0.29	-1.11	1.40	1.47	-0.26	0.46	コンクリート	横ライン型	②低明度中彩度
	60	-0.28	-1.23	1.13	1.35	-0.15	0.48	コンクリート	縦ライン型	②低明度中彩度
	21	-0.17	-0.62	0.88	1.07	-0.38	0.35	金属板・金属ルーバー	横ライン型	②低明度中彩度
	50	-0.19	-0.83	1.18	1.25	-0.28	0.33	コンクリート	グリッド型	②低明度中彩度
E	3	-0.76	-0.56	-1.00	0.38	0.26	0.29	コンクリート	縦ライン型	④高明度中彩度
	38	-0.81	-0.49	-0.43	0.30	0.41	0.44	コンクリート	横ライン型	④高明度中彩度
	9	-1.07	-0.09	-0.76	0.26	-0.07	-0.86	タイル	横ライン型	④高明度中彩度
	19	-1.03	0.06	-0.60	0.05	0.13	-0.58	タイル	グリッド型	④高明度中彩度
F	5	-1.46	-0.14	0.06	0.62	0.41	-0.44	タイル	グリッド型	⑤中明度高彩度
	7	-1.40	-0.21	0.24	0.69	0.38	-0.46	タイル	横ライン型	⑤中明度高彩度
	26	-1.46	-0.58	0.07	0.39	0.39	-0.26	タイル	横ライン型	①中明度中彩度
	35	-1.46	-0.44	-0.20	0.32	0.42	-0.39	タイル	グリッド型	①中明度中彩度
	13	-1.41	-1.30	-0.13	0.51	0.26	-0.27	タイル	グリッド型	③中明度低彩度
	41	-1.51	-1.07	-0.05	0.19	0.50	-0.38	タイル	横ライン型	③中明度低彩度
	53	-1.13	-1.10	0.68	0.70	0.25	-0.14	タイル	グリッド型	②低明度中彩度
	57	-1.25	-1.16	0.80	0.89	0.39	-0.02	タイル	横ライン型	②低明度中彩度
G	4	1.23	0.65	-1.32	0.17	-0.45	0.15	ガラス	横ライン型	①中明度中彩度
	18	1.19	0.78	-0.91	0.25	-0.54	0.33	ガラス	縦ライン型	①中明度中彩度
	30	0.98	0.77	-1.12	0.15	-0.55	0.21	ガラス	グリッド型	①中明度中彩度
	22	0.95	0.80	-1.51	0.01	-0.42	0.33	ガラス	縦ライン型	④高明度中彩度
	56	0.92	1.03	-1.21	-0.02	-0.25	0.30	ガラス	グリッド型	④高明度中彩度
	51	1.16	1.13	-1.50	-0.23	-0.44	0.35	ガラス	横ライン型	④高明度中彩度
	16	1.48	0.72	-0.50	0.30	-0.72	0.28	ガラス	縦ライン型	②低明度中彩度
	32	1.06	0.82	-0.28	0.22	-0.73	0.26	ガラス	グリッド型	②低明度中彩度
	37	1.08	0.63	-0.56	0.29	-0.77	0.16	ガラス	横ライン型	②低明度中彩度
H	15	0.27	0.56	-0.63	-0.33	0.06	-0.29	木材・木製ルーバー	縦ライン型	④高明度中彩度
	36	0.30	0.64	-0.49	-0.24	0.09	-0.24	木材・木製ルーバー	横ライン型	④高明度中彩度
	40	0.10	0.35	-0.64	-0.27	-0.02	-0.14	石材	縦ライン型	④高明度中彩度
	55	0.19	0.33	-0.55	-0.37	0.11	-0.15	石材	横ライン型	④高明度中彩度
	33	0.71	0.57	-0.72	-0.43	-0.25	-0.37	石材	グリッド型	④高明度中彩度
I	17	1.11	1.40	0.04	0.99	-1.26	0.07	金属板・金属ルーバー	グリッド型	④高明度中彩度
	24	1.51	0.94	1.02	1.38	-1.34	-0.25	金属板・金属ルーバー	グリッド型	②低明度中彩度
	49	1.25	1.08	0.64	1.20	-1.12	0.02	金属板・金属ルーバー	グリッド型	①中明度中彩度
J	23	1.42	0.57	0.29	0.04	0.03	0.56	木材・木製ルーバー	グリッド型	③中明度低彩度
	39	1.18	0.36	0.36	0.25	0.16	0.55	木材・木製ルーバー	グリッド型	①中明度中彩度
	42	1.22	0.81	0.46	0.29	-0.11	0.40	木材・木製ルーバー	グリッド型	⑤中明度高彩度
	54	1.07	0.82	0.03	-0.15	-0.03	0.15	木材・木製ルーバー	グリッド型	④高明度中彩度
	31	1.33	0.23	0.96	0.67	-0.04	0.53	木材・木製ルーバー	グリッド型	②低明度中彩度

表 3-33 にクラスター分析から得た心理量特徴と物理的特徴をまとめたものを示す。クラスター分析から得た心理量特徴と物理的特徴を把握したことで、心理的影響の大きい設計意図に対して、素材や明度・彩度などのファサード表層特性を具体的に提案するガイドラインの提示ができた。

表3-33 各クラスターの特徴

クラスター分類	心理的特徴	物理的特徴
A	やや親しみやすい やや好ましい	素材：木材
B	—	素材：石材・金属 明度彩度：高明度
C	やや重厚である やや硬そうな やや親しみにくい	素材：石材・金属 明度彩度：低明度
D	やや見慣れた 地味である 重厚である 硬そうな やや好ましい	素材：コンクリート
E	やや見慣れた やや軽快である	明度彩度：高明度
F	見慣れた 地味である やや硬そうな やや親しみやすい やや好ましくない	素材：タイル
G	目新しい やや派手である 軽快である やや親しみにくい やや好ましい	素材：ガラス
H	やや目新しい やや軽快である やや柔らかそうな	明度彩度：高明度
I	目新しい 派手である やや重厚である 硬そうな 親しみにくい	素材：金属 FP：グリッド型
J	目新しい やや重厚である やや好ましい	素材：木材 FP：グリッド型

3.4. シミュレーションモデルによる試料での印象評価の精度評価

シミュレーションモデルを用いた試料による印象評価の整合性を明らかにするため、検査Ⅰ(実在建築写真を基に作成した試料)と検査Ⅱ(シミュレーションモデルを基に作成した試料)の検査結果を比較したものを図3-99に示す。検査Ⅰの試料を、検査Ⅱにおける建築モデルと照合し、素材・ファサードパターンが同等の試料の各評価尺度値を総当たりで比較し、作成したグラフ(x軸：検査Ⅱ、y軸：検査Ⅰ)から整合性を確認する。結果としては、全条件において近似式の係数が1に近く(0.7265~1.4342)、決定係数も0.9213~0.9962と高い数値を示していることから、両試料に対する印象評価の結果には、整合性があると考えられる。

以上から、シミュレーション試料による印象評価の整合性が明らかになり、今後建築設計する際のファサードデザインの検討において、シミュレーションモデルによる検討が有効であるため、より良いファサードを持つ建築が増えることが期待できる。

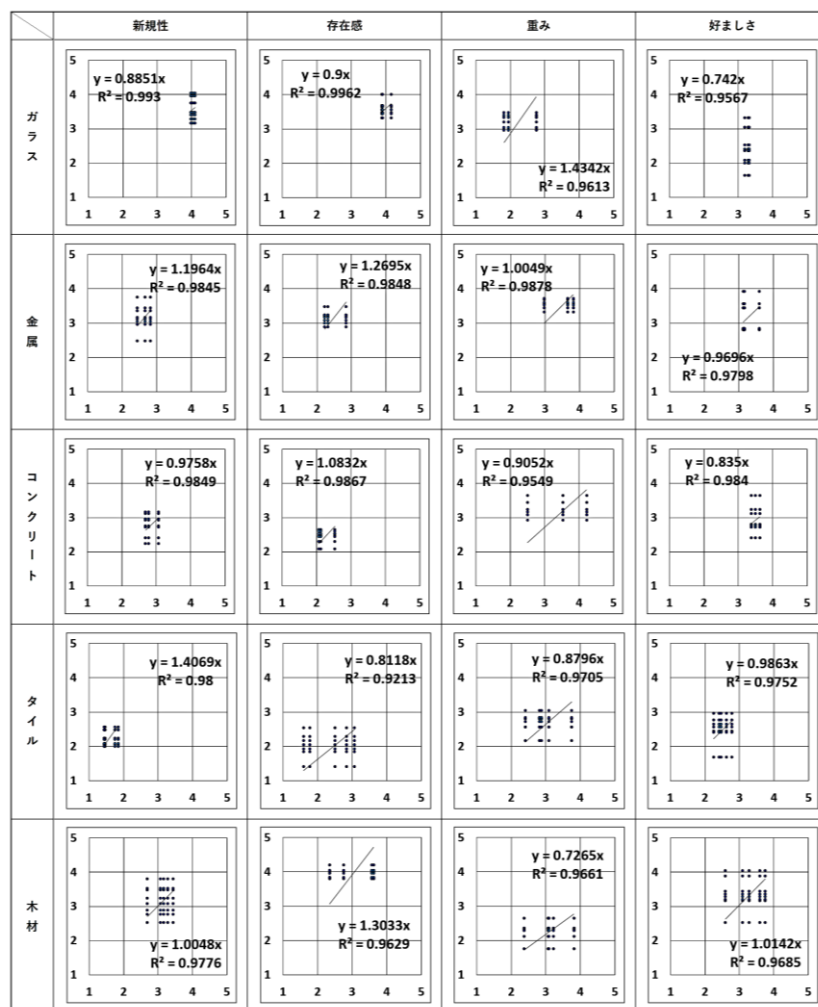


図3-99 検査Ⅰ・Ⅱの結果比較

第4章 ファサード設計意図と印象評価の関係性

4.1. 設計意図の分析

4.2. 検査Ⅲ

4.2.1. 検査概要

4.2.2. 結果

4.2.3. 考察 ～設計意図の整合性分析～

4.1. 設計意図の分析

建築資料に記載されているすべての文章を光学文字認識ソフトウェア「ABBYYFineReaderPDF15」を用いてテキストデータに変換し、テキストマイニングソフトウェア「KH Coder¹⁵⁾」を用い、共起ネットワーク分析を行う。KH Coder は、文書データを統計的に分析する計量的テキスト分析を行うために開発・公開されたフリーのソフトウェアであり、KH Coder を用いた研究は多岐に渡っている。そこで、本研究では KH Coder を用いて、建築家の考える設計意図と素材の関係性と強度を定量化および視覚化することを試みた。

図4-1にファサード調査で扱った建築作品の解説文をすべて用いて作成した共起ネットワーク分析結果を示す。中央部分には、素材や素材を選択する設計意図が集結しているのが確認できる。また、心理的影響の強い設計意図は、中央部分の要素に対応して、距離や太さを変えることで繋がりの強さを表すように点在している。

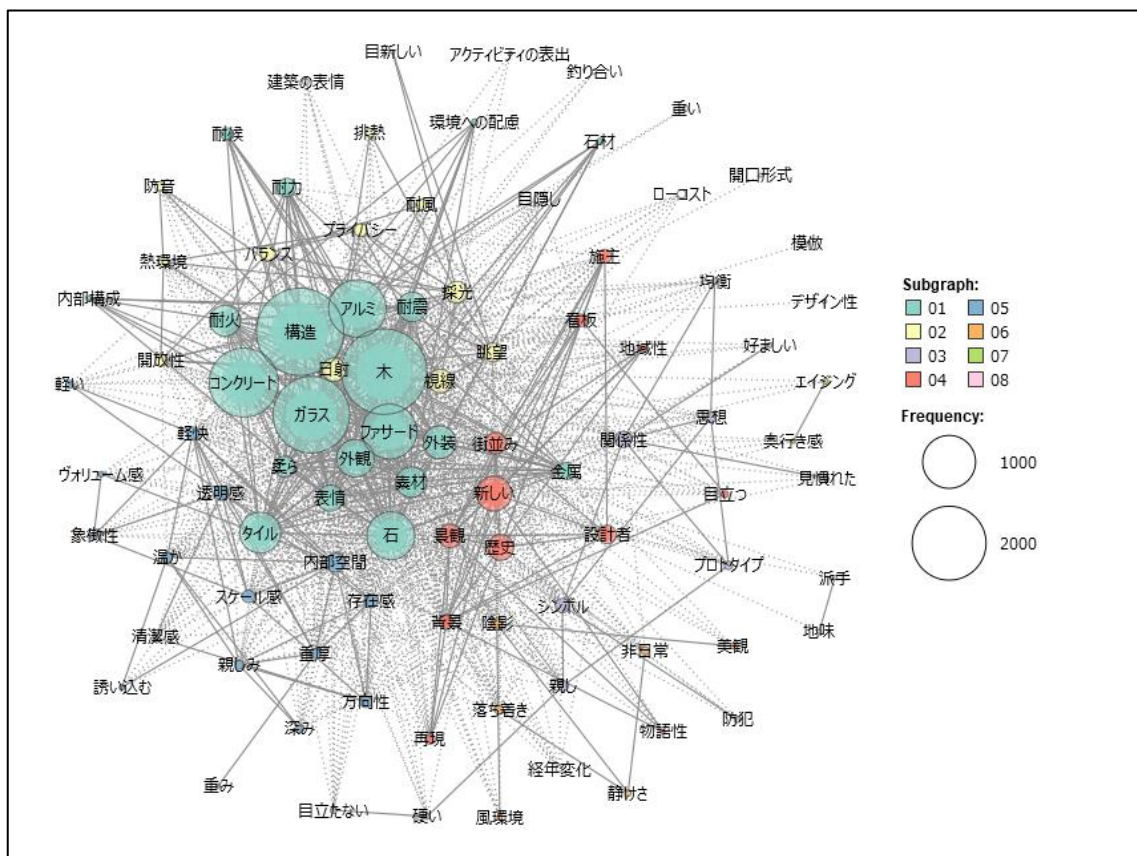


図4-1 共起ネットワーク

図4-2に、ファサード調査で抽出された設計意図を構成要素としたコンクリートを中心とした共起ネットワーク分析結果を示す。コンクリートの周囲には、硬さや比重などから想起される素材特性、構造などの使用用途、ファサードに対する設計意図が多く見受けられる結果となった。強い共起関係ほど、線が濃く、係数を大きくするので、設計意図と素材の関係性と強度を定量化および視覚化することができたと考える。

また、検査IIの使用した残り5種類の素材についても分析をした結果、同様に素材の質感や特性を活かす設計意図が素材の周囲に点在する結果となった(図4-3～4-7)。

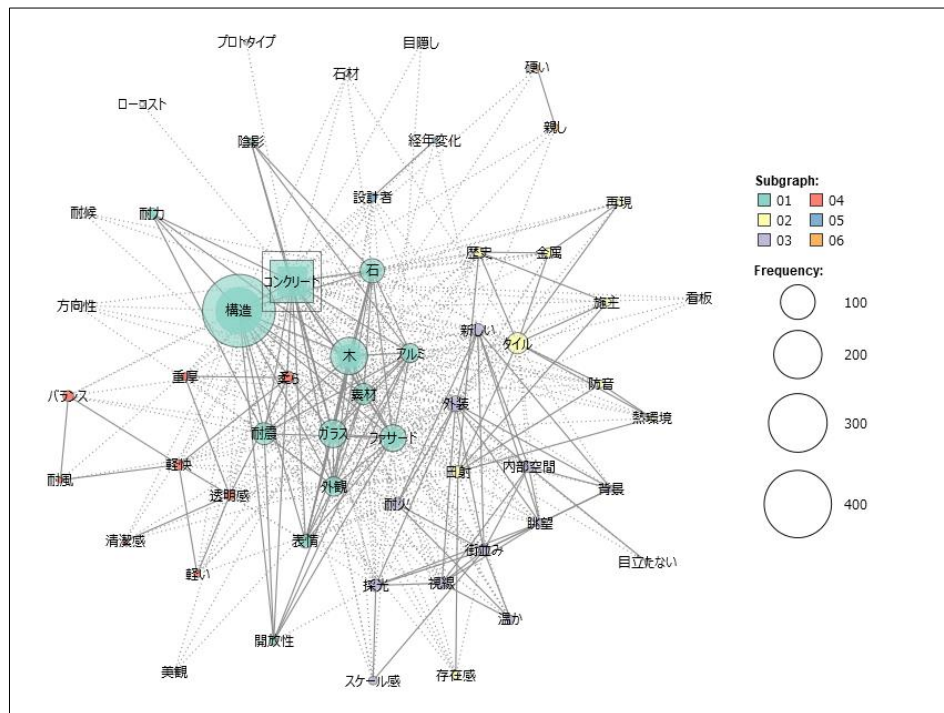


図4-2 コンクリートを中心とした共起ネットワーク

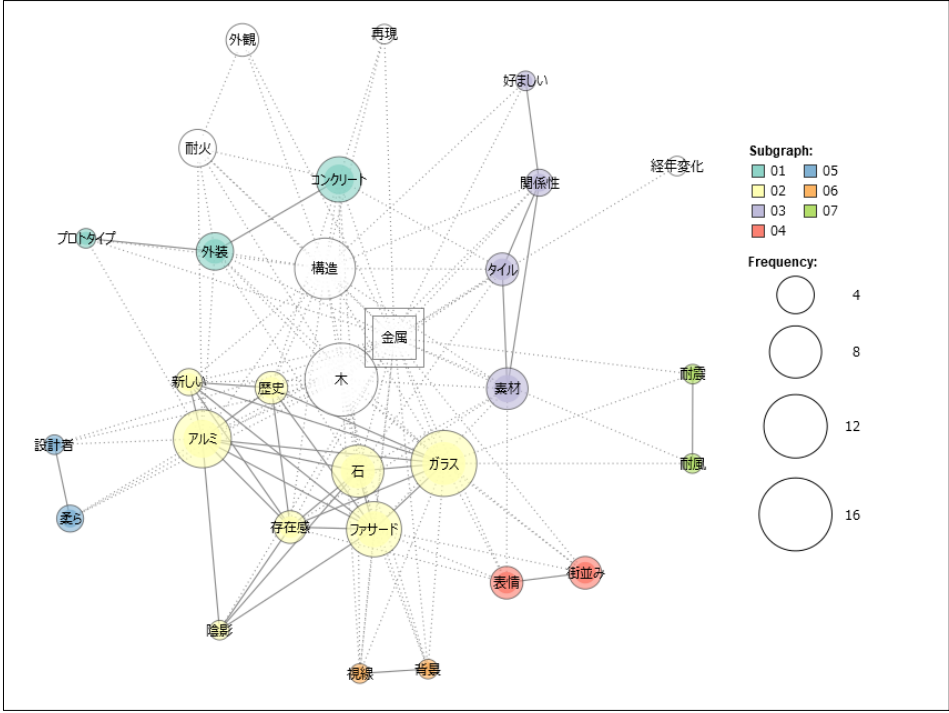


図4-3 金属を中心とした共起ネットワーク

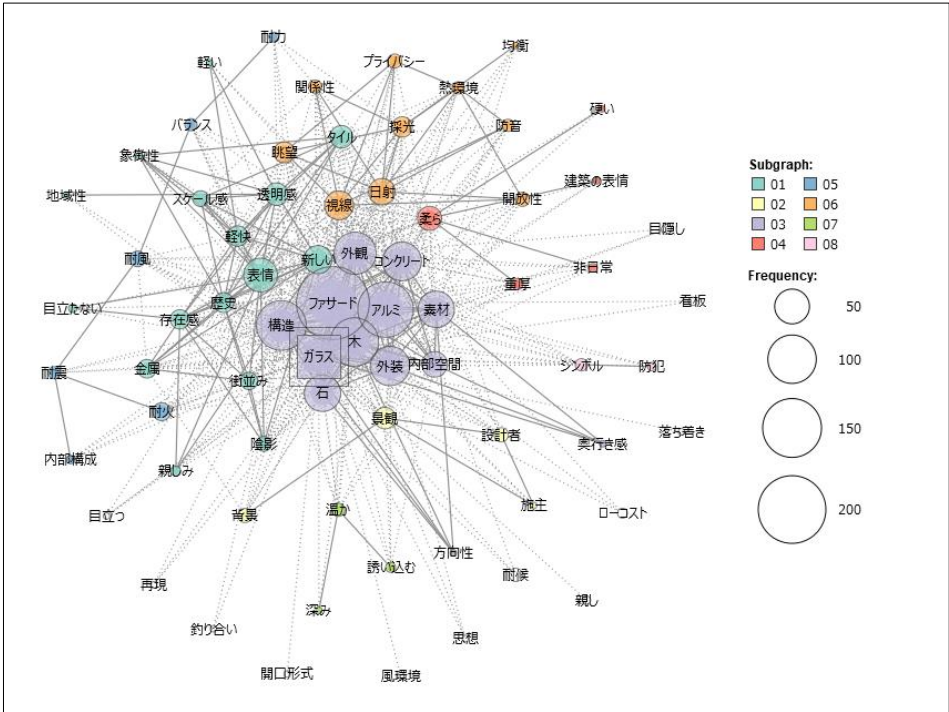


図4-4 ガラスを中心とした共起ネットワーク

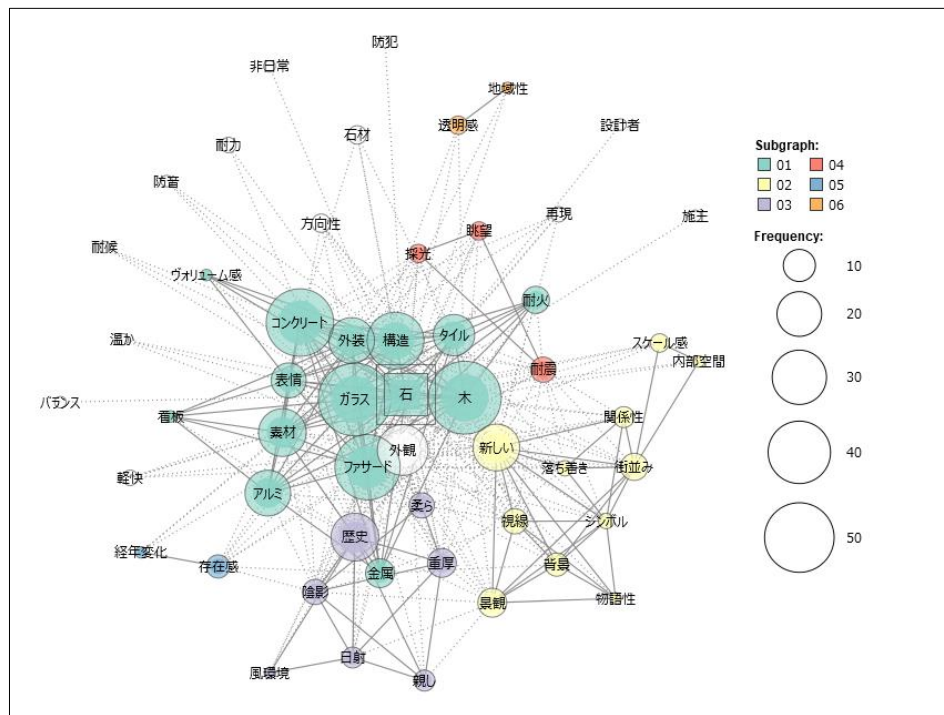


図4-5 石(石材)を中心とした共起ネットワーク

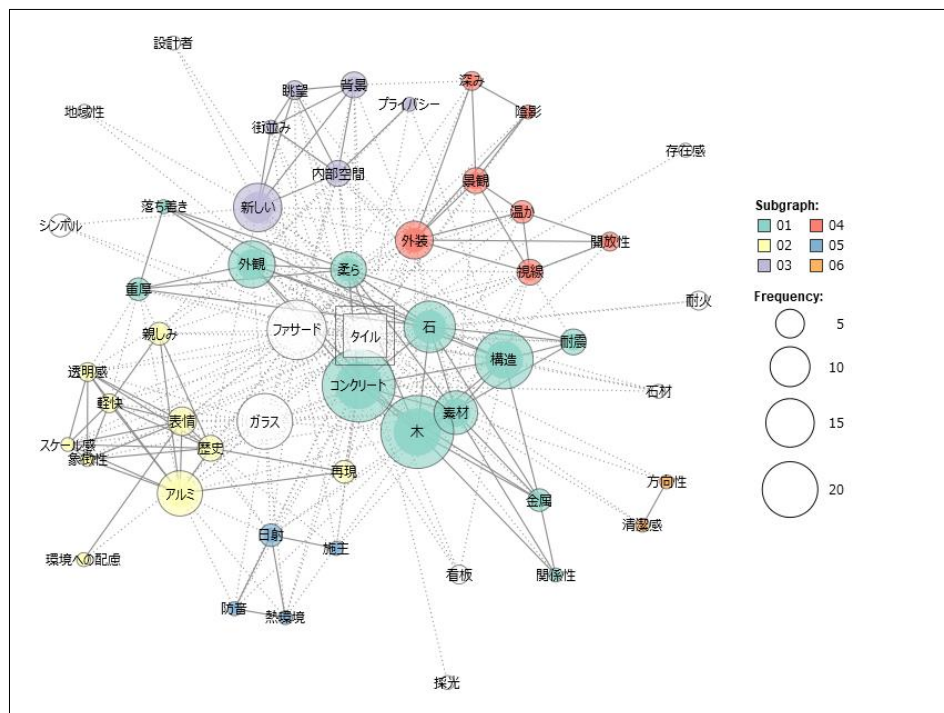


図4-6 タイルを中心とした共起ネットワーク

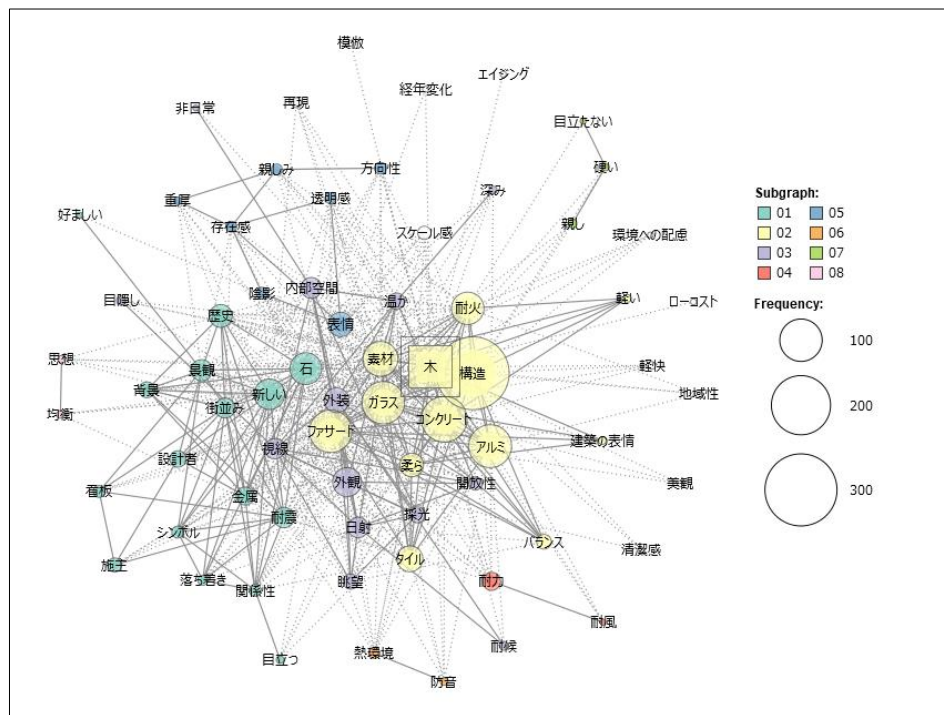


図4-7 木(木材)を中心とした共起ネットワーク

4.2. 検査Ⅲ

4.2.1. 検査概要

検査Ⅲの試料概要を表4-1に示す。検査Ⅲでは、今後のファサードデザイン時を想定した検査として、ファサード調査を行った実在建築12事例を対象に、忠実に再現したシミュレーションモデルを作成し、試料として用いて印象評価を行った。評価尺度は検査Ⅱと同様に、6つの項目とした(表8)。なお、ファサード調査の対象となった建築の中から、設計意図分における【人】の側面を有する設計意図を持つ事例をランダムに12作品選出した。

被験者は、本学建築学域修士1・2年、OBOGと本学他学域修士1・2年の男女32名(20代前半)とした。回答方法は、Google Formを使用した(図4-8)。

表4-1 試料概要

試料番号	ファサード素材	ファサードパターン	設計意図(分類)
1	金属・ガラス	縦型	プライバシー(視線)、目隠し、景観・街並み
2	石材	グリッド型	プライバシー(視線)
3	ガラス	グリッド型	透明感、重み(軽さ)
4	金属	縦型	プライバシー(視線)
5	ガラス	グリッド型	透明感、重み(軽快感)、内部情報・アクティビティの表出
6	コンクリート・木材	横型	開放性・人の誘致、景観・街並み
7	コンクリート・ガラス	横型	存在感(派手な)
8	コンクリート	縦型	思想、透明感、新規性
9	ガラス	グリッド型	構造、新規性
10	金属・ガラス	縦型	環境への配慮、透明感、プライバシー(視線)
11	コンクリート・ガラス	グリッド型	開放性・人の誘致、非日常
12	ガラス・木材	横型	柔らかさ

図4-8 検査Ⅲ回答フォーム

4.2.2. 結果

表 4-2・4-3 に系列範疇法の結果と各評価尺度の共通尺度を示した。各評価尺度の標準偏差は 0.88～0.98 となっており、ばらつきは見られるが平均的であり、妥当であると思われる。

【新規性】の尺度値の平均は「0.31」となっており、やや目新しいと評価している割合が多い。

【存在感】の尺度値の平均は「0.02」となっており、やや地味である・やや派手であると評価している割合が多い。

【重み】の尺度値の平均は「0.11」となっており、やや重厚であると評価している割合が多い。

【硬軟性】の尺度値の平均は「0.67」となっており、やや硬そうだと評価している割合が多い。

【親しみやすさ】の尺度値の平均は「0.17」となっており、やや親しみやすいと評価している割合が多い。

【好ましき】の尺度値の平均は「0.33」となっており、やや好ましいと評価している割合が多い。

表 4-4 に、各試料の共通尺度を示す。

表4-2 系列範疇法結果

系列範疇法分析結果												
	新規性		存在感		重み		硬軟性		親しみやすさ		好ましさ	
	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差	尺度値	標準偏差
合計	3.73	10.78	0.27	10.61	1.36	10.98	8.06	11.10	2.02	11.76	3.92	10.99
平均	0.31	0.90	0.02	0.88	0.11	0.91	0.67	0.92	0.17	0.98	0.33	0.92
偏差	0.75	0.17	0.77	0.17	0.61	0.14	0.46	0.12	0.38	0.19	0.51	0.13

表4-3 共通尺度

共通尺度					
評価項目	1	2	3	4	5
新規性	-1.82	-0.81	0	0.90	2.11
存在感	-2.02	-0.87	0	0.88	1.99
重み	-1.96	-0.84	0	0.84	1.95
硬軟性	-1.76	-0.77	0	0.84	2.06
親しみやすさ	-1.68	-0.72	0	0.73	1.78
好ましさ	-1.49	-0.58	0	0.73	1.84

表4-4 各試料の共通尺度

試料番号	新規性	存在感	重み	硬軟性	親しみやすさ	好ましさ
1	0.42	-0.07	-0.43	0.84	0.50	0.61
2	1.67	1.06	0.16	0.23	-0.55	-0.41
3	-0.45	-0.04	-0.67	0.21	0.72	0.81
4	0.36	-0.57	0.09	0.91	0.13	0.38
5	0.34	0.17	-1.01	0.10	0.55	1.07
6	0.13	-0.71	0.78	1.28	0.08	-0.13
7	-1.00	-1.07	0.58	1.04	0.02	-0.37
8	-0.37	-0.21	0.43	0.78	0.36	0.26
9	0.17	-0.44	0.35	0.93	-0.27	0.02
10	0.84	0.70	-0.14	0.36	0.26	0.74
11	-0.01	-0.31	1.30	1.40	0.53	1.05
12	1.62	1.76	-0.05	-0.04	-0.30	-0.11

4.2.3. 考察 ～設計意図の整合性分析～

建築家の考えるファサード設計意図が一般の人々に伝わっているかを明確にするために、試料ごとに各尺度の整合性を示すレーダーチャート(図4-9)を作成した。今回検査で用いた12事例の中から、整合性を評価するに値する設計意図は18項目確認できた(表4-5)。うち、9項目については、特定の設計意図に相当する評価尺度値が評価基準(表4-6)を満たしており、整合性が確認できたが、残り9項目については整合性が不十分であることがわかった。素材ごとの整合性については、すべての素材において有効性が認められたのは約半数であった。ファサードパターンごとの整合性については、グリッド型のみ7割以上の項目で整合性が確認された。以上より、今回の検査に用いた実在建築においては、設計意図がストレートに伝わっているとは言えない結果となった。

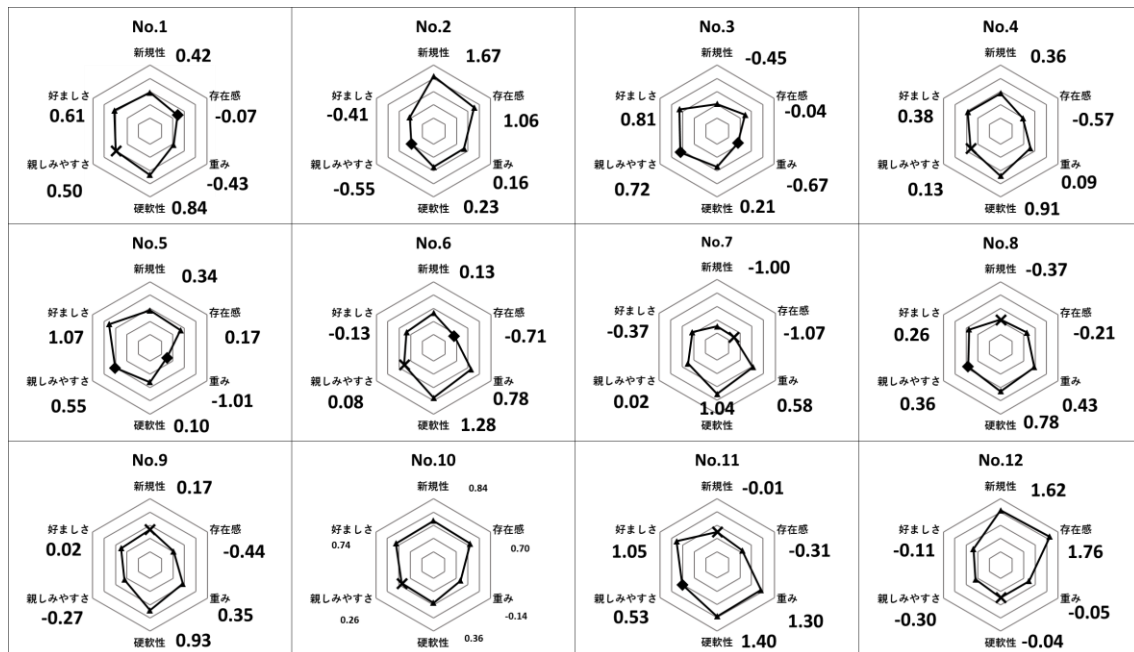


図4-9 設計意図との整合性

表4-5 設計意図の整合性

試料番号	設計意図(分類)	対応評価尺度		評価基準	判定
1	プライバシー(視線)	親しみやすさ	0.50	$x < -0.36$	×
	目隠し				
	景観・街並み	存在感	-0.07	$-0.43 < x < 0.44$	○
2	プライバシー(視線)	親しみやすさ	-0.55	$x < -0.36$	○
3	透明感	親しみやすさ	0.72	$x > 0.36$	○
	重み(軽さ)	重み	-0.67	$x < -0.42$	○
4	プライバシー(視線)	親しみやすさ	0.13	$x < -0.36$	×
5	透明感	親しみやすさ	0.55	$x > 0.36$	○
	重み(軽快感)	重み	-1.01	$x < -0.42$	○
	内部情報・アクティビティの表出				
6	開放性・人の誘致	親しみやすさ	0.08	$x > 0.36$	×
	景観・街並み	存在感	-0.71	$x < 0.44$	○
7	存在感(派手な)	存在感	-1.07	$x > 0.44$	×
8	思想				
	透明感	親しみやすさ	0.36	$x > 0.36$	○
	新規性	新規性	-0.37	$x > 0.45$	×
9	構造				
	新規性	新規性	0.17	$x > 0.45$	×
10	環境への配慮				
	透明感	親しみやすさ	0.26	$x > 0.36$	×
	プライバシー(視線)			$x < -0.36$	
11	開放性・人の誘致	親しみやすさ	0.53	$x > 0.36$	○
	非日常	新規性	-0.01	$x > 0.45$	×
12	柔らかさ	硬軟性	-0.04	$x < -0.38$	×

表4-6 評価基準値

	1		2		3		4		5	
新規性	-1.82	-1.31	-0.81	-0.40	0	0.45	0.90	1.51	2.11	
存在感	-2.02	-1.44	-0.87	-0.43	0	0.44	0.88	1.43	1.99	
重み	-1.96	-1.40	-0.84	-0.42	0	0.42	0.84	1.39	1.95	
硬軟性	-1.76	-1.26	-0.77	-0.38	0	0.42	0.84	1.45	2.06	
親しみやす	-1.68	-1.20	-0.72	-0.36	0	0.36	0.73	1.25	1.78	
好ましさ	-1.49	-1.04	-0.58	-0.29	0	0.36	0.73	1.28	1.84	

第 5 章 結論

建築ファサードに使用される素材の表層特性が印象評価に及ぼす影響について、以下の点を明らかにした。

- 1) 人が建築ファサードを印象評価する際、素材・開口率・建築形状のバランスが取れていると好ましいと感じられる。特に【好ましさ】への心理的影響度が高い要因は素材である。
- 2) ファサード調査により、ファサードに使用する素材を決めるときは、「景観・街並み」への意識が強く、内部環境や周囲との関係性を考慮していることがわかった。また建築ファサードは、単なる面としての見られ方だけではなく、建築内部と街や都市などといった外部との繋がり方を操作する重要な機能として認識されていることがわかった。
- 3) 人が簡易的な建築モデルを印象評価する際、素材と明度・彩度が【好ましさ】に大きく影響することがわかった。また、ファサードパターンの影響度が著しく低いことから、ファサードのハード的特性は素材特性に比べて重要視されていないことがわかった。

- 4) 建築ファサードにおいて、心理的特徴と物理的特徴のあるクラスターに分類できたことにより、心理的影響の大きい設計意図に対して、ファサード表層特性を具体的に提案するガイドラインの提示ができた。
- 5) 実在建築写真を基に作成した試料(検査Ⅰ)とシミュレーションモデルを基に作成した試料(検査Ⅱ)の検査結果が近しく、整合性があると考えられるため、今後のファサードデザインにおいて、シミュレーションモデルでの検討の有効性を示すことができた。
- 6) 実在建築に近似するシミュレーション試料を用いた印象評価により、建築家と一般人のファサードの設計意図の関連を検討した結果、全ての事例での一致性は不明確であった。

参考文献

- 1) 塩崎太伸：都市型商業建築におけるファサード空間の設計意図－商業建築の設計手法関する研究－、日本建築学会大会学術講演梗概集(東北)2000年9月、p487-488、2000年
- 2) 佐藤由花・山田深：現代建築の外装にみられる装飾的意匠－設計意図と表現からみた建築の創作に関する研究－、日本建築学会北海道支部研究報告集 No.92(2019年6月)、p403-406、2019年
- 3) 新建築社：新建築(2000年1月号～2020年12月号)、2000-2020年
株式会社新建築データ、“新建築データ”、新建築データ、2022年、
<https://data.shinkenchiku.online/>、(参照 2022/01/19)
- 4) 大石聡輝、紙野桂人：外装材の選択と視覚的デザインに関する一考察、61年度日本建築学会近畿支部研究報告集、p729-732、1986年
- 5) 若山滋、岡島達雄、菅雅幸、奥山昌則：近代多層建築における外壁面構成とその意匠性に関する研究、日本建築学会計画系論文報告集第391号(昭和63年9月)、p116-124、1998年
- 6) 大金弘和、船越徹、積田洋、中村諭樹生、澤頭幸司：心理量と物理量の重回帰分析－ファサードの研究(その18)－、日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿)1996年9月、p731-732、1996年
- 7) 脇本英二郎、山田深、佐々木タ介、丸山友士：現代建築の有機的形態における設計意図－建築家の言説による分析－、日本建築学会大会学術講演梗概集(関東)2006年9月、p723-724、2006年
- 8) 武石諭士、郷田桃代：街路におけるファサードの構成要素とその色彩の記述方法に関する研究、日本建築学会大会学術講演梗概集(関東)2006年9月、p173-174、2006年

- 9) 戸田啓太、山田深：現代日本建築家の創作における隠喩的表現、日本建築学会北海道支部研究報告集 No.91(2018 年 6 月)、p543-546、2018 年
- 10) 谷合享介：再生建築の印象評価に及ぼす視覚的情報量の影響－ファサードの新旧外壁仕上に着目して－、首都大学東京 平成 28 年度修士論文、2016 年
- 11) Joy Paul Guilford：精神測定法、1959
- 12) 一般社団法人公共建築協会、“施設用途分類表(新)施設用途分類表”、一般社団法人公共建築協会、2017 年、
https://www.pbaweb.jp/img/content/20171124_%E6%96%BD%E8%A8%AD%E7%94%A8%E9%80%94%E5%88%86%E9%A1%9E.pdf、(参照 2022/01/30)
- 13) 川喜田二郎：発想法 創造性開発のために、中公新書、1967 年
- 14) 柳井久江：エクセル統計 実用多変量解析編、オーエムエス出版、2005 年
- 15) 樋口耕一：社会調査のための計量テキスト分析－内容分析の継承と発展を目指して－、ナカニシヤ出版、2014 年

謝辭

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

皆様、本当にありがとうございました。

令和4年2月 吉田慧悟

付録

- ・ 検査Ⅰ関連資料
- ・ ファサード調査関連資料
- ・ 検査Ⅱ関連資料
- ・ 検査Ⅲ関連資料
- ・ 梗概

【検査Ⅰ 関連資料】

《検査Ⅰ 配布資料・評価シート》

The Practices of Building Materials Experiment
—Building Material Engineering Laboratory

2021/07/20 全体

建築材料実験（火曜日・3～4 時限・13:00～16:10）

担当教員：吉岡昌洋、国枝陽一郎、橋高義典

TA、大学院生：吉田慧悟、佐々木広哉、佐藤大知、洲崎穂乃佳、廣川光

建築ファサードにおける使用建材による印象影響評価

1. はじめに

様々な建築に使用されるファサード建材は、設計者が意図して装飾的な表現するのに用いられることが多くある。効率的・合理的な機能を求め、内外を統一させると言う近代建築の思想において、建築全体を覆う表面的な装飾は、世間的に否定されてきた。しかし、以前より装飾的なファサードを備えていた商業建築だけでなく、公共建築や住宅などの外装にも装飾的な表現を用いる傾向が近年多く見受けられる。ファサードは、採光や通風などといった建築的な機能に加え、建築を覆う包装紙のような存在として一番外側で人や街などと直に触れ、影響を与える重要な役割を担っていると考えられる。その重要性から、ファサードは様々な装飾的な表現の媒体として用いられるので、ある印象を想起させたり、街に影響を与えたりするなど、単なる機能や飾りの域を超えている。

2. 目的

今回の授業では、ファサード建材(物理量)が人に与える視覚的印象(心理量)を明らかにし、ファサード設計における素材からみたパターンを見いだすことを目的としている。最終的な目的としては、建築を構成する要素の中で、一番近い距離で人や街などに対して接しているファサードに施されている装飾的意匠に着目し、建築家がどのような思想を持って装飾的意匠をデザインしたのか、そしてその意匠的設計意図が実際にエンドユーザーである一般の方々に伝わっているかの実態を明らかにすることを目的とする。

3. 本日の流れ

- ・印象影響評価の説明
- ・建築ファサードにおける使用建材による印象影響評価
- ・評価シート回収
- ・評価シート返却+レポートについて

4. レポートについて

レポート提出期限 7月27日

今回のレポートに正解はありません。自由に様々な観点から考察してください。

こちらで集計したデータをまとめたものを kibako にて、配布します。最終的に個人でレポートにまとめてもらいます。

建築ファサードにおける使用建材による印象影響評価 評価シート

学修番号() 氏名()
班() 年齢() 性別()

これから建築ファサードにおける使用建材に対して、印象影響評価を行います。

- ① 学修番号・氏名・班・年齢・性別を評価シートに記入してください。
- ② 試料は全部で **64枚**あります。
- ③ 評価軸は5つあります。評価は1回ずつしてください。
 - ・新規性(見慣れたー目新しい)
 - ・存在感(地味であるー派手である)
 - ・重み(軽快であるー重厚である)
 - ・バランス(バランスが悪いーバランスが良い)
 - ・好ましさ(好ましくないー好ましい)
- ④ 建築ファサードとして絶対評価してください。
- ⑤ 試料は机上においたまま、触れないように気を付けて回答してください。
- ⑥ 評価シートの試料番号と試料の右下に書かれた番号が対応するように回答してください。
- ⑦ 試料1枚あたり、5～10秒間で絶対評価してください。
- ⑧ 前の人を急かさないようにしてください。

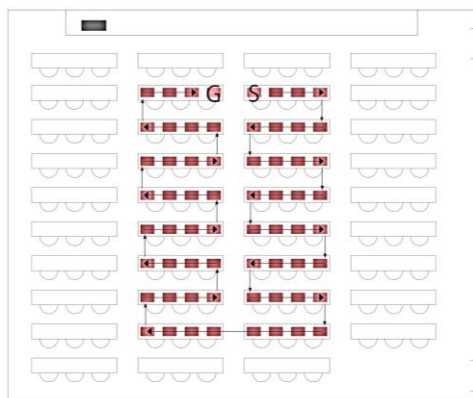


図1 教室移動順路

評価項目	見慣れた	やや見慣れた	どちらでもない	やや目新しい	目新しい
評価値	1	2	3	4	5
1	1	2	3	4	5
2	1	2	3	4	5
3	1	2	3	4	5
4	1	2	3	4	5
5	1	2	3	4	5

図2 評価シート記入例

※1 印象影響評価する際は、図1のように教室内を移動してください。

※2 評価シートの記入方法は特に指定しませんが、図2のようにどの評価をしたか分かるように記入してください。

ご協力ありがとうございます。

1.1 ～ 64 の建築ファサードについて、新規性（見慣れた一目新しい）を教えてください。

学修番号 () 氏名 () (数字に○をつけてください)

評価項目	見慣れた	やや見慣れた	どちらでもない	やや目新しい	目新しい
評価値	1	2	3	4	5

1	1	2	3	4	5
2	1	2	3	4	5
3	1	2	3	4	5
4	1	2	3	4	5

5	1	2	3	4	5
6	1	2	3	4	5
7	1	2	3	4	5
8	1	2	3	4	5

9	1	2	3	4	5
10	1	2	3	4	5
11	1	2	3	4	5
12	1	2	3	4	5

13	1	2	3	4	5
14	1	2	3	4	5
15	1	2	3	4	5
16	1	2	3	4	5

評価項目	見慣れた	やや見慣れた	どちらでもない	やや目新しい	目新しい
評価値	1	2	3	4	5

17	1	2	3	4	5
18	1	2	3	4	5
19	1	2	3	4	5
20	1	2	3	4	5

21	1	2	3	4	5
22	1	2	3	4	5
23	1	2	3	4	5
24	1	2	3	4	5

25	1	2	3	4	5
26	1	2	3	4	5
27	1	2	3	4	5
28	1	2	3	4	5

29	1	2	3	4	5
30	1	2	3	4	5
31	1	2	3	4	5
32	1	2	3	4	5

評価項目	見慣れた	やや見慣れた	どちらでもない	やや目新しい	目新しい
評価値	1	2	3	4	5

33	1	2	3	4	5
34	1	2	3	4	5
35	1	2	3	4	5
36	1	2	3	4	5

37	1	2	3	4	5
38	1	2	3	4	5
39	1	2	3	4	5
40	1	2	3	4	5

41	1	2	3	4	5
42	1	2	3	4	5
43	1	2	3	4	5
44	1	2	3	4	5

45	1	2	3	4	5
46	1	2	3	4	5
47	1	2	3	4	5
48	1	2	3	4	5

評価項目	見慣れた	やや見慣れた	どちらでもない	やや目新しい	目新しい
評価値	1	2	3	4	5

49	1	2	3	4	5
50	1	2	3	4	5
51	1	2	3	4	5
52	1	2	3	4	5

53	1	2	3	4	5
54	1	2	3	4	5
55	1	2	3	4	5
56	1	2	3	4	5

57	1	2	3	4	5
58	1	2	3	4	5
59	1	2	3	4	5
60	1	2	3	4	5

61	1	2	3	4	5
62	1	2	3	4	5
63	1	2	3	4	5
64	1	2	3	4	5

Ⅱ.1 ～ 64 の建築ファサードについて、存在感（地味である－派手である）を教えてください。

学修番号 () 氏名 () (数字に○をつけてください)

評価項目	地味である	やや地味である	どちらでもない	やや派手である	派手である
評価値	1	2	3	4	5

1	1	2	3	4	5
2	1	2	3	4	5
3	1	2	3	4	5
4	1	2	3	4	5

5	1	2	3	4	5
6	1	2	3	4	5
7	1	2	3	4	5
8	1	2	3	4	5

9	1	2	3	4	5
10	1	2	3	4	5
11	1	2	3	4	5
12	1	2	3	4	5

13	1	2	3	4	5
14	1	2	3	4	5
15	1	2	3	4	5
16	1	2	3	4	5

評価項目	地味である	やや地味である	どちらでもない	やや派手である	派手である
評価値	1	2	3	4	5

17	1	2	3	4	5
18	1	2	3	4	5
19	1	2	3	4	5
20	1	2	3	4	5

21	1	2	3	4	5
22	1	2	3	4	5
23	1	2	3	4	5
24	1	2	3	4	5

25	1	2	3	4	5
26	1	2	3	4	5
27	1	2	3	4	5
28	1	2	3	4	5

29	1	2	3	4	5
30	1	2	3	4	5
31	1	2	3	4	5
32	1	2	3	4	5

評価項目	地味である	やや地味である	どちらでもない	やや派手である	派手である
評価値	1	2	3	4	5

33	1	2	3	4	5
34	1	2	3	4	5
35	1	2	3	4	5
36	1	2	3	4	5

37	1	2	3	4	5
38	1	2	3	4	5
39	1	2	3	4	5
40	1	2	3	4	5

41	1	2	3	4	5
42	1	2	3	4	5
43	1	2	3	4	5
44	1	2	3	4	5

45	1	2	3	4	5
46	1	2	3	4	5
47	1	2	3	4	5
48	1	2	3	4	5

評価項目	地味である	やや地味である	どちらでもない	やや派手である	派手である
評価値	1	2	3	4	5

49	1	2	3	4	5
50	1	2	3	4	5
51	1	2	3	4	5
52	1	2	3	4	5

53	1	2	3	4	5
54	1	2	3	4	5
55	1	2	3	4	5
56	1	2	3	4	5

57	1	2	3	4	5
58	1	2	3	4	5
59	1	2	3	4	5
60	1	2	3	4	5

61	1	2	3	4	5
62	1	2	3	4	5
63	1	2	3	4	5
64	1	2	3	4	5

Ⅲ.1 ～ 64 の建築ファサードについて、重み（軽快である－重厚である）を教えてください。

学修番号 () 氏名 () (数字に○をつけてください)

評価項目	軽快である	やや軽快である	どちらでもない	やや重厚である	重厚である
評価値	1	2	3	4	5

1	1	2	3	4	5
2	1	2	3	4	5
3	1	2	3	4	5
4	1	2	3	4	5

5	1	2	3	4	5
6	1	2	3	4	5
7	1	2	3	4	5
8	1	2	3	4	5

9	1	2	3	4	5
10	1	2	3	4	5
11	1	2	3	4	5
12	1	2	3	4	5

13	1	2	3	4	5
14	1	2	3	4	5
15	1	2	3	4	5
16	1	2	3	4	5

評価項目	軽快である	やや軽快である	どちらでもない	やや重厚である	重厚である
評価値	1	2	3	4	5

17	1	2	3	4	5
18	1	2	3	4	5
19	1	2	3	4	5
20	1	2	3	4	5

21	1	2	3	4	5
22	1	2	3	4	5
23	1	2	3	4	5
24	1	2	3	4	5

25	1	2	3	4	5
26	1	2	3	4	5
27	1	2	3	4	5
28	1	2	3	4	5

29	1	2	3	4	5
30	1	2	3	4	5
31	1	2	3	4	5
32	1	2	3	4	5

評価項目	軽快である	やや軽快である	どちらでもない	やや重厚である	重厚である
評価値	1	2	3	4	5

33	1	2	3	4	5
34	1	2	3	4	5
35	1	2	3	4	5
36	1	2	3	4	5

37	1	2	3	4	5
38	1	2	3	4	5
39	1	2	3	4	5
40	1	2	3	4	5

41	1	2	3	4	5
42	1	2	3	4	5
43	1	2	3	4	5
44	1	2	3	4	5

45	1	2	3	4	5
46	1	2	3	4	5
47	1	2	3	4	5
48	1	2	3	4	5

評価項目	軽快である	やや軽快である	どちらでもない	やや重厚である	重厚である
評価値	1	2	3	4	5

49	1	2	3	4	5
50	1	2	3	4	5
51	1	2	3	4	5
52	1	2	3	4	5

53	1	2	3	4	5
54	1	2	3	4	5
55	1	2	3	4	5
56	1	2	3	4	5

57	1	2	3	4	5
58	1	2	3	4	5
59	1	2	3	4	5
60	1	2	3	4	5

61	1	2	3	4	5
62	1	2	3	4	5
63	1	2	3	4	5
64	1	2	3	4	5

IV.1 ～ 64 の建築ファサードについて、バランス (バランス悪いーバランス良い)

を教えてください。

学修番号 () 氏名 ()

(数字に○をつけてください)

評価項目	バランス悪い	やや バランス悪い	どちらでもない	やや バランス良い	バランス良い
評価値	1	2	3	4	5

1	1	2	3	4	5
2	1	2	3	4	5
3	1	2	3	4	5
4	1	2	3	4	5

5	1	2	3	4	5
6	1	2	3	4	5
7	1	2	3	4	5
8	1	2	3	4	5

9	1	2	3	4	5
10	1	2	3	4	5
11	1	2	3	4	5
12	1	2	3	4	5

13	1	2	3	4	5
14	1	2	3	4	5
15	1	2	3	4	5
16	1	2	3	4	5

評価項目	バランス悪い	やや バランス悪い	どちらでもない	やや バランス良い	バランス良い
評価値	1	2	3	4	5

17	1	2	3	4	5
18	1	2	3	4	5
19	1	2	3	4	5
20	1	2	3	4	5

21	1	2	3	4	5
22	1	2	3	4	5
23	1	2	3	4	5
24	1	2	3	4	5

25	1	2	3	4	5
26	1	2	3	4	5
27	1	2	3	4	5
28	1	2	3	4	5

29	1	2	3	4	5
30	1	2	3	4	5
31	1	2	3	4	5
32	1	2	3	4	5

評価項目	バランス悪い	やや バランス悪い	どちらでもない	やや バランス良い	バランス良い
評価値	1	2	3	4	5

33	1	2	3	4	5
34	1	2	3	4	5
35	1	2	3	4	5
36	1	2	3	4	5

37	1	2	3	4	5
38	1	2	3	4	5
39	1	2	3	4	5
40	1	2	3	4	5

41	1	2	3	4	5
42	1	2	3	4	5
43	1	2	3	4	5
44	1	2	3	4	5

45	1	2	3	4	5
46	1	2	3	4	5
47	1	2	3	4	5
48	1	2	3	4	5

評価項目	バランス悪い	やや バランス悪い	どちらでもない	やや バランス良い	バランス良い
評価値	1	2	3	4	5

49	1	2	3	4	5
50	1	2	3	4	5
51	1	2	3	4	5
52	1	2	3	4	5

53	1	2	3	4	5
54	1	2	3	4	5
55	1	2	3	4	5
56	1	2	3	4	5

57	1	2	3	4	5
58	1	2	3	4	5
59	1	2	3	4	5
60	1	2	3	4	5

61	1	2	3	4	5
62	1	2	3	4	5
63	1	2	3	4	5
64	1	2	3	4	5

V.1 ～ 64 の建築ファサードについて、好ましさ（好ましくないー好ましい）を教えてください。

学修番号 () 氏名 () (数字に○をつけてください)

評価項目	好ましくない	やや好ましくない	どちらでもない	やや好ましい	好ましい
評価値	1	2	3	4	5

1	1	2	3	4	5
2	1	2	3	4	5
3	1	2	3	4	5
4	1	2	3	4	5

5	1	2	3	4	5
6	1	2	3	4	5
7	1	2	3	4	5
8	1	2	3	4	5

9	1	2	3	4	5
10	1	2	3	4	5
11	1	2	3	4	5
12	1	2	3	4	5

13	1	2	3	4	5
14	1	2	3	4	5
15	1	2	3	4	5
16	1	2	3	4	5

評価項目	好ましくない	やや好ましくない	どちらでもない	やや好ましい	好ましい
評価値	1	2	3	4	5

17	1	2	3	4	5
18	1	2	3	4	5
19	1	2	3	4	5
20	1	2	3	4	5

21	1	2	3	4	5
22	1	2	3	4	5
23	1	2	3	4	5
24	1	2	3	4	5

25	1	2	3	4	5
26	1	2	3	4	5
27	1	2	3	4	5
28	1	2	3	4	5

29	1	2	3	4	5
30	1	2	3	4	5
31	1	2	3	4	5
32	1	2	3	4	5

評価項目	好ましくない	やや好ましくない	どちらでもない	やや好ましい	好ましい
評価値	1	2	3	4	5

33	1	2	3	4	5
34	1	2	3	4	5
35	1	2	3	4	5
36	1	2	3	4	5

37	1	2	3	4	5
38	1	2	3	4	5
39	1	2	3	4	5
40	1	2	3	4	5

41	1	2	3	4	5
42	1	2	3	4	5
43	1	2	3	4	5
44	1	2	3	4	5

45	1	2	3	4	5
46	1	2	3	4	5
47	1	2	3	4	5
48	1	2	3	4	5

評価項目	好ましくない	やや好ましくない	どちらでもない	やや好ましい	好ましい
評価値	1	2	3	4	5

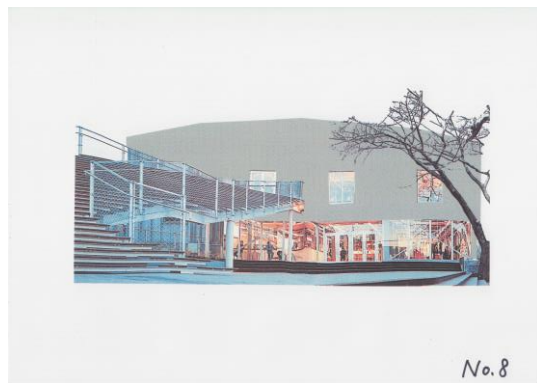
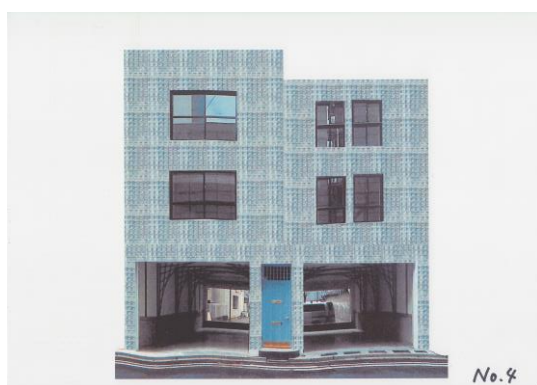
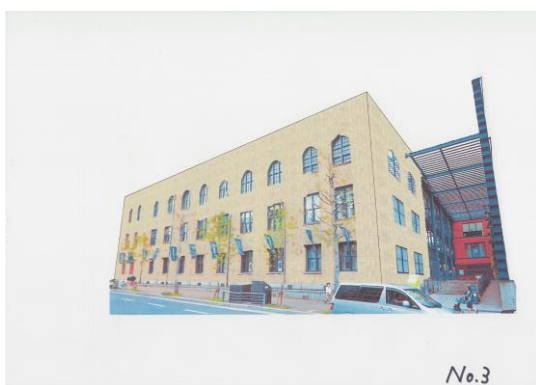
49	1	2	3	4	5
50	1	2	3	4	5
51	1	2	3	4	5
52	1	2	3	4	5

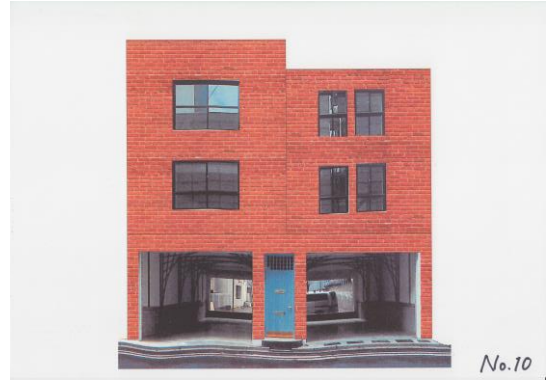
53	1	2	3	4	5
54	1	2	3	4	5
55	1	2	3	4	5
56	1	2	3	4	5

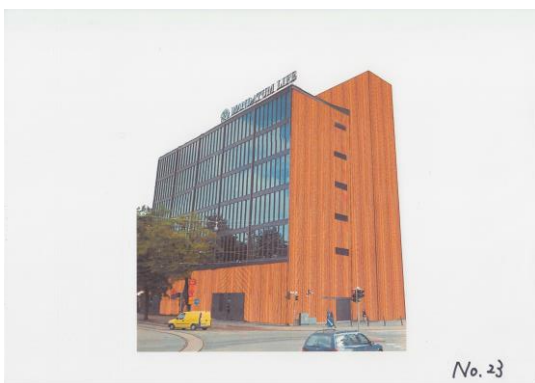
57	1	2	3	4	5
58	1	2	3	4	5
59	1	2	3	4	5
60	1	2	3	4	5

61	1	2	3	4	5
62	1	2	3	4	5
63	1	2	3	4	5
64	1	2	3	4	5

《検査Ⅰ 試料画像》









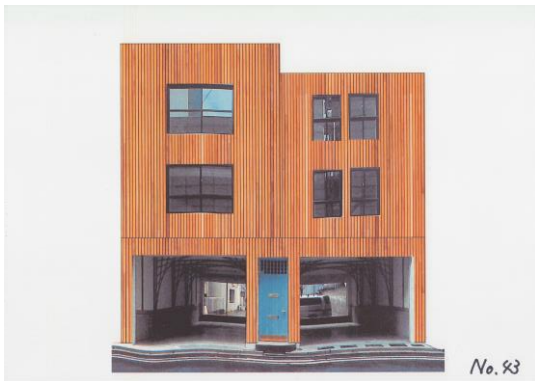




No. 41



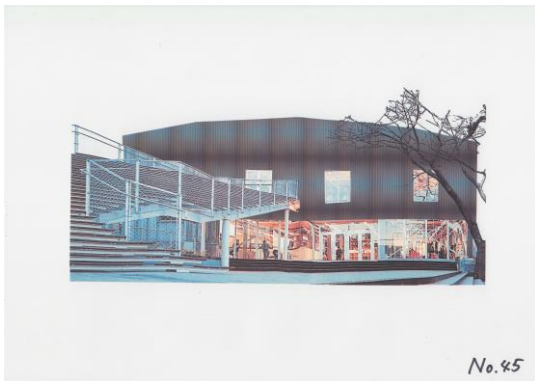
No. 42



No. 43



No. 44



No. 45



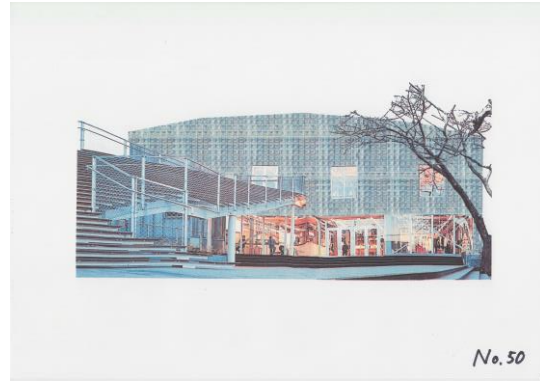
No. 46



No. 47



No. 48

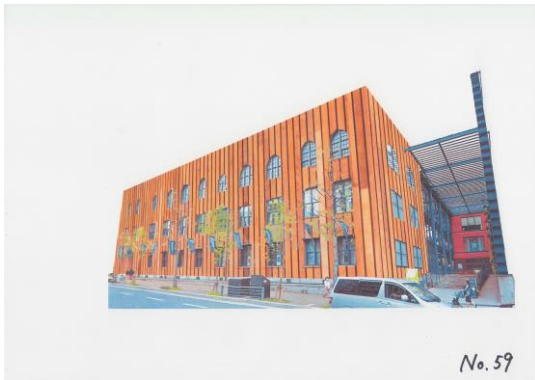




No. 57



No. 58



No. 59



No. 60



No. 61



No. 62



No. 63



No. 64

《検査Ⅰ アンケート生データ》

新規性(見慣れた・目新しい)

原料番号	原料名	見慣れた		やや見慣れた		どちらでもない		やや目新しい		目新しい	
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
原料番号	原料名	見慣れた		やや見慣れた		どちらでもない		やや目新しい		目新しい	
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	血圧ソフトウェア主記憶用センター	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
2	コンクリート	1	3	2	2	3	2	1	4	2	2
3	石材	3	2	3	5	4	4	3	4	3	3
4	レンガ	5	4	4	4	5	4	1	4	4	1
5	水倉	3	2	3	3	5	4	1	2	1	4
6	鉄骨十番の集合住宅	3	2	4	5	4	1	2	5	2	1
7	後藤寺サクラ園	5	2	4	5	4	4	3	3	5	1
8	la bagu	1	5	1	1	2	2	2	2	4	2
9	サンボライ社	4	4	4	2	2	3	5	5	4	2
10	日本橋田テラー	3	3	1	1	4	2	1	2	2	1
11	水倉	4	5	2	5	2	3	4	2	5	-
12	la bagu	1	4	4	4	2	4	2	2	3	2
13	鉄骨十番の集合住宅	4	4	3	5	3	2	3	4	3	5
14	コンクリート	1	2	2	4	3	1	1	1	2	5
15	木材	2	4	4	1	4	5	4	3	4	3
16	後藤寺サクラ園	1	2	2	1	2	3	1	2	2	4
17	la bagu	3	4	3	5	3	2	3	4	4	2
18	鉄骨十番の集合住宅	4	2	2	5	2	4	4	2	4	3
19	レンガ	1	4	1	2	2	1	2	1	2	3
20	水倉	1	3	1	1	2	3	1	3	2	1
21	コンクリート	4	4	3	3	2	4	4	4	3	3
22	日本橋田テラー	1	5	2	1	1	2	1	1	5	1
23	サンボライ社	4	3	1	2	4	3	3	2	3	1
24	血圧ソフトウェア主記憶用センター	2	1	3	3	2	2	3	2	5	4
25	レンガ	2	2	2	3	2	2	2	1	2	2
26	水倉	5	5	3	5	4	4	2	4	5	4
27	木材	3	1	4	4	1	2	4	2	4	5
28	鉄骨十番の集合住宅	1	2	5	1	4	2	1	2	3	2
29	日本橋田テラー	2	1	2	5	1	4	2	1	1	3
30	血圧ソフトウェア主記憶用センター	1	5	2	4	4	2	4	3	2	3
31	コンクリート	4	4	3	3	4	4	1	2	4	3
32	後藤寺サクラ園	2	4	4	2	4	2	1	1	3	4
33	サンボライ社	2	1	1	1	2	4	1	2	1	1
34	la bagu	3	2	1	2	3	2	5	2	1	3
35	鉄骨十番の集合住宅	4	2	4	1	2	3	2	4	4	2
36	レンガ	3	3	2	2	4	3	3	2	2	3
37	水倉	4	2	4	2	2	2	1	2	4	1
38	日本橋田テラー	1	4	2	3	4	4	1	2	2	2
39	後藤寺サクラ園	5	4	5	5	4	1	4	5	1	4
40	鉄骨十番の集合住宅	4	1	5	2	4	4	2	2	4	3
41	レンガ	2	3	4	4	2	3	4	4	3	3
42	水倉	3	4	2	1	3	1	1	2	1	2
43	日本橋田テラー	4	3	3	3	4	2	1	2	4	1
44	血圧ソフトウェア主記憶用センター	5	2	2	5	5	1	1	2	4	2
45	la bagu	2	2	2	5	4	4	5	4	1	3
46	コンクリート	4	5	1	4	3	2	2	2	3	4
47	石材	4	2	3	5	5	4	2	2	2	3
48	後藤寺サクラ園	2	2	2	1	4	2	3	3	2	4
49	日本橋田テラー	5	5	2	2	5	4	3	2	1	5
50	la bagu	3	3	4	5	4	4	4	5	5	3
51	鉄骨十番の集合住宅	1	3	4	3	5	2	2	1	2	1
52	レンガ	2	3	1	1	2	1	3	1	4	1
53	水倉	3	4	4	5	4	3	5	4	3	2
54	日本橋田テラー	1	2	3	3	1	1	3	1	2	2
55	後藤寺サクラ園	4	2	2	4	4	2	5	3	5	3
56	コンクリート	4	2	3	1	5	2	1	5	3	2
57	石材	4	4	3	4	4	3	2	4	1	5
58	鉄骨十番の集合住宅	5	3	5	5	4	2	3	4	2	3
59	レンガ	3	4	3	3	5	4	4	2	5	4
60	水倉	5	3	4	1	3	3	5	5	1	5
61	日本橋田テラー	4	3	5	1	3	5	1	2	2	5
62	コンクリート	2	2	3	2	3	1	1	1	2	3
63	la bagu	5	4	2	2	4	4	1	4	4	3
64	後藤寺サクラ園	4	4	4	2	5	3	1	1	4	1

存在感(地味である・派手である)

試料番号	建物名	素材	地味である			やや地味である			どらでもない			やや派手である			派手である		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1	国広ノフィア王妃芸術センター サンボライフ社屋	コンクリート	男性	3	4	3	3	4	1	2	1	4	2	2	5	2	2
2		石材	女性	2	4	3	4	1	1	4	4	4	1	3	3	2	2
3		タイル	男性	1	3	1	2	2	1	4	4	3	2	3	2	2	2
4		ガラス	女性	4	4	3	4	5	4	1	5	2	4	4	4	2	3
5	日本橋田アーラー 水舎	レンガ	男性	5	5	4	5	5	1	4	2	5	4	4	5	4	5
6		瓦葺	女性	1	3	3	4	2	4	4	4	1	2	3	4	4	2
7		木材	男性	5	5	3	5	4	5	4	5	2	4	3	4	3	4
8		漆料	女性	1	1	2	1	4	1	1	2	2	3	3	2	2	1
9	サンボライフ社屋 la kaqu	ガラス	男性	4	3	5	5	3	1	5	2	4	4	4	5	5	4
10		レンガ	女性	5	3	4	5	4	2	1	3	3	2	4	4	3	2
11		水舎	男性	2	4	1	5	4	3	4	2	2	5	4	5	4	3
12		瓦葺	女性	3	2	2	1	2	2	1	2	2	4	3	2	3	1
13	後藤寺サクラ園 la kaqu	石材	男性	4	3	2	2	4	2	4	3	4	5	3	4	4	2
14		コンクリート	女性	2	2	3	3	2	4	1	2	3	3	2	3	2	2
15		木材	男性	5	5	4	2	4	5	4	4	4	4	4	1	5	4
16		漆料	女性	1	1	4	1	3	1	1	2	2	3	2	2	1	1
17	国広ノフィア王妃芸術センター la kaqu	レンガ	男性	2	4	3	3	2	3	2	2	4	4	5	4	3	5
18		瓦葺	女性	2	3	2	4	3	4	4	2	2	4	4	2	3	4
19		レンガ	男性	5	4	4	4	4	1	4	4	4	4	4	4	3	4
20		水舎	女性	3	3	2	1	2	1	1	2	2	3	1	1	3	2
21	新風園 コンクリート	タイル	男性	4	4	3	3	2	5	1	2	4	2	2	2	3	2
22		漆料	女性	1	1	2	1	1	1	1	2	2	1	1	2	1	1
23		木材	男性	5	4	4	3	4	5	2	4	4	5	4	1	5	3
24		ガラス	女性	4	2	4	4	3	5	2	5	3	2	4	3	3	4
25	国広ノフィア王妃芸術センター 新風園	石材	男性	3	3	3	4	4	4	3	2	4	3	3	3	3	4
26		水舎	女性	4	3	2	5	5	2	2	4	4	5	4	3	3	4
27		木材	男性	5	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4
28		瓦葺	女性	1	3	2	4	2	2	4	3	2	4	4	1	3	2
29	日本橋田アーラー la kaqu	レンガ	男性	5	5	5	5	5	1	5	4	5	3	4	5	4	2
30		コンクリート	女性	3	4	2	3	2	4	1	2	4	3	3	3	3	2
31		タイル	男性	2	1	1	2	4	1	1	2	3	2	1	2	2	1
32		漆料	女性	1	4	1	1	1	1	2	2	1	1	2	3	2	2
33	サンボライフ社屋 la kaqu	木材	男性	5	4	4	3	4	5	4	4	4	4	4	4	4	5
34		石材	女性	2	4	3	3	3	4	2	2	3	2	4	2	3	2
35		レンガ	男性	5	3	5	5	4	4	1	4	2	3	2	4	5	4
36		漆料	女性	1	2	1	4	4	1	1	1	3	2	1	2	2	2
37	日本橋田アーラー 後藤寺サクラ園	コンクリート	男性	2	2	2	2	3	2	1	2	4	2	2	2	2	2
38		ガラス	女性	5	3	3	4	4	3	1	4	5	2	4	3	4	5
39		瓦葺	男性	2	4	4	4	3	3	4	4	4	3	5	4	4	4
40		タイル	女性	2	3	3	1	2	3	1	3	4	4	3	2	2	2
41	国広ノフィア王妃芸術センター 新風園	ガラス	男性	3	3	3	4	4	3	1	5	2	4	4	3	2	4
42		タイル	女性	2	2	2	3	1	1	1	2	4	1	3	2	1	2
43		木材	男性	5	3	3	3	4	3	4	4	4	2	3	4	4	4
44		レンガ	女性	5	4	4	5	5	2	1	4	3	1	2	4	4	3
45	後藤寺サクラ園 la kaqu	瓦葺	男性	1	3	3	4	2	2	4	4	2	4	5	2	3	5
46		コンクリート	女性	2	4	4	3	2	2	1	2	1	4	4	2	4	2
47		石材	男性	1	3	4	4	4	2	1	2	1	1	2	3	2	3
48		漆料	女性	1	2	5	1	3	1	1	2	2	4	2	2	5	1
49	国広ノフィア王妃芸術センター la kaqu	レンガ	男性	2	2	1	3	4	2	1	2	2	4	3	3	1	2
50		ガラス	女性	4	4	5	5	5	4	1	5	5	5	3	4	3	4
51		瓦葺	男性	4	4	4	5	5	5	1	4	4	4	3	4	5	2
52		タイル	女性	3	2	4	2	2	1	1	2	4	1	1	2	3	2
53	サンボライフ社屋 la kaqu	コンクリート	男性	2	3	4	2	3	2	3	4	3	5	5	3	3	2
54		漆料	女性	1	2	2	2	2	1	1	2	1	2	3	2	1	2
55		木材	男性	4	3	4	4	5	3	4	4	5	4	4	5	3	5
56		瓦葺	女性	5	3	2	2	2	4	1	1	4	2	2	3	1	4
57	日本橋田アーラー la kaqu	コンクリート	男性	3	3	2	2	4	1	1	4	2	2	2	4	3	2
58		石材	女性	2	3	3	2	4	3	1	2	1	3	4	2	2	4
59		瓦葺	男性	2	2	4	4	2	4	4	2	4	4	4	4	2	3
60		漆料	女性	5	4	4	3	5	5	1	4	5	5	3	4	4	4
61	後藤寺サクラ園 la kaqu	ガラス	男性	5	4	3	3	4	4	1	5	4	2	3	4	4	2
62		コンクリート	女性	2	4	2	2	2	4	1	2	3	5	2	2	3	1
63		タイル	男性	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1	2
64		レンガ	女性	4	3	4	4	4	4	1	4	4	5	2	5	3	4

重み(軽快である-重厚である)

[illegible]

バランス(バランスが悪い<バランスが良い)

材料番号	建物名	バランスが良い				ややバランスが悪い				どちらでもない				ややバランスが良い				バランスが悪い			
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1	国立ソフィア王妃芸術センター	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
2		4	4	4	4	4	4	3	2	2	2	4	4	4	4	1	3	5	3	4	1
3	サンボライ社屋	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
4		4	2	4	5	4	4	3	2	4	4	4	4	4	4	2	2	3	2	4	4
5	日本橋田テラー	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
6		3	4	5	4	2	3	5	3	3	3	3	1	4	2	1	3	3	2	2	1
7	麻布十番の集合住宅	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
8		1	4	2	3	2	4	3	2	4	4	5	4	1	3	1	4	2	5	4	2
9	後藤寺サクラ園	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10		2	2	1	3	4	2	3	2	2	2	5	5	4	4	2	4	5	4	4	5
11	サンボライ社屋	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
12		2	4	4	2	4	5	4	4	4	3	2	4	2	3	1	2	2	4	2	2
13	日本橋田テラー	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
14		3	1	2	3	2	2	4	4	4	3	1	4	2	1	4	2	4	2	2	3
15	水倉	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
16		4	1	2	3	2	4	3	2	4	4	4	4	4	2	1	4	2	4	2	2
17	後藤寺サクラ園	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18		2	2	3	2	4	4	2	4	2	4	3	2	2	3	2	3	4	2	3	2
19	麻布十番の集合住宅	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
20		4	4	3	2	5	4	5	4	1	4	5	5	1	5	4	1	3	5	3	5
21	国立ソフィア王妃芸術センター	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
22		5	2	3	5	2	4	5	4	4	4	5	3	4	2	1	4	1	5	1	2
23	新風館	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
24		4	1	4	5	1	4	4	4	4	3	5	4	3	3	2	4	1	3	4	4
25	後藤寺サクラ園	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
26		1	3	3	2	2	5	4	3	2	4	4	3	5	3	2	2	3	2	4	4
27	麻布十番の集合住宅	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
28		2	2	4	2	2	5	5	4	2	2	5	3	1	1	3	3	-	2	2	3
29	サンボライ社屋	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
30		3	3	5	1	2	2	3	4	4	5	2	4	2	3	3	-	1	3	2	1
31	日本橋田テラー	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
32		4	1	4	2	1	2	3	4	2	3	4	4	1	2	2	4	3	2	5	4
33	国立ソフィア王妃芸術センター	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
34		5	3	5	4	4	2	2	4	4	4	5	3	5	4	2	4	2	3	5	1
35	後藤寺サクラ園	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
36		1	4	3	4	5	4	2	4	2	5	2	5	4	4	4	5	3	4	5	4
37	サンボライ社屋	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
38		2	4	4	2	3	4	2	4	3	3	4	2	4	2	2	2	2	2	5	2
39	水倉	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
40		3	1	4	1	1	2	4	5	4	2	4	4	2	2	4	3	4	3	4	5
41	国立ソフィア王妃芸術センター	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
42		2	3	5	2	2	4	3	2	2	5	1	5	4	4	1	2	3	3	2	4
43	麻布十番の集合住宅	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
44		4	2	3	5	2	4	2	3	2	3	3	2	4	4	2	4	3	2	1	4
45	日本橋田テラー	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
46		1	4	4	3	5	5	2	4	2	4	4	4	3	2	1	2	4	4	5	2
47	後藤寺サクラ園	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
48		2	4	5	4	5	1	4	3	4	4	5	5	1	4	4	2	4	3	2	5
49	サンボライ社屋	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
50		2	5	4	2	2	1	1	3	1	4	1	5	3	3	2	4	1	3	4	2
51	国立ソフィア王妃芸術センター	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
52		5	4	3	4	4	4	3	4	5	4	5	4	5	4	4	5	4	5	4	1
53	麻布十番の集合住宅	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
54		4	3	5	1	4	3	4	4	3	3	5	2	2	2	4	4	1	2	3	1
55	後藤寺サクラ園	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
56		4	2	5	3	2	5	3	3	5	3	2	4	4	4	5	3	5	3	4	5
57	サンボライ社屋	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
58		3	4	3	1	1	5	5	4	2	4	4	5	5	4	1	4	5	2	5	4
59	日本橋田テラー	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
60		1	2	2	4	3	3	4	3	4	5	1	5	3	3	1	3	2	3	4	5
61	国立ソフィア王妃芸術センター	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
62		2	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	2	4	1	2	2	5
63	水倉	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
64		1	3	4	2	3	4	2	3	3	4	5	1	2	1	3	4	3	1	4	3

好ましい(好ましくない-好ましい)

材料番号	材料名	好ましくない		やや好ましくない		どちらでもない		やや好ましい		好ましい	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1	コンクリート	3	2	2	2	4	2	2	3	4	3
2	石材	2	3	3	5	4	3	4	2	1	4
3	タイル	3	3	2	4	4	2	3	5	4	2
4	レンガ	1	2	1	2	3	2	4	2	3	2
5	金属	1	4	4	1	2	2	3	5	2	4
6	木材	4	3	2	2	5	4	5	3	5	3
7	後継者サクラ園	1	1	2	2	2	4	4	3	2	5
8	後継者サクラ園	2	2	1	4	3	1	2	4	4	3
9	ガラス	2	3	2	3	2	2	4	3	1	3
10	レンガ	1	5	4	3	2	3	4	5	2	4
11	金属	2	2	4	2	1	4	4	4	2	1
12	タイル	4	2	1	1	2	1	2	2	3	2
13	コンクリート	1	2	2	2	4	3	3	2	4	5
14	後継者サクラ園	4	5	4	3	4	5	1	3	5	2
15	後継者サクラ園	5	2	4	3	3	5	4	4	2	3
16	木材	3	3	2	5	5	1	3	4	2	3
17	レンガ	2	2	3	5	2	3	4	2	5	2
18	金属	1	3	3	1	2	1	4	3	4	4
19	コンクリート	2	1	4	1	2	1	3	2	2	2
20	タイル	2	1	4	1	2	1	3	2	2	2
21	コンクリート	1	3	2	3	2	2	4	5	3	2
22	レンガ	3	3	4	5	3	1	2	4	4	3
23	木材	4	2	5	4	3	3	5	4	2	2
24	ガラス	4	5	3	2	3	3	1	4	5	3
25	レンガ	2	3	4	4	5	3	3	4	2	4
26	コンクリート	1	2	2	1	3	1	2	1	3	2
27	タイル	5	4	4	3	4	5	4	5	3	2
28	コンクリート	1	4	5	2	3	1	5	2	4	3
29	レンガ	1	1	5	1	3	2	2	4	1	4
30	木材	2	1	2	3	3	2	1	5	2	1
31	コンクリート	2	1	2	1	2	1	3	2	2	2
32	タイル	2	4	4	5	4	1	2	4	4	2
33	レンガ	2	4	4	5	4	1	2	4	4	2
34	木材	5	4	5	4	5	5	3	5	3	5
35	コンクリート	3	2	4	4	5	2	2	2	4	4
36	レンガ	1	3	5	3	3	2	2	1	3	2
37	木材	2	3	4	1	2	1	3	4	2	1
38	コンクリート	3	2	4	3	3	5	2	3	4	3
39	タイル	1	1	2	1	2	1	1	3	1	1
40	レンガ	4	5	2	5	1	4	4	5	4	3
41	木材	2	3	2	3	2	1	2	3	2	3
42	コンクリート	3	3	2	5	2	2	2	4	1	4
43	タイル	3	2	4	4	3	2	4	4	4	2
44	レンガ	2	5	4	4	2	5	4	3	4	3
45	金属	1	4	4	1	2	1	3	4	4	4
46	コンクリート	3	4	4	1	5	1	4	5	3	4
47	タイル	2	1	3	2	2	1	4	2	1	2
48	レンガ	3	5	4	1	2	2	3	2	1	4
49	木材	3	3	2	3	2	1	3	3	1	4
50	コンクリート	2	2	3	3	3	2	4	3	2	2
51	タイル	2	5	4	3	3	4	1	2	4	4
52	レンガ	5	3	5	2	2	3	2	4	3	4
53	木材	3	4	4	5	2	2	3	3	1	3
54	コンクリート	3	4	2	1	3	1	3	2	2	2
55	タイル	4	3	4	3	1	1	4	2	4	4
56	レンガ	2	5	2	2	5	4	3	2	5	3
57	木材	3	2	1	1	5	4	4	1	3	4
58	コンクリート	3	2	2	3	3	2	3	5	3	2
59	タイル	1	4	3	2	3	1	4	4	2	5
60	レンガ	4	5	3	2	5	3	5	2	4	3
61	木材	1	3	2	2	2	2	3	5	3	1
62	コンクリート	2	3	2	1	3	3	2	4	2	4
63	タイル	2	1	4	4	2	2	3	3	1	3
64	レンガ	4	4	2	3	3	2	4	4	1	5
	後継者サクラ園	1	2	2	2	1	1	2	1	2	2

《検査Ⅰ 系列範疇法結果》

新規性

系列範疇法（5ランク）

系列範疇法分析結果			
試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	-0.20	0.91	0
2	0.03	0.86	0
3	-0.83	0.64	0
4	0.29	1.06	0
5	-0.07	1.04	0
6	-0.04	1.07	0
7	0.65	0.91	0
8	-0.74	1.10	0
9	0.39	0.98	0
10	-0.55	1.04	0
11	0.64	0.97	0
12	-0.39	0.86	0
13	0.62	0.92	0
14	-0.70	1.09	0
15	0.35	1.04	0
16	-0.71	0.73	0
17	0.18	0.82	0
18	0.03	0.90	0
19	-0.50	1.03	0
20	-0.84	0.83	0
21	0.09	0.71	0
22	-1.05	1.10	0
23	-0.12	0.85	0
24	0.23	0.93	0
25	-0.59	0.66	0
26	0.63	0.91	0
27	0.05	1.02	0
28	-0.45	1.13	0
29	-0.06	0.96	0
30	-0.11	0.79	0
31	-0.49	1.09	0
32	-1.15	0.83	0
33	-0.40	0.86	0
34	0.11	0.91	0
35	-0.27	0.78	0
36	-0.43	0.99	0
37	-0.54	1.04	0
38	0.84	1.12	0
39	0.11	1.00	0
40	-0.44	0.88	0
41	0.14	0.87	0
42	-0.67	0.89	0
43	-0.21	0.97	0
44	-0.29	1.31	0
45	0.11	1.12	0
46	-0.05	1.06	0
47	0.37	0.88	0
48	-0.55	1.02	0
49	0.24	1.02	0
50	0.78	0.85	0
51	-0.48	1.01	0
52	-0.81	0.83	0
53	0.36	0.81	0
54	-0.77	0.95	0
55	0.19	1.08	0
56	-0.26	1.22	0
57	-0.15	0.83	0
58	0.30	0.98	0
59	0.42	0.81	0
60	0.37	1.03	0
61	0.10	1.04	0
62	-0.69	0.79	0
63	0.12	1.01	0
64	-0.05	1.06	0
合計	-7.93	60.79	0
平均	-0.12	0.95	0.00
標準偏差	0.47	0.13	0.00

範疇別の人数						
試料	1	2	3	4	5	合計
1	2	10	6	4	2	24
2	3	1	12	7	1	24
3	5	15	3	1	0	24
4	3	3	4	11	4	25
5	4	5	6	8	2	25
6	3	7	7	4	4	25
7	1	2	5	10	7	25
8	10	7	2	5	1	25
9	1	6	3	10	5	25
10	6	11	3	3	2	25
11	0	6	2	8	8	24
12	4	9	6	6	0	25
13	1	2	6	9	7	25
14	10	5	5	4	1	25
15	3	2	4	12	4	25
16	5	13	5	2	0	25
17	1	5	8	9	2	25
18	1	10	3	9	2	25
19	6	10	2	6	1	25
20	8	9	5	2	0	24
21	0	8	7	9	1	25
22	14	6	2	1	2	25
23	2	8	7	7	1	25
24	1	6	7	7	4	25
25	3	14	6	2	0	25
26	0	5	3	9	7	24
27	3	4	8	6	3	24
28	6	10	3	3	3	25
29	2	8	8	4	3	25
30	3	3	12	7	0	25
31	7	8	2	7	1	25
32	13	8	2	2	0	25
33	3	12	5	4	1	25
34	2	5	7	9	2	25
35	1	12	9	1	2	25
36	5	10	3	6	1	25
37	7	8	4	5	1	25
38	3	0	1	10	11	25
39	1	10	3	7	4	25
40	4	10	7	3	1	25
41	0	10	4	8	3	25
42	7	9	5	4	0	25
43	3	9	6	5	2	25
44	7	7	3	3	5	25
45	3	7	2	9	4	25
46	3	8	4	7	3	25
47	0	6	7	7	5	25
48	6	10	5	2	2	25
49	1	8	4	7	5	25
50	1	0	6	10	8	25
51	5	11	4	3	2	25
52	8	9	6	2	0	25
53	0	5	8	8	4	25
54	8	10	4	2	1	25
55	2	7	4	7	5	25
56	6	7	4	4	4	25
57	2	8	8	6	1	25
58	1	6	6	7	5	25
59	0	5	6	10	4	25
60	3	0	9	8	5	25
61	3	5	5	9	3	25
62	6	10	7	2	0	25
63	3	5	3	12	2	25
64	3	8	4	7	3	25
合計	238	463	327	388	177	1593
平均	3.72	7.23	5.11	6.06	2.77	
標準偏差	3.09	3.30	2.33	2.96	2.34	

共通					
尺度					
	1	2	3	4	5
C*	-1.85	-0.77	0.00	0.74	1.75

存在感

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果				範疇別の人数						
試料	尺度値	標準偏差	相乗和	試料	1	2	3	4	5	合計
1	-0.28	1.01	0	1	3	10	7	3	2	25
2	-0.38	0.92	0	2	4	9	6	6	0	25
3	-0.84	0.72	0	3	6	13	5	1	0	25
4	0.61	0.99	0	4	1	3	5	11	5	25
5	1.17	1.01	0	5	1	1	2	9	12	25
6	0.01	0.89	0	6	2	7	5	11	0	25
7	0.98	0.98	0	7	0	3	4	8	10	25
8	-1.00	0.78	0	8	9	11	4	1	0	25
9	0.68	1.16	0	9	1	5	3	8	8	25
10	0.46	0.99	0	10	1	4	6	10	4	25
11	0.23	1.07	0	11	1	8	5	7	4	25
12	-0.63	0.80	0	12	5	10	8	2	0	25
13	0.09	0.86	0	13	1	7	7	9	1	25
14	-0.34	0.94	0	14	4	7	10	3	1	25
15	0.90	0.89	0	15	1	1	2	15	6	25
16	-1.12	0.78	0	16	11	10	3	1	0	25
17	-0.41	0.84	0	17	3	11	6	5	0	25
18	0.25	1.01	0	18	1	7	5	9	3	25
19	0.80	0.82	0	19	1	1	2	17	4	25
20	-0.98	0.81	0	20	10	7	8	0	0	25
21	-0.39	0.93	0	21	3	12	5	4	1	25
22	-1.59	0.49	0	22	18	7	0	0	0	25
23	0.77	1.04	0	23	1	3	3	11	7	25
24	0.49	1.10	0	24	1	5	6	7	6	25
25	-0.05	0.86	0	25	3	3	11	8	0	25
26	0.56	0.99	0	26	0	5	7	7	6	25
27	0.92	0.79	0	27	1	0	2	17	5	25
28	0.15	0.94	0	28	2	5	6	11	1	25
29	1.29	1.00	0	29	1	1	1	8	14	25
30	-0.43	0.71	0	30	2	12	8	3	0	25
31	-1.04	0.79	0	31	10	10	4	1	0	25
32	-1.21	0.80	0	32	13	8	3	1	0	25
33	0.95	0.54	0	33	0	0	3	18	4	25
34	-0.21	0.64	0	34	0	12	8	5	0	25
35	0.67	1.09	0	35	1	4	4	9	7	25
36	-1.09	0.92	0	36	12	9	1	3	0	25
37	-0.76	0.52	0	37	2	19	2	1	0	24
38	0.44	1.06	0	38	1	5	6	8	5	25
39	0.44	0.70	0	39	0	4	6	14	1	25
40	-0.37	0.86	0	40	2	12	6	3	1	24
41	0.31	0.91	0	41	1	5	6	11	2	25
42	-0.86	0.85	0	42	8	10	5	2	0	25
43	0.73	0.66	0	43	0	1	6	15	3	25
44	0.64	1.21	0	44	2	3	5	7	8	25
45	0.11	0.98	0	45	1	9	4	9	2	25
46	-0.61	0.76	0	46	4	11	7	2	0	24
47	-0.25	1.09	0	47	5	6	6	7	1	25
48	-0.69	1.08	0	48	7	11	4	1	2	25
49	-0.75	0.70	0	49	4	16	3	2	0	25
50	0.96	1.00	0	50	1	1	4	10	9	25
51	0.84	0.99	0	51	1	2	3	12	7	25
52	-0.73	0.85	0	52	6	12	4	3	0	25
53	0.26	0.90	0	53	0	7	8	7	3	25
54	-1.00	0.78	0	54	9	11	4	1	0	25
55	1.14	0.72	0	55	0	0	4	12	9	25
56	-0.42	1.08	0	56	6	7	6	5	1	25
57	-0.25	0.90	0	57	2	11	6	5	1	25
58	-0.08	0.85	0	58	1	11	3	10	0	25
59	0.79	0.96	0	59	1	2	3	13	6	25
60	0.53	0.98	0	60	1	4	4	12	4	25
61	-0.46	1.03	0	61	4	12	5	2	2	25
62	-1.46	0.53	0	62	15	10	0	0	0	25
63	0.64	0.96	0	63	1	2	6	11	5	25
64	-1.38	0.85	0	64	17	5	1	2	0	25
合計	-2.19	56.66	0	合計	236	440	302	436	183	1597
平均	-0.03	0.89	0.00	平均	3.69	6.88	4.72	6.81	2.86	
標準偏差	0.75	0.16	0.00	標準偏差	4.33	4.28	2.24	4.78	3.39	

共通 尺度					
	1	2	3	4	5
C*	-1.89	-0.80	0.00	0.87	2.01

重み

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果				範疇別の人数						
試料	尺度値	標準偏差	相乗和	試料	1	2	3	4	5	合計
1	0.23	0.90	0	1	1	6	5	12	1	25
2	1.22	0.83	0	2	0	1	3	10	11	25
3	-0.24	0.77	0	3	1	11	7	6	0	25
4	0.39	1.09	0	4	0	9	3	8	5	25
5	0.91	0.72	0	5	0	1	4	15	5	25
6	0.45	1.38	0	6	4	3	3	8	7	25
7	-0.56	0.99	0	7	4	14	2	4	1	25
8	-0.12	0.88	0	8	1	10	7	6	1	25
9	0.24	1.00	0	9	0	8	8	5	4	25
10	0.69	0.80	0	10	0	2	7	12	4	25
11	0.72	1.28	0	11	1	6	3	5	10	25
12	-0.75	0.69	0	12	4	14	6	1	0	25
13	1.43	0.78	0	13	0	1	1	9	14	25
14	0.23	0.93	0	14	1	7	3	13	1	25
15	-0.32	0.76	0	15	2	9	10	4	0	25
16	0.42	0.77	0	16	1	3	4	17	0	25
17	0.82	0.90	0	17	0	3	4	12	6	25
18	0.60	1.40	0	18	2	7	1	5	10	25
19	0.48	0.93	0	19	0	5	7	9	4	25
20	-0.39	0.97	0	20	4	8	9	3	1	25
21	0.10	0.87	0	21	0	10	4	10	1	25
22	0.32	0.89	0	22	1	3	9	9	2	24
23	-0.58	0.94	0	23	5	11	4	5	0	25
24	0.03	0.95	0	24	1	8	8	6	2	25
25	1.06	0.89	0	25	0	2	3	11	9	25
26	0.48	0.96	0	26	0	6	5	10	4	25
27	-1.14	0.66	0	27	9	13	3	0	0	25
28	0.34	1.33	0	28	3	6	2	8	6	25
29	0.50	0.77	0	29	0	2	11	9	3	25
30	-0.05	0.81	0	30	0	12	3	10	0	25
31	-0.16	1.21	0	31	4	8	5	5	3	25
32	0.56	0.83	0	32	1	0	10	11	3	25
33	-0.80	0.85	0	33	6	13	3	3	0	25
34	0.74	0.63	0	34	0	0	8	14	3	25
35	0.79	0.91	0	35	1	1	4	14	5	25
36	0.60	1.07	0	36	1	3	7	8	6	25
37	0.09	0.95	0	37	1	9	3	11	1	25
38	0.40	0.88	0	38	0	5	8	9	3	25
39	0.59	1.16	0	39	2	3	4	10	6	25
40	-0.15	1.08	0	40	2	12	2	7	2	25
41	0.30	0.65	0	41	0	4	8	12	0	24
42	-0.38	0.89	0	42	3	9	10	2	1	25
43	-0.61	0.96	0	43	5	11	6	2	1	25
44	1.04	0.91	0	44	1	0	3	13	8	25
45	0.43	1.25	0	45	3	4	2	11	5	25
46	0.18	0.95	0	46	0	10	3	10	2	25
47	1.29	0.76	0	47	0	1	1	12	11	25
48	0.36	0.83	0	48	0	5	7	10	2	24
49	0.84	0.54	0	49	0	1	2	20	2	25
50	0.07	1.23	0	50	3	7	5	6	4	25
51	0.84	0.99	0	51	0	3	6	8	8	25
52	-0.12	0.88	0	52	1	10	7	6	1	25
53	0.53	1.15	0	53	1	6	3	9	6	25
54	-0.38	0.77	0	54	2	11	8	4	0	25
55	-0.31	0.98	0	55	3	10	6	5	1	25
56	0.63	0.99	0	56	0	6	2	12	5	25
57	0.85	0.81	0	57	0	1	7	11	6	25
58	0.75	1.27	0	58	1	6	2	6	10	25
59	-0.65	0.86	0	59	5	11	6	3	0	25
60	-0.04	0.83	0	60	2	5	10	8	0	25
61	0.42	0.89	0	61	0	7	2	14	2	25
62	0.06	0.93	0	62	1	7	9	6	2	25
63	0.36	0.91	0	63	0	6	7	9	3	25
64	0.71	1.06	0	64	1	2	7	8	7	25
合計	17.35	59.66	0	合計	95	398	332	541	231	1597
平均	0.27	0.93	0.00	平均	1.48	6.22	5.19	8.45	3.61	
標準偏差	0.54	0.18	0.00	標準偏差	1.85	3.91	2.68	3.92	3.38	

共通 尺度					
	1	2	3	4	5
C*	-1.94	-0.84	0.00	0.89	2.05

バランス

系列範疇法（5ランク）

系列範疇法分析結果

試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	0.21	0.89	0
2	0.56	0.82	0
3	0.21	0.80	0
4	-0.33	0.91	0
5	0.36	0.84	0
6	0.55	0.97	0
7	-0.22	1.03	0
8	0.27	1.00	0
9	-0.36	0.91	0
10	0.04	0.80	0
11	-0.26	0.81	0
12	-0.11	0.92	0
13	0.05	0.85	0
14	0.54	1.11	0
15	0.23	1.24	0
16	0.45	0.95	0
17	0.12	0.82	0
18	-0.05	0.98	0
19	0.00	1.08	0
20	0.18	0.86	0
21	0.10	0.99	0
22	0.51	0.95	0
23	0.16	1.10	0
24	0.34	0.98	0
25	0.50	0.79	0
26	-0.39	1.01	0
27	0.76	0.62	0
28	0.35	0.94	0
29	-0.15	1.15	0
30	0.31	0.89	0
31	-0.21	0.86	0
32	0.55	1.09	0
33	0.62	0.89	0
34	0.36	0.75	0
35	-0.10	0.90	0
36	0.11	0.95	0
37	0.37	0.78	0
38	-0.84	1.17	0
39	0.35	0.96	0
40	0.13	0.99	0
41	-0.26	1.02	0
42	0.04	1.01	0
43	0.16	1.03	0
44	0.04	1.01	0
45	0.33	1.08	0
46	-0.15	0.98	0
47	-0.06	0.98	0
48	0.20	1.03	0
49	0.03	0.83	0
50	0.28	1.02	0
51	0.89	0.70	0
52	0.07	1.10	0
53	-0.28	0.83	0
54	0.67	0.82	0
55	0.28	1.21	0
56	0.41	1.13	0
57	0.18	0.83	0
58	-0.05	1.24	0
59	0.39	1.02	0
60	-0.30	1.00	0
61	-0.01	0.88	0
62	0.25	0.84	0
63	0.22	0.82	0
64	-0.60	0.89	0
合計	8.97	60.67	0
平均	0.14	0.95	0.00
標準偏差	0.33	0.13	0.00

範疇別の人数

試料	1	2	3	4	5	合計
1	2	5	4	12	2	25
2	0	5	3	12	5	25
3	1	7	2	14	1	25
4	4	9	8	2	2	25
5	0	5	10	5	5	25
6	1	4	5	8	7	25
7	5	7	5	6	2	25
8	2	6	3	10	4	25
9	4	10	7	2	2	25
10	1	9	4	10	1	25
11	3	10	4	8	0	25
12	4	5	7	8	1	25
13	1	9	5	8	2	25
14	3	1	6	7	8	25
15	4	6	2	6	7	25
16	2	2	6	10	5	25
17	2	4	7	10	1	24
18	3	6	8	4	3	24
19	3	8	4	5	4	24
20	1	6	8	7	3	25
21	3	5	6	8	3	25
22	2	2	4	12	5	25
23	4	4	4	9	4	25
24	2	3	8	7	5	25
25	1	3	3	15	3	25
26	5	12	1	5	2	25
27	0	1	4	15	5	25
28	2	3	6	10	4	25
29	6	4	8	3	4	25
30	1	5	7	8	4	25
31	3	9	6	6	1	25
32	2	4	3	8	8	25
33	0	5	4	9	7	25
34	0	5	7	10	3	25
35	2	10	5	6	2	25
36	1	9	6	5	4	25
37	1	4	4	14	2	25
38	14	5	0	4	2	25
39	1	6	5	8	5	25
40	2	6	7	5	4	24
41	4	10	5	3	3	25
42	2	8	6	4	4	24
43	3	6	2	11	3	25
44	2	9	5	5	4	25
45	3	4	3	10	5	25
46	4	7	6	6	2	25
47	2	11	3	6	3	25
48	3	4	6	8	4	25
49	3	4	6	12	0	25
50	2	5	6	7	5	25
51	0	1	4	12	8	25
52	4	5	5	7	4	25
53	2	12	7	2	2	25
54	0	3	6	9	7	25
55	3	6	5	3	8	25
56	3	3	5	7	7	25
57	1	5	10	6	3	25
58	6	5	4	5	5	25
59	1	7	3	8	6	25
60	6	6	5	7	1	25
61	3	5	7	9	1	25
62	0	9	3	10	3	25
63	1	6	5	11	2	25
64	7	9	6	2	1	25
合計	163	379	329	491	233	1595
平均	2.55	5.92	5.14	7.67	3.64	
標準偏差	2.19	2.64	1.98	3.22	2.08	

共通
尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.71	-0.71	0.00	0.73	1.78

好ましさ

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果

試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	-0.21	0.83	0
2	-0.12	1.05	0
3	-0.04	0.72	0
4	-0.79	0.86	0
5	-0.17	1.17	0
6	0.72	0.88	0
7	-0.39	0.96	0
8	-0.19	0.88	0
9	-0.50	0.88	0
10	-0.23	0.91	0
11	-0.15	0.96	0
12	-0.36	0.94	0
13	-0.14	1.02	0
14	0.51	0.93	0
15	0.30	0.87	0
16	-0.09	1.02	0
17	-0.04	0.83	0
18	-0.21	1.10	0
19	-0.01	0.94	0
20	-0.46	0.95	0
21	-0.16	0.86	0
22	0.06	0.96	0
23	0.11	0.83	0
24	0.01	1.05	0
25	0.39	0.91	0
26	-0.84	0.77	0
27	0.70	0.92	0
28	0.33	1.33	0
29	-0.32	1.37	0
30	0.19	0.89	0
31	-1.10	0.58	0
32	-0.11	1.15	0
33	0.85	0.85	0
34	-0.05	0.97	0
35	-0.54	0.91	0
36	-0.52	0.96	0
37	0.10	0.92	0
38	-1.18	0.78	0
39	0.32	0.92	0
40	-0.47	0.83	0
41	-0.55	0.97	0
42	-0.22	0.85	0
43	0.33	0.93	0
44	-0.52	1.11	0
45	0.42	1.06	0
46	-0.51	0.83	0
47	-0.26	1.12	0
48	-0.26	0.75	0
49	-0.27	0.73	0
50	0.24	1.10	0
51	0.44	0.93	0
52	-0.29	0.90	0
53	-0.18	0.96	0
54	0.28	0.97	0
55	0.16	1.11	0
56	-0.24	1.17	0
57	-0.02	0.74	0
58	-0.17	1.06	0
59	0.22	1.02	0
60	-0.40	0.98	0
61	-0.24	0.95	0
62	-0.51	0.94	0
63	-0.01	0.90	0
64	-0.94	0.86	0
合計	-8.26	60.41	0
平均	-0.13	0.94	0.00
標準偏差	0.41	0.14	0.00

範疇別の人数

試料	1	2	3	4	5	合計
1	1	13	5	4	2	25
2	4	7	5	6	3	25
3	1	7	10	6	1	25
4	9	8	5	3	0	25
5	6	6	2	8	3	25
6	1	2	3	11	8	25
7	4	12	3	4	2	25
8	4	4	11	5	1	25
9	5	10	6	3	1	25
10	3	9	7	4	2	25
11	3	9	4	7	2	25
12	4	10	6	3	2	25
13	3	10	3	6	3	25
14	1	3	7	7	7	25
15	0	7	7	6	5	25
16	4	5	8	5	3	25
17	0	12	6	4	3	25
18	6	5	4	8	2	25
19	2	8	6	6	3	25
20	5	10	6	2	2	25
21	2	9	8	4	2	25
22	2	6	9	4	4	25
23	1	7	6	9	2	25
24	4	3	10	4	4	25
25	0	7	5	7	6	25
26	8	11	4	2	0	25
27	1	2	5	8	9	25
28	5	4	0	7	9	25
29	10	3	2	5	5	25
30	1	6	8	6	4	25
31	10	13	2	0	0	25
32	6	4	4	8	3	25
33	0	3	4	7	11	25
34	3	6	8	5	3	25
35	6	9	6	3	1	25
36	7	6	8	3	1	25
37	1	8	7	5	4	25
38	15	5	4	1	0	25
39	2	4	3	13	3	25
40	5	7	11	1	1	25
41	7	8	5	4	1	25
42	3	9	4	9	0	25
43	2	3	6	10	4	25
44	9	5	3	7	1	25
45	3	2	4	10	6	25
46	5	10	5	5	0	25
47	6	6	5	5	3	25
48	2	9	10	3	1	25
49	2	10	7	6	0	25
50	3	4	6	6	6	25
51	1	4	6	8	6	25
52	3	10	7	3	2	25
53	4	6	8	5	2	25
54	3	2	5	12	3	25
55	2	9	2	6	6	25
56	7	4	5	6	3	25
57	0	10	8	5	2	25
58	5	6	4	8	2	25
59	2	6	5	7	5	25
60	5	9	6	3	2	25
61	4	7	8	4	2	25
62	6	9	5	4	1	25
63	3	5	6	10	1	25
64	10	11	2	1	1	25
合計	252	444	360	357	187	1600
平均	3.94	6.94	5.63	5.58	2.92	
標準偏差	2.96	2.90	2.32	2.68	2.39	

共通
尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.77	-0.75	0.00	0.72	1.68

【ファサード調査 関連資料】

[illegible]

[illegible]

木材	木材
木製格子	木製格子
木製ルーバー	木製ルーバー
木製建具	木製建具
ガラス(透過)	ガラス(透過)
ガラス(半透過)	ガラス(半透過)
ガラス(不透過)	ガラス(不透過)
ガラス(反射)	ガラス(反射)
ガラススクリーン	ガラススクリーン
ガラスルーバー	ガラスルーバー
ガラスシャッター	ガラスシャッター
ガラスチューブ	ガラスチューブ
ガラスビース	ガラスビース
ガラスブロック	ガラスブロック
ガラスブリーズソレイユ	ガラスブリーズソレイユ
鏡面ルーバー	鏡面ルーバー
モルタル	モルタル
コンクリート	コンクリート
コンクリート格子	コンクリート格子
コンクリートブロック	コンクリートブロック
コンクリートルーバー	コンクリートルーバー
タイル	タイル
石材	石器質タイル セラミックタイル 花崗岩 グリーンオニキス石 御影石 大理石 大理石タッソホワイト 人工石パネル ストーンスクリーン 石材 ライムストーン スレート板 花崗岩フィン 御影石ルーバー
石材ルーバー	
石材鋳物	花ブロック セメント セメント板 窯業系サイディング サイディング張り
セメント系	
セメント系ルーバー	セメント板ルーバー
レンガ	レンガ
土系	土壁 テラコッタ
土系ルーバー	テラコッタルーバー
塗料	塗料

H形鋼材(鉄骨)	H鋼材 H形鋼 鉄骨
金属板	亜鉛メッキ鋼板 アルミニウム鋼板 アルミカーテンウォール アルミリブパネル アルミパネル ガルバリウム鋼板 ステンレス鋼板 スチール鋼板 スチールパネル チタン亜鉛合金 鉄板 銅板 メタル 金属パネル 鋼製パネル 銅板 銅製プレート
金属波板	アルミニウム波板 スバンドレルパネル アルミ面格子
金属格子	ステンレスフレーム スチールフレーム
金属ルーバー	亜鉛メッキルーバー アルミルーバー ガルバリウムルーバー アルミフィン スチールルーバー チタンルーバー 金属製バイブルルーバー 鋼製ルーバー
エキスパンドメタル	エキスパンドメタル
パンチングメタル	アルミパンチングメタル パンチングメタル 有孔折版銅板 アルミメッシュ ステンレスメッシュ
金属簾	アルミ簾 銅簾
金属鋳物	アルミ鋳物 アルミ製建具 ステンレス鋳物 鉄の作品

緑化植物・植栽	緑化植物 緑化テラス 植栽
太陽光パネル	太陽光パネル ALCパネル ETFE FRPグレーチング GRCルーバー アクリル 偏光板 ロールスクリーン 網戸 ポリカーボネート ワイヤー鎖樋 紙管 フレキシブルボード バルーン ビニール トラバーチン トリカルナット 炭素繊維ストランロッド ベアサッシ テント膜 PC庇 珪酸カルシウム板 ステンレス鏡面仕上げ スチールサッシュ 金属パネル樹脂製サッシ
その他	

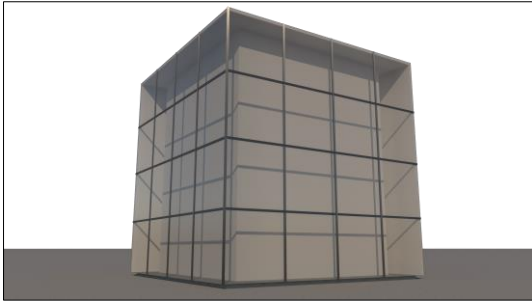
思想	都市的思想 宗教的・心性的表現	クレーンの歴史の代弁 基本理念の踏襲	「大きな森を創る」思想 折りの言葉で包まれた折り空間	思想の表現 造形の意を表明	
素材	素材の特性 品格のある石造り	素材の重量感 都市建築における木材利用の一般化	素材の可能性 木の力強さ	柔らかなファブリックをまとうデザイン 頼りがいのある素材	素材の扱い
景色の映込み	景色の反射 ケヤきの再現 細胞の再現 半透明な和紙張り再現 崖のような「地形」の再現 海を再現	景色の映り込み 市松模様の再現 山々を駆け抜ける馬の姿をイメージ 家のようなパヴィリオン再現 駅域特質の具体化	風景の映し込み 屏風の再現 アリの巣観察セットを再現 物質感も希薄な波を都市の表層に表現 ダイヤモンドのカッティング再現	景色を映すキャンバス 可視光線の顕在化 地層の再現 一本のピンキを再現 ランタンの再現 模範的表現	「デニブ」の再現 「木のサンプル帳」の再現 障子の再現 ポーティコの再現
〇〇の再現・模倣	「和」の表現 コケーンの再現 リアス式海岸の再現	木を育ててきた時間、教育の歴史を顕在化 巨大甲殻類の再現 雲のような再現	採土場の模倣 丘や暖簾の再現 サクラの模倣	武家屋敷を再現 一枚の壁を再現 映画をサポートするためインフラのようなファサード	
デザイン性	デザインの可能性 デザインの言語	意匠性 控えめなデザイン	デザイン性	彫りの深いデザイン	
設計指針の継承	設計指針の継承 デザインの継承	既存部の調和 既存建築からの継承	ファサードデザインの保守 本館の素材継承	原型保存	
環境への配慮	環境配慮 省エネ 環境への対応 環境性の確保	環境考慮 森林資源活用サイクルへのさらなる貢献 環境への配慮 環境性能	環境負荷への配慮 産材型枠の再利用 産材の再利用	冷暖房計画考慮 リユース・リサイクル 産材利用	
日射	日照考慮 外壁面の負荷考慮 西日遮蔽	日照考慮 光環境解析による日照制限 日射抑制	紫外線・太陽光遮断 光の反射抑制 断熱・遮熱	遮光・遮熱 紫外線遮断性 日射負荷低減	
熱環境	断熱性	断熱性能	断熱環境考慮		
採光	採光 透光性	光と遊ぶ(内外からの印象) 光の取り込み	建築内部への光の誘導 外光の吸収	内部への光の拡散	
透明感	透明感 内部からの透明性	透過性の違い 半透明性	透明性 半透明性	ショーケースになる透明感 透明性のある被覆	視線の抜け 透明性の高いショーウィンドウ
内部情報・アクティビティの表出	内部からの発信 内部情報発信 内部のアクティビティ可視化 内部風景発信	内部透過 内部露出 人の動きそのものがファサード 子供の活動が表出	内部アクティビティの表出 内部活動・情報の発信 内部での活動を表出 生活感の透過	隠れみを映し出すスクリーン(内部透過) 内部のにぎやかさ可視化 内部での造作の可視化 行動の強調	内部の透過 生活様相の表出
風環境	通風	換気	自然換気	排気	
プライバシー(視線)	視線のコントロール 視界の制御	視線の制御 外部からの視線操作	プライバシー 内外の視線を繋ぐ	視線の引き込み	
開放性・人の誘致	開放感 脱・閉鎖性	開放的な雰囲気 人の誘致	明るさ 人を引き込む「入惹」	人を誘い込む 外向性	開放性
重み	重厚さ軽減	重厚なファサード	軽快感	軽やかさ	「重さ」を表現
スケール感・ヴォリューム感	重感軽減 ヒューマンスケール	重圧感軽減 ヴォリューム感の軽減	圧迫感軽減 立体感	人間と違和感のないスケール感	
眺望	眺望 内部からの視野確保 最大限の眺望	視界の確保 景色の取り込み 外部の環境の光と影の取り込み	景色の引き込み 自然の取り込み 視野確保	内部に景色を取り込む 風景を放きさせる 景色の切り取り	内部からの眺望確保
目隠し	ダクトや設備配置の目隠し	ダクトや設備の目隠し	幕板の吸気口の目隠し		
構造	構造	構造体の現れ	内部の木架構の表出	スペイン伝統工法	構造考慮
存在感	存在感 周囲の物質化からの逸脱 際立つ存在	視線の惹きつけ インパクト 輝き	目立つ 異色性 力強さ	注目される 際立つ存在	
象徴性	シンボルタワーの象徴性 ランドマーク性	ランドマーク 時代の象徴性	シンボル性	象徴性	
親しみやすさ	親しみやすさ	親密さ			
内外の関係性	内外の関係性 内外のコミュニケーション促進 内外を繋ぐインターフェース 街並みの更新	内外の連続性 外部の取り込み 個人の空間と都市とのインターフェース 公私を調整する緩衝装置	曖昧な境界線 内外を繋ぐ区切る 内と外を繋ぐ 都市との連絡	内外の境界の消滅 街並みへの積極的な参加 内外の境界を曖昧にする 曖昧な境界	
清潔感	清掃しやすさ	清潔感			
設計者	建築家の好み	設計者の伝統色			
施主	施主の好み	クライアントの要求	クライアントの要望		
景観・街並み	周囲に溶け込む 景観考慮 街並みへの参加 街並み考慮 周囲との調和 周囲との調和 東京郊外のスケール感に呼応 街の風景に一石を投じる 既存建築との景観的調和	都市と建築の連続性 周辺環境考慮 街並みへの配慮 既存建築との調和 街並みとの調和 周辺条件 湖との均衡 都市景観への実用寄与	景観との調和 街並みとの親和性 表のシチュエーションと呼応 建物の高さの調和 周囲との関係 周囲の都市性考慮 隣接建物への考慮 近隣の街並み補完	渋谷の街とつながる街 オブリジェクトとの一体感 周辺景色との一体化 風景としての建築 風景生成 町並みとの視覚的調和 街へのアクセント 運河の巻き込み	景観考慮 町の一部を構成 周辺部との調和 新しい自然風景 景観保全地域
背景	背景とする	通りの背景となる上品な光の輝き	バックホリゾントとしての在り方		
建築の表情	表情の多変化 見え方の変化 死角をなくす	表情の多様性 太陽光による多様な表情 表情性	多様な表現 見え方の多様性	樹木のような深みのある表情 全面正面性	
外観一貫性	建築全体をひとつの岩塊として表現	ひと繋がりファサード	外観の一貫性	連続したイメージの想起	
新規性	先進性	先駆性	新規性	新しい感覚の建築	
非日常	非日常の表出	非日常			
内部空間構成	内部の新しい空間構成 内部の複雑さの表現 用途毎のブロック階層	開取り 平面計画 内部空間の多様性	凹凸のあるファサード(内外の階段を表出) 構成	内部構成 エレベータ計画	
地域性	地域性 銀座にふさわしい品格 地元の素材使用	森林調ゆえの木材多用 スコットランドの旗 地域伝統性	横浜らしさを表現 地域産業考慮 横浜港の歴史表現	「街並み十番らしい」ものの表現 地域的な制限	
看板	看板	看板化	店舗の顔		
方向性	方向性 長さの強調	水平性 縦強調	光の帯のような強調された垂直線 水平ライン	水平線を強調 強い輪郭	
深み・奥行き感	深み	奥行き感	彫りの深さ		
耐震・耐力	耐震性 耐久性能	耐力 補強	耐久性	耐震補強	
静けさ・落ち着き	静けさ 美観向上	静けさ 汚れ対策	静謐なファサード 壁面汚れ防止		
エイジング・経年変化	エイジング				
ローコスト・プロトタイプ	必要最低限の素材 最低限の付加	ローコスト コスト面	ローコスト レータ・既製品の利用	新たなファサードのプロトタイプ 製品の活用	コストダウン
柔らかさ	柔らかさ	柔らかさ表現			
心理的影響	心理的影響	心理的癒し	心理的距離の調整		
ブランド性・企業性	ブランドアイデンティティ キャンパスの新しいアイデンティティ ブランドイメージ	ブランド性の体現 松竹らしさの表現 ブランドのフラワーモチーフ表現	企業思想 企業の先進性・多様性 企業特性の表現	企業イメージの表情 資質的表現 企業イメージの「透明感」	
シンプルさ	シンプルさ	素朴さ	端正な普通さ		
開口形式	開口形式	開口形式	開口のランダム性		
陰影	陰影	陰影表出	深い陰影		
物語性	物語性	心象風景の具現化			
存在感の消失	存在感を消す	負けるファサード	主張しない建築	ノンシンボリック性	
耐候性	耐候性	周辺気温への考慮			
耐火性	耐火性	不燃性能	耐火性		
耐熱	耐熱				
耐風	耐風				
歴史	歴史を表現	歴史性			
防音	防音	飛行機の騒音を遮断			
電波対策	電波対策				
防犯	セキュリティ				
内向性	内向性 人と街との適度な距離感 寄り	外部遮断 緩さ 最新技術 冗長性	ムラのある表層 アート性の表出 複雑さ 先鋭さ	建築的魅力 フレキシビリティ性 公共性 モダンさ	
その他	建物の性格 地域コミュニティの活性化 ハードスラストイク防止 新たな価値の創造 エキサイティングさ	内部に温かみを生み出す 詳細なディテール 構造、空間、ファサードの一体感 個々の集合体 映像投影	教育の一貫 風格 賑やかさ リズム感	多層的表現のスクリーン	

【検査Ⅱ 関連資料】

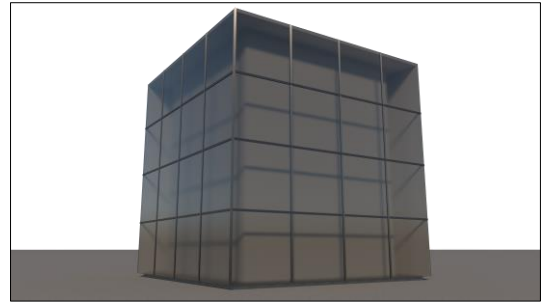
《検査Ⅱ 試料画像》

試料番号	個体番号	素材	ファサードパターン	明度彩度
30	1	ガラス	グリッド型	①中明度中彩度
32	2	ガラス	グリッド型	②低明度中彩度
56	4	ガラス	グリッド型	④高明度中彩度
4	6	ガラス	横型	①中明度中彩度
37	7	ガラス	横型	②低明度中彩度
51	9	ガラス	横型	④高明度中彩度
18	11	ガラス	縦型	①中明度中彩度
16	12	ガラス	縦型	②低明度中彩度
22	14	ガラス	縦型	④高明度中彩度
27	16	コンクリート	グリッド型	①中明度中彩度
50	17	コンクリート	グリッド型	②低明度中彩度
29	19	コンクリート	グリッド型	④高明度中彩度
46	21	コンクリート	横型	①中明度中彩度
12	22	コンクリート	横型	②低明度中彩度
38	24	コンクリート	横型	④高明度中彩度
44	26	コンクリート	縦型	①中明度中彩度
60	27	コンクリート	縦型	②低明度中彩度
3	29	コンクリート	縦型	④高明度中彩度
49	31	金属板・金属ルーバー	グリッド型	①中明度中彩度
24	32	金属板・金属ルーバー	グリッド型	②低明度中彩度
17	34	金属板・金属ルーバー	グリッド型	④高明度中彩度
59	36	金属板・金属ルーバー	横型	①中明度中彩度
21	37	金属板・金属ルーバー	横型	②低明度中彩度
14	39	金属板・金属ルーバー	横型	④高明度中彩度
11	41	金属板・金属ルーバー	縦型	①中明度中彩度
52	42	金属板・金属ルーバー	縦型	②低明度中彩度
45	44	金属板・金属ルーバー	縦型	④高明度中彩度

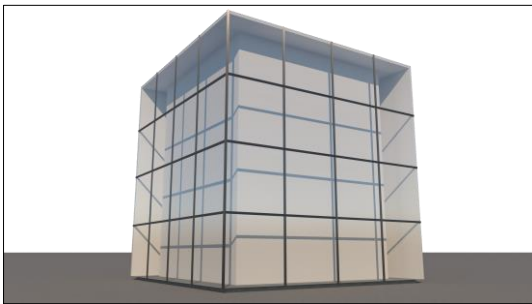
試料番号	個体番号	素材	ファサードパターン	明度彩度
39	46	木材・木製ルーバー	グリッド型	①中明度中彩度
31	47	木材・木製ルーバー	グリッド型	②低明度中彩度
23	48	木材・木製ルーバー	グリッド型	③中明度低彩度
54	49	木材・木製ルーバー	グリッド型	④高明度中彩度
42	50	木材・木製ルーバー	グリッド型	⑤中明度高彩度
1	51	木材・木製ルーバー	横型	①中明度中彩度
34	52	木材・木製ルーバー	横型	②低明度中彩度
58	53	木材・木製ルーバー	横型	③中明度低彩度
36	54	木材・木製ルーバー	横型	④高明度中彩度
10	55	木材・木製ルーバー	横型	⑤中明度高彩度
6	56	木材・木製ルーバー	縦型	①中明度中彩度
28	57	木材・木製ルーバー	縦型	②低明度中彩度
47	58	木材・木製ルーバー	縦型	③中明度低彩度
15	59	木材・木製ルーバー	縦型	④高明度中彩度
48	60	木材・木製ルーバー	縦型	⑤中明度高彩度
61	61	石材	グリッド型	①中明度中彩度
2	62	石材	グリッド型	②低明度中彩度
33	64	石材	グリッド型	④高明度中彩度
20	66	石材	横型	①中明度中彩度
25	67	石材	横型	②低明度中彩度
55	69	石材	横型	④高明度中彩度
8	71	石材	縦型	①中明度中彩度
43	72	石材	縦型	②低明度中彩度
40	74	石材	縦型	④高明度中彩度
35	76	タイル	グリッド型	①中明度中彩度
53	77	タイル	グリッド型	②低明度中彩度
13	78	タイル	グリッド型	③中明度低彩度
19	79	タイル	グリッド型	④高明度中彩度
5	80	タイル	グリッド型	⑤中明度高彩度
26	81	タイル	横型	①中明度中彩度
57	82	タイル	横型	②低明度中彩度
41	83	タイル	横型	③中明度低彩度
9	84	タイル	横型	④高明度中彩度
7	85	タイル	横型	⑤中明度高彩度



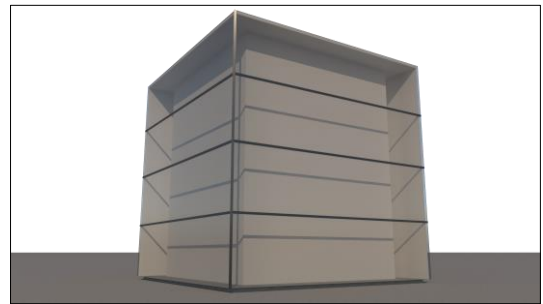
個体番号 1



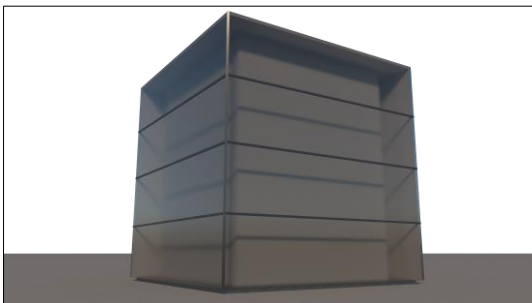
個体番号 2



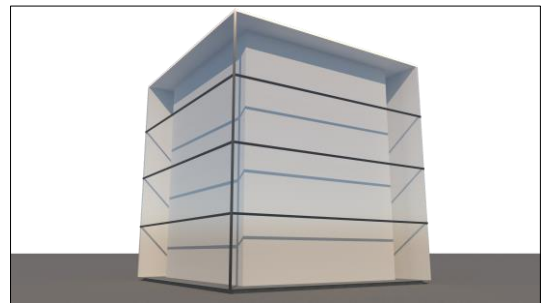
個体番号 4



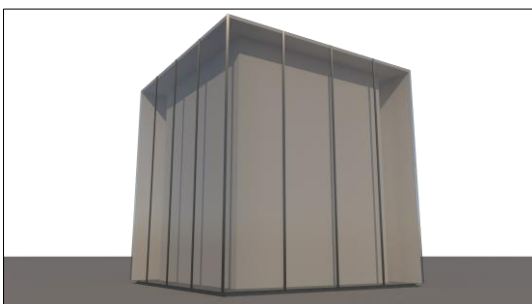
個体番号 6



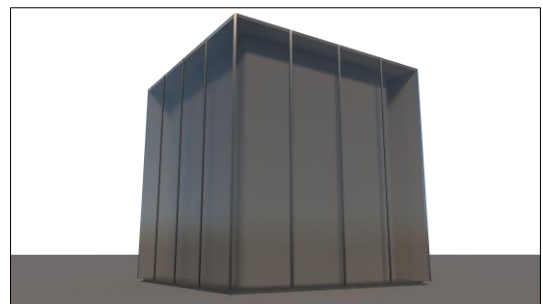
個体番号 7



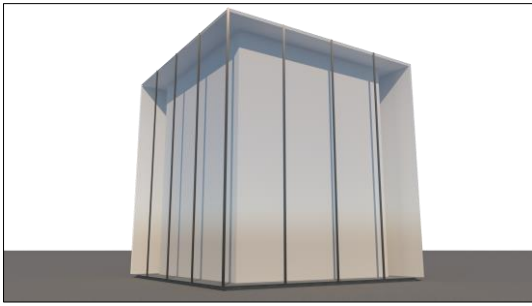
個体番号 9



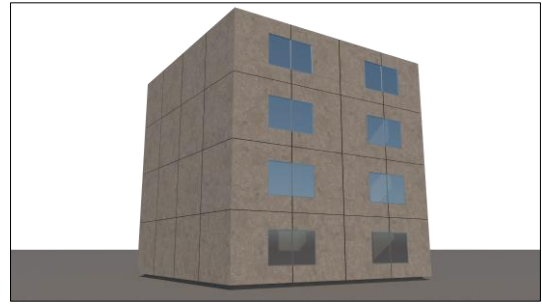
個体番号 11



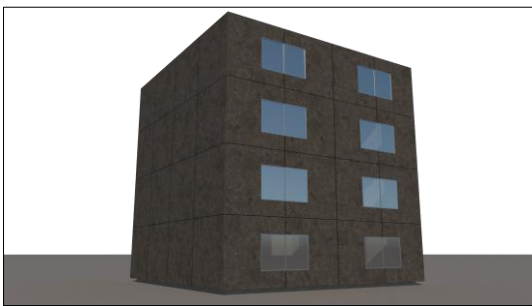
個体番号 12



個体番号 14



個体番号 16



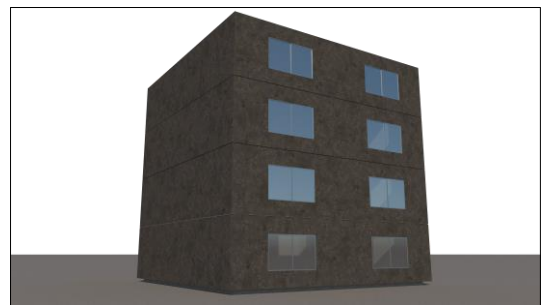
個体番号 17



個体番号 19



個体番号 21



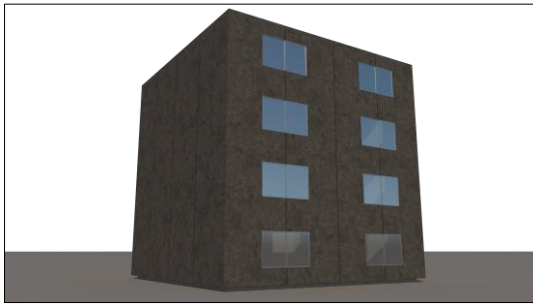
個体番号 22



個体番号 24



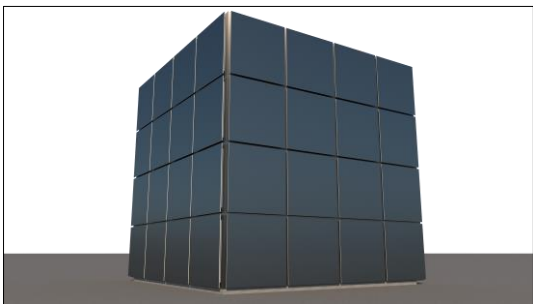
個体番号 26



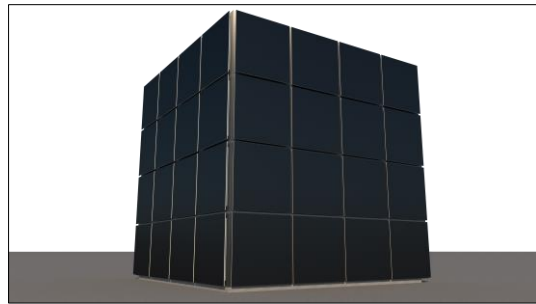
個体番号 27



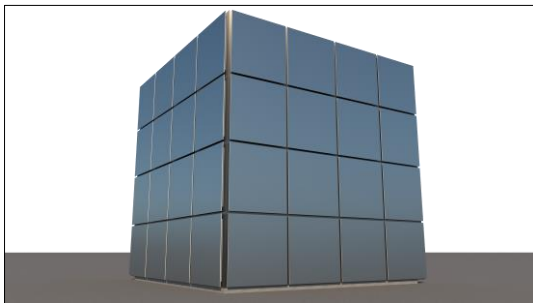
個体番号 29



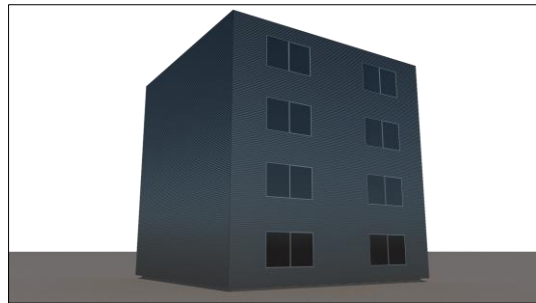
個体番号 31



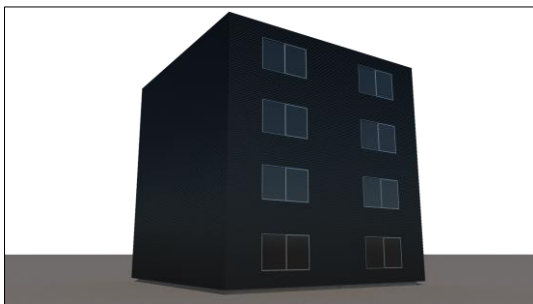
個体番号 32



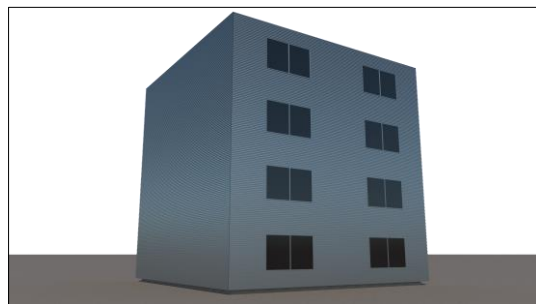
個体番号 34



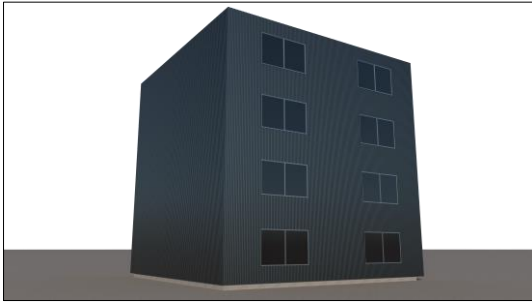
個体番号 36



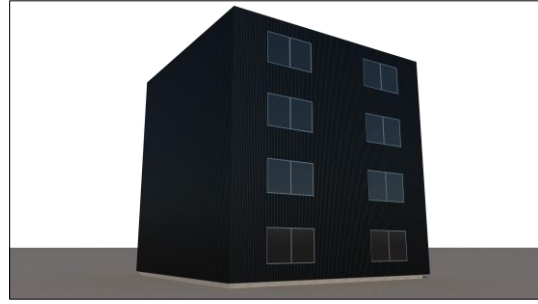
個体番号 37



個体番号 39



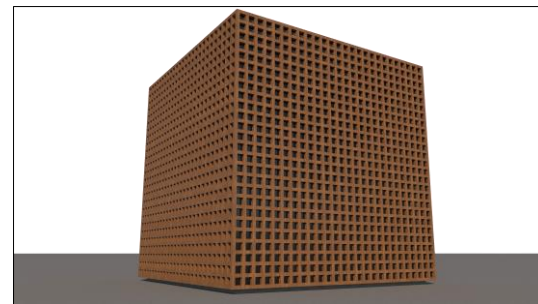
個体番号 41



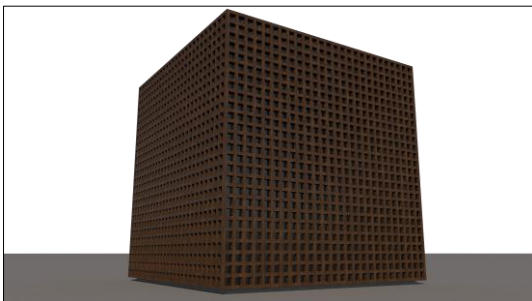
個体番号 42



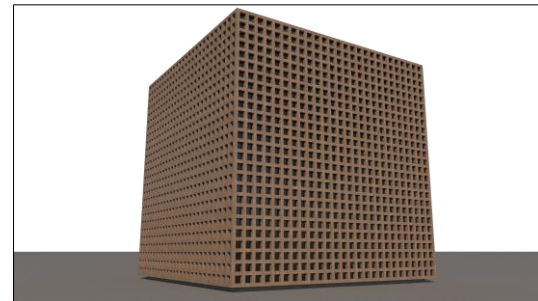
個体番号 44



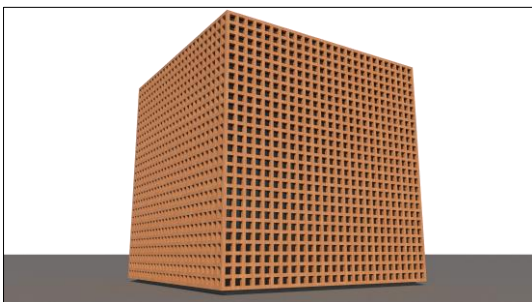
個体番号 46



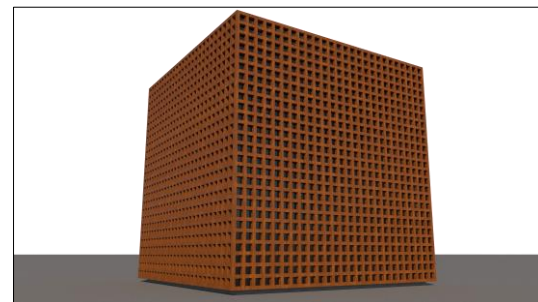
個体番号 47



個体番号 48



個体番号 49



個体番号 50



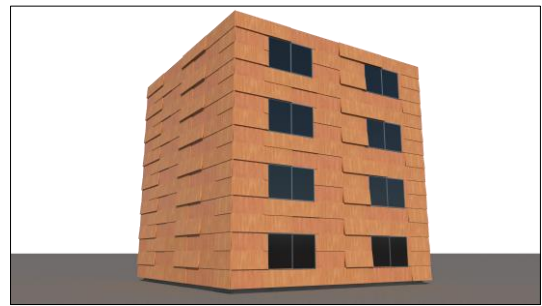
個体番号 51



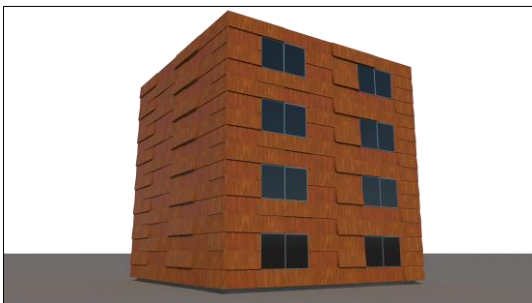
個体番号 52



個体番号 53



個体番号 54



個体番号 55



個体番号 56



個体番号 57



個体番号 58



個体番号 59



個体番号 60



個体番号 61



個体番号 62



個体番号 64



個体番号 66



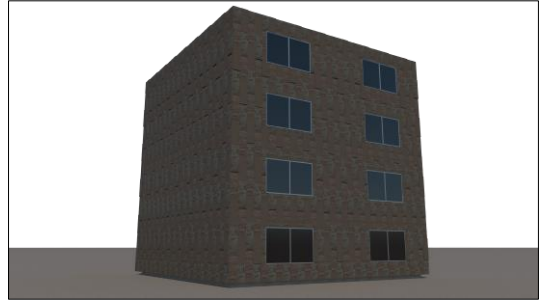
個体番号 67



個体番号 69



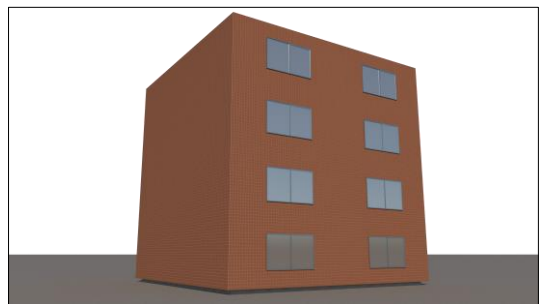
個体番号 71



個体番号 72



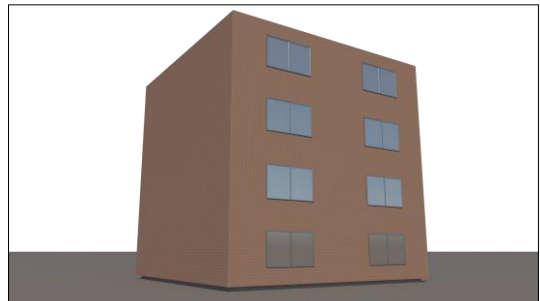
個体番号 74



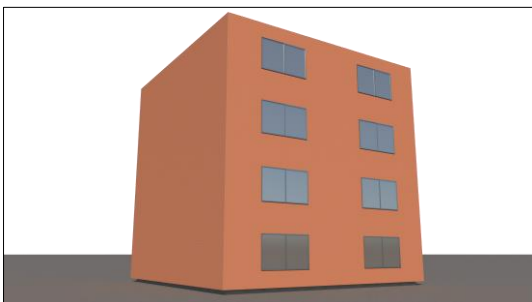
個体番号 76



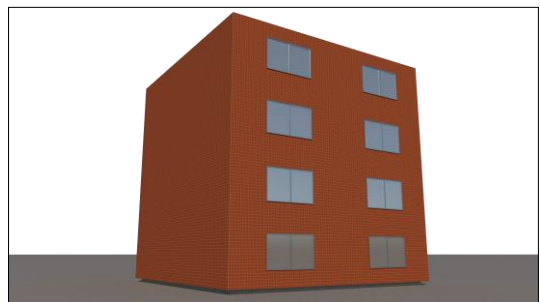
個体番号 77



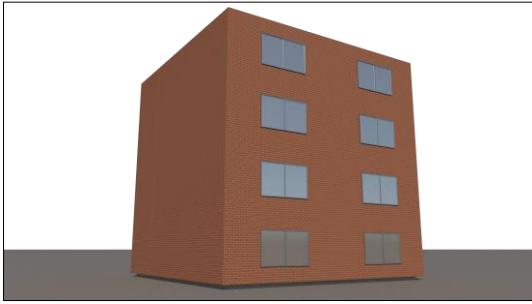
個体番号 78



個体番号 79



個体番号 80



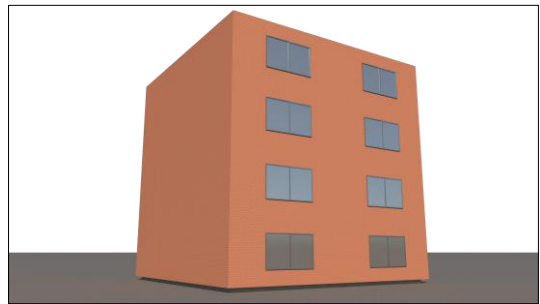
個体番号 81



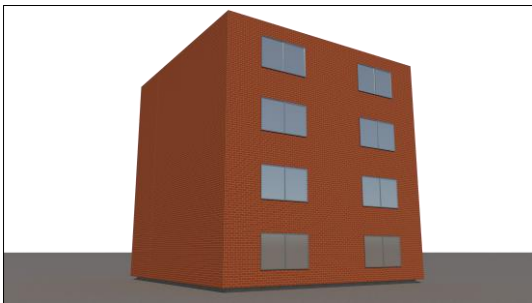
個体番号 82



個体番号 83



個体番号 84



個体番号 85

新規性(見慣れた-目新しい)

[illegible]

評価項目	1	2	3	4	5
地味である		やや地味である	どちらでもない	やや派手である	派手である

存在感(地味である-派手である)

[illegible]

評価項目	親しみにくい	やや親しみにくい	どちらでもない	やや親しみやすい	親しみやすい
評価値	1	2	3	4	5

[illegible]

評価項目	1	2	3	4	5
好ましくない		やや好ましくない	どちらでもない	やや好ましい	好ましい

[illegible]

《検査Ⅱ 系列範疇法結果》

新規性

系列範疇法（５ランク）

系列範疇法分析結果			
試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	-0.13	1.27	0
2	0.48	0.96	0
3	-0.76	1.02	0
4	1.23	1.11	0
5	-1.46	0.67	0
6	-0.25	0.84	0
7	-1.40	0.60	0
8	0.17	0.91	0
9	-1.07	0.93	0
10	0.30	1.00	0
11	-0.53	1.15	0
12	-0.29	1.04	0
13	-1.41	0.63	0
14	0.17	1.24	0
15	0.27	0.84	0
16	1.48	0.92	0
17	1.11	1.19	0
18	1.19	1.02	0
19	-1.03	0.76	0
20	-0.01	0.87	0
21	-0.17	1.10	0
22	0.95	1.00	0
23	1.42	0.72	0
24	1.51	0.64	0
25	-0.15	0.82	0
26	-1.46	0.55	0
27	-0.26	0.61	0
28	0.16	0.84	0
29	0.06	0.90	0
30	0.98	1.00	0
31	1.33	0.81	0
32	1.06	0.93	0
33	0.71	0.86	0
34	0.25	0.99	0
35	-1.46	0.70	0
36	0.30	0.82	0
37	1.08	1.01	0
38	-0.81	0.69	0
39	1.18	0.80	0
40	0.10	0.98	0
41	-1.51	0.58	0
42	1.22	0.92	0
43	0.03	0.63	0
44	-0.52	0.85	0
45	-0.15	1.03	0
46	-0.86	0.82	0
47	0.07	0.73	0
48	0.42	0.94	0
49	1.25	0.76	0
50	-0.19	0.91	0
51	1.16	0.96	0
52	-0.32	1.03	0
53	-1.13	0.73	0
54	1.07	0.96	0
55	0.19	0.90	0
56	0.92	1.13	0
57	-1.25	0.86	0
58	-0.05	0.85	0
59	-0.14	0.98	0
60	-0.28	0.87	0
61	-0.03	1.07	0
合計	4.76	54.21	0
平均	0.08	0.89	0.00
標準偏差	0.87	0.17	0.00

範疇別の人数						
試料	1	2	3	4	5	合計
1	5	13	2	7	5	32
2	1	7	2	18	4	32
3	10	13	4	4	1	32
4	2	1	2	9	18	32
5	21	8	3	0	0	32
6	2	14	9	6	1	32
7	18	13	1	0	0	32
8	2	6	10	12	2	32
9	14	13	3	1	1	32
10	1	9	5	13	4	32
11	10	8	5	8	1	32
12	5	11	8	6	2	32
13	19	11	2	0	0	32
14	4	8	5	9	6	32
15	0	8	10	11	3	32
16	1	1	0	9	21	32
17	2	3	1	9	17	32
18	1	2	2	11	16	32
19	11	17	2	2	0	32
20	1	13	5	12	1	32
21	5	10	5	10	2	32
22	1	3	2	15	11	32
23	0	0	3	11	18	32
24	0	0	1	12	19	32
25	3	8	12	9	0	32
26	19	13	0	0	0	32
27	1	12	15	4	0	32
28	0	11	7	12	2	32
29	2	7	12	9	2	32
30	1	2	4	13	12	32
31	0	1	3	11	17	32
32	0	3	4	12	13	32
33	1	1	8	16	6	32
34	1	9	7	11	4	32
35	21	9	1	1	0	32
36	0	7	11	11	3	32
37	1	2	3	12	14	32
38	6	20	4	2	0	32
39	0	2	1	16	13	32
40	2	8	10	9	3	32
41	21	10	1	0	0	32
42	0	3	2	11	16	32
43	0	9	13	10	0	32
44	5	15	6	6	0	32
45	3	14	3	10	2	32
46	9	16	4	3	0	32
47	0	10	11	10	1	32
48	0	8	7	12	5	32
49	0	1	2	15	14	32
50	3	11	9	8	1	32
51	1	2	0	15	14	32
52	6	9	8	8	1	32
53	13	15	3	1	0	32
54	1	1	4	13	13	32
55	2	5	11	12	2	32
56	2	3	1	14	12	32
57	17	12	2	0	1	32
58	1	11	12	6	2	32
59	4	9	8	10	1	32
60	2	16	6	7	1	32
61	3	11	6	9	3	32
合計	287	498	313	523	331	1952
平均	4.70	8.16	5.13	8.57	5.43	
標準偏差	6.23	4.99	3.81	4.73	6.40	

共通

尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.91	-0.80	0.00	0.82	2.02

存在感

系列範疇法（５ランク）

系列範疇法分析結果			
試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	-0.09	0.90	0
2	-0.64	0.99	0
3	-0.56	0.85	0
4	0.65	0.74	0
5	-0.14	1.24	0
6	-0.22	0.71	0
7	-0.21	1.22	0
8	-0.54	0.87	0
9	-0.09	1.01	0
10	0.31	0.84	0
11	-0.74	1.02	0
12	-1.11	0.90	0
13	-1.30	0.71	0
14	-0.09	0.98	0
15	0.56	0.88	0
16	0.72	0.83	0
17	1.40	0.85	0
18	0.78	0.84	0
19	0.06	1.06	0
20	-0.38	0.57	0
21	-0.62	0.93	0
22	0.80	0.88	0
23	0.57	1.03	0
24	0.94	1.25	0
25	-0.51	0.84	0
26	-0.58	1.04	0
27	-0.76	0.86	0
28	-0.61	0.93	0
29	-0.43	0.92	0
30	0.77	0.81	0
31	0.23	1.14	0
32	0.82	0.84	0
33	0.57	1.02	0
34	-0.41	0.78	0
35	-0.44	1.04	0
36	0.64	0.82	0
37	0.63	0.94	0
38	-0.49	1.08	0
39	0.36	1.10	0
40	0.35	0.83	0
41	-1.07	0.86	0
42	0.81	0.96	0
43	-0.61	0.93	0
44	-1.12	0.67	0
45	-0.14	0.99	0
46	-1.21	0.79	0
47	-0.58	0.79	0
48	0.52	1.06	0
49	1.08	1.05	0
50	-0.83	0.80	0
51	1.13	0.76	0
52	-0.61	1.07	0
53	-1.10	0.72	0
54	0.82	1.11	0
55	0.33	0.91	0
56	1.03	0.72	0
57	-1.16	0.71	0
58	-0.41	0.79	0
59	-0.35	1.04	0
60	-1.23	0.70	0
61	-0.22	0.88	0
合計	-4.70	55.41	0
平均	-0.08	0.91	0.00
標準偏差	0.71	0.15	0.00

範疇別の人数						
試料	1	2	3	4	5	合計
1	2	12	6	11	1	32
2	9	11	5	7	0	32
3	4	19	4	4	1	32
4	0	3	7	17	5	32
5	6	9	6	6	5	32
6	2	10	14	6	0	32
7	7	9	3	10	3	32
8	5	15	8	3	1	32
9	4	8	9	9	2	32
10	0	7	11	10	4	32
11	12	6	9	5	0	32
12	16	8	6	2	0	32
13	17	11	4	0	0	32
14	3	10	8	9	2	32
15	0	6	6	14	6	32
16	0	4	5	16	7	32
17	1	0	2	8	21	32
18	0	4	4	16	8	32
19	3	8	9	8	4	32
20	0	19	9	4	0	32
21	7	15	3	7	0	32
22	1	2	4	17	8	32
23	1	6	5	12	8	32
24	3	2	4	6	17	32
25	6	10	12	4	0	32
26	7	15	4	4	2	32
27	7	18	4	2	1	32
28	8	10	9	5	0	32
29	6	8	14	3	1	32
30	0	4	3	18	7	32
31	3	7	7	9	6	32
32	0	3	6	14	9	32
33	1	5	7	11	8	32
34	3	15	8	6	0	32
35	6	13	6	5	2	32
36	0	4	7	15	6	32
37	1	5	2	18	6	32
38	8	9	9	4	2	32
39	2	8	3	13	6	32
40	1	4	11	13	3	32
41	13	14	4	0	1	32
42	1	4	1	17	9	32
43	8	10	9	5	0	32
44	12	16	4	0	0	32
45	3	12	6	9	2	32
46	16	11	4	1	0	32
47	5	15	8	4	0	32
48	1	7	5	11	8	32
49	1	3	3	8	17	32
50	8	17	4	3	0	32
51	0	2	1	16	13	32
52	8	14	4	4	2	32
53	12	16	3	1	0	32
54	2	3	3	12	12	32
55	1	6	9	12	4	32
56	0	2	1	19	10	32
57	13	16	2	1	0	32
58	2	18	7	4	1	32
59	6	11	5	9	1	32
60	15	13	4	0	0	32
61	3	11	10	7	1	32
合計	292	563	360	494	243	1952
平均	4.79	9.23	5.90	8.10	3.98	
標準偏差	4.70	5.01	3.04	5.35	4.75	

共通

尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.92	-0.81	0.00	0.81	1.91

重み

系列範疇法（５ランク）

系列範疇法分析結果			
試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	0.13	1.01	0
2	1.12	0.74	0
3	-1.00	1.17	0
4	-1.32	0.86	0
5	0.06	0.89	0
6	0.05	0.84	0
7	0.24	1.05	0
8	0.20	0.94	0
9	-0.76	0.87	0
10	0.38	0.95	0
11	0.61	1.00	0
12	1.40	0.80	0
13	-0.13	0.67	0
14	0.04	0.97	0
15	-0.63	0.87	0
16	-0.50	1.29	0
17	0.04	1.29	0
18	-0.91	1.06	0
19	-0.60	0.87	0
20	0.46	0.86	0
21	0.88	1.08	0
22	-1.51	0.70	0
23	0.29	1.00	0
24	1.02	1.09	0
25	1.03	0.77	0
26	0.07	0.77	0
27	0.48	0.78	0
28	0.77	0.86	0
29	-0.51	1.02	0
30	-1.12	1.06	0
31	0.96	0.98	0
32	-0.28	1.21	0
33	-0.72	0.93	0
34	0.95	0.89	0
35	-0.20	0.91	0
36	-0.49	0.79	0
37	-0.56	1.31	0
38	-0.43	0.87	0
39	0.36	1.12	0
40	-0.64	1.02	0
41	-0.05	0.69	0
42	0.46	1.08	0
43	1.12	0.70	0
44	0.82	0.84	0
45	-0.06	0.85	0
46	0.75	0.78	0
47	0.08	0.76	0
48	0.18	0.78	0
49	0.64	1.23	0
50	1.18	0.93	0
51	-1.50	0.81	0
52	0.78	0.99	0
53	0.68	0.72	0
54	0.03	1.12	0
55	-0.55	1.03	0
56	-1.21	0.94	0
57	0.80	0.76	0
58	0.32	0.75	0
59	0.75	1.00	0
60	1.13	0.85	0
61	0.22	0.81	0
合計	5.80	56.61	0
平均	0.10	0.93	0.00
標準偏差	0.73	0.16	0.00

範疇別の人数						
試料	1	2	3	4	5	合計
1	1	10	7	11	3	32
2	0	1	3	17	11	32
3	12	13	3	2	2	32
4	15	12	4	1	0	32
5	1	9	9	12	1	32
6	0	10	12	8	2	32
7	2	5	11	10	4	32
8	0	9	11	8	4	32
9	6	15	8	3	0	32
10	1	6	6	16	3	32
11	1	3	9	12	7	32
12	0	1	3	9	19	32
13	0	11	14	7	0	32
14	1	11	7	11	2	32
15	4	17	6	5	0	32
16	9	9	2	11	1	32
17	4	8	8	6	6	32
18	10	14	2	6	0	32
19	4	16	7	5	0	32
20	0	5	10	13	4	32
21	0	5	6	8	13	32
22	17	13	2	0	0	32
23	0	9	9	9	5	32
24	0	4	7	5	16	32
25	0	1	5	16	10	32
26	0	9	12	10	1	32
27	0	4	10	15	3	32
28	0	2	10	12	8	32
29	5	13	8	5	1	32
30	14	10	4	4	0	32
31	0	4	4	12	12	32
32	5	11	6	7	3	32
33	6	14	10	1	1	32
34	0	2	7	12	11	32
35	2	11	11	7	1	32
36	2	17	8	5	0	32
37	10	7	6	7	2	32
38	2	16	9	4	1	32
39	0	11	5	9	7	32
40	6	14	7	4	1	32
41	0	10	13	9	0	32
42	0	8	9	7	8	32
43	0	0	5	16	11	32
44	0	2	8	14	8	32
45	1	11	8	12	0	32
46	0	2	8	16	6	32
47	0	7	17	6	2	32
48	0	8	10	13	1	32
49	2	5	4	11	10	32
50	0	2	5	9	16	32
51	18	11	2	1	0	32
52	0	4	8	10	10	32
53	0	2	8	18	4	32
54	1	13	7	6	5	32
55	6	11	10	4	1	32
56	13	14	4	0	1	32
57	0	2	6	18	6	32
58	0	6	9	16	1	32
59	0	4	9	9	10	32
60	0	2	3	14	13	32
61	0	7	12	11	2	32
合計	181	493	453	545	280	1952
平均	2.97	8.08	7.43	8.93	4.59	
標準偏差	4.72	4.69	3.19	4.69	4.82	

共通

尺度

	1	2	3	4	5
C*	-2.14	-0.93	0.00	0.87	2.00

硬軟性

系列範疇法（５ランク）

系列範疇法分析結果			
試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	0.28	1.01	0
2	0.96	0.87	0
3	0.38	1.08	0
4	0.17	1.12	0
5	0.62	0.80	0
6	-0.12	1.06	0
7	0.69	0.75	0
8	0.27	1.06	0
9	0.26	0.97	0
10	0.15	1.10	0
11	0.92	0.80	0
12	1.47	0.75	0
13	0.51	0.82	0
14	0.49	0.73	0
15	-0.33	0.97	0
16	0.30	1.10	0
17	0.99	0.89	0
18	0.25	0.97	0
19	0.05	0.81	0
20	0.42	0.76	0
21	1.07	0.78	0
22	0.01	1.08	0
23	0.04	1.00	0
24	1.38	0.84	0
25	0.79	0.93	0
26	0.39	0.83	0
27	0.81	0.89	0
28	0.52	0.97	0
29	0.30	1.13	0
30	0.15	1.09	0
31	0.67	1.06	0
32	0.22	1.09	0
33	-0.43	0.99	0
34	0.40	0.90	0
35	0.32	0.63	0
36	-0.24	0.97	0
37	0.29	1.08	0
38	0.30	0.95	0
39	0.25	0.89	0
40	-0.27	1.05	0
41	0.19	0.76	0
42	0.29	0.93	0
43	0.79	0.93	0
44	1.01	0.81	0
45	0.65	0.91	0
46	0.99	0.87	0
47	0.05	0.88	0
48	-0.06	0.94	0
49	1.20	1.02	0
50	1.25	0.74	0
51	-0.23	1.23	0
52	0.95	1.12	0
53	0.70	0.76	0
54	-0.15	1.06	0
55	-0.37	1.07	0
56	-0.02	1.19	0
57	0.89	0.65	0
58	0.06	0.93	0
59	0.68	0.91	0
60	1.35	0.69	0
61	0.23	1.00	0
合計	26.17	56.96	0
平均	0.43	0.93	0.00
標準偏差	0.46	0.14	0.00

範疇別の人数						
試料	1	2	3	4	5	合計
1	1	9	7	10	5	32
2	0	3	4	14	11	32
3	1	9	6	9	7	32
4	4	6	6	12	4	32
5	0	4	7	16	5	32
6	4	10	8	7	3	32
7	0	3	6	18	5	32
8	1	10	7	8	6	32
9	2	5	11	10	4	32
10	2	11	5	9	5	32
11	0	1	8	13	10	32
12	0	1	2	8	21	32
13	0	4	11	12	5	32
14	0	4	9	16	3	32
15	4	14	7	5	2	32
16	4	4	5	15	4	32
17	0	3	4	13	12	32
18	2	7	6	14	3	32
19	2	6	13	10	1	32
20	0	5	10	14	3	32
21	0	1	5	14	12	32
22	4	8	7	10	3	32
23	1	13	7	7	4	32
24	0	2	2	8	20	32
25	1	3	3	17	8	32
26	1	4	10	14	3	32
27	0	4	5	14	9	32
28	1	5	7	13	6	32
29	3	6	7	10	6	32
30	4	5	9	10	4	32
31	0	8	4	10	10	32
32	4	4	8	12	4	32
33	6	13	5	7	1	32
34	1	5	9	13	4	32
35	0	4	13	14	1	32
36	3	15	5	7	2	32
37	3	5	8	11	5	32
38	1	8	7	12	4	32
39	0	9	10	9	4	32
40	4	14	6	5	3	32
41	1	6	11	13	1	32
42	0	9	10	8	5	32
43	0	5	4	14	9	32
44	0	2	4	15	11	32
45	0	4	10	10	8	32
46	0	2	6	12	12	32
47	1	11	8	10	2	32
48	2	12	7	9	2	32
49	1	2	3	8	18	32
50	0	1	2	14	15	32
51	9	4	8	8	3	32
52	2	2	4	10	14	32
53	0	2	9	15	6	32
54	3	13	8	4	4	32
55	6	13	4	7	2	32
56	6	6	7	9	4	32
57	0	0	7	18	7	32
58	2	9	8	11	2	32
59	1	2	8	14	7	32
60	0	0	3	12	17	32
61	1	9	9	8	5	32
合計	99	369	419	679	386	1952
平均	1.62	6.05	6.87	11.13	6.33	
標準偏差	1.96	3.96	2.59	3.24	4.73	

共通

尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.84	-0.80	0.00	0.82	1.96

親しみやすさ

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果			
試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	0.50	0.79	0
2	-0.57	0.87	0
3	0.26	0.98	0
4	-0.45	0.99	0
5	0.41	0.87	0
6	0.82	0.77	0
7	0.38	0.84	0
8	-0.05	0.85	0
9	-0.07	0.84	0
10	0.41	0.95	0
11	-0.43	1.02	0
12	-0.26	1.08	0
13	0.26	0.83	0
14	-0.29	0.79	0
15	0.06	0.91	0
16	-0.72	1.18	0
17	-1.26	0.99	0
18	-0.54	1.10	0
19	0.13	0.77	0
20	0.21	0.75	0
21	-0.38	1.00	0
22	-0.42	1.26	0
23	0.03	1.07	0
24	-1.34	0.73	0
25	-0.33	0.99	0
26	0.39	1.00	0
27	0.14	0.91	0
28	0.25	0.80	0
29	0.18	0.64	0
30	-0.55	1.12	0
31	-0.04	0.99	0
32	-0.73	1.12	0
33	-0.25	1.01	0
34	0.21	0.77	0
35	0.42	0.88	0
36	0.09	1.05	0
37	-0.77	1.10	0
38	0.41	0.94	0
39	0.16	1.01	0
40	-0.02	0.98	0
41	0.50	0.79	0
42	-0.11	1.03	0
43	-0.43	0.66	0
44	0.09	1.01	0
45	-0.56	0.79	0
46	0.07	0.97	0
47	0.43	0.70	0
48	0.25	1.04	0
49	-1.12	1.00	0
50	-0.28	1.02	0
51	-0.44	1.22	0
52	-0.73	0.85	0
53	0.25	0.89	0
54	-0.03	1.03	0
55	0.11	0.87	0
56	-0.25	1.21	0
57	0.39	0.89	0
58	0.36	0.81	0
59	-0.59	0.84	0
60	-0.15	1.09	0
61	-0.15	0.73	0
合計	-6.11	56.97	0
平均	-0.10	0.93	0.00
標準偏差	0.45	0.14	0.00

範疇別の人数						
試料	1	2	3	4	5	合計
1	1	3	7	17	4	32
2	6	16	5	4	1	32
3	2	7	7	11	5	32
4	5	17	4	3	3	32
5	1	5	8	13	5	32
6	1	1	3	19	8	32
7	1	5	8	14	4	32
8	2	10	10	8	2	32
9	2	10	11	7	2	32
10	2	5	5	15	5	32
11	6	14	6	3	3	32
12	7	8	6	9	2	32
13	1	5	13	9	4	32
14	2	16	7	6	1	32
15	2	7	14	5	4	32
16	12	13	1	2	4	32
17	22	5	3	0	2	32
18	8	14	5	1	4	32
19	1	7	12	10	2	32
20	0	9	8	13	2	32
21	4	17	6	1	4	32
22	11	7	4	6	4	32
23	5	6	6	12	3	32
24	21	7	3	1	0	32
25	5	12	9	3	3	32
26	2	6	5	13	6	32
27	2	9	4	15	2	32
28	1	7	7	15	2	32
29	0	7	12	12	1	32
30	9	12	6	1	4	32
31	5	6	6	14	1	32
32	11	14	3	0	4	32
33	4	14	5	6	3	32
34	1	9	2	20	0	32
35	1	4	11	10	6	32
36	4	6	8	10	4	32
37	12	13	2	2	3	32
38	2	3	10	11	6	32
39	4	3	11	10	4	32
40	3	10	7	9	3	32
41	0	4	11	11	6	32
42	5	7	10	7	3	32
43	3	14	12	3	0	32
44	4	4	12	8	4	32
45	5	16	8	2	1	32
46	3	8	7	11	3	32
47	0	5	8	16	3	32
48	3	6	6	12	5	32
49	19	7	2	3	1	32
50	6	9	8	7	2	32
51	10	9	4	5	4	32
52	8	16	5	2	1	32
53	2	4	12	10	4	32
54	4	9	6	10	3	32
55	1	10	8	10	3	32
56	8	9	3	8	4	32
57	1	6	7	13	5	32
58	2	3	7	18	2	32
59	7	13	7	5	0	32
60	5	10	7	6	4	32
61	2	9	15	5	1	32
合計	289	527	435	512	189	1952
平均	4.74	8.64	7.13	8.39	3.10	
標準偏差	4.78	4.07	3.23	5.12	1.70	

共通

尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.82	-0.76	0.00	0.76	1.79

好ましさ

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果			
試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	0.55	0.82	0
2	-0.31	0.95	0
3	0.29	1.02	0
4	0.15	1.01	0
5	-0.44	0.81	0
6	0.52	0.83	0
7	-0.46	0.78	0
8	-0.20	0.90	0
9	-0.86	0.81	0
10	0.37	0.97	0
11	0.50	0.90	0
12	0.46	0.94	0
13	-0.27	0.80	0
14	0.05	0.92	0
15	-0.29	0.86	0
16	0.28	1.06	0
17	0.07	1.13	0
18	0.33	1.03	0
19	-0.58	0.85	0
20	0.09	1.00	0
21	0.35	0.89	0
22	0.33	1.12	0
23	0.56	1.08	0
24	-0.25	1.10	0
25	-0.11	0.96	0
26	-0.26	0.77	0
27	0.43	0.94	0
28	0.64	0.88	0
29	0.52	0.80	0
30	0.21	1.04	0
31	0.53	1.08	0
32	0.26	1.02	0
33	-0.37	0.81	0
34	0.60	0.91	0
35	-0.39	0.76	0
36	-0.24	1.00	0
37	0.16	1.06	0
38	0.44	0.87	0
39	0.55	1.14	0
40	-0.14	0.78	0
41	-0.38	0.79	0
42	0.40	0.97	0
43	-0.10	0.91	0
44	0.35	1.03	0
45	0.12	0.95	0
46	0.33	0.99	0
47	0.25	0.90	0
48	0.09	0.87	0
49	0.02	1.10	0
50	0.33	1.06	0
51	0.35	1.09	0
52	0.15	0.95	0
53	-0.14	0.85	0
54	0.15	1.01	0
55	-0.15	0.98	0
56	0.30	1.21	0
57	-0.02	0.71	0
58	0.52	0.91	0
59	-0.08	0.83	0
60	0.48	0.96	0
61	-0.11	0.90	0
合計	6.93	57.36	0
平均	0.11	0.94	0.00
標準偏差	0.34	0.11	0.00

範疇別の人数						
試料	1	2	3	4	5	合計
1	1	4	5	17	5	32
2	5	13	8	3	3	32
3	4	3	8	12	5	32
4	2	12	3	10	5	32
5	5	15	7	4	1	32
6	0	5	10	10	7	32
7	5	15	8	3	1	32
8	3	14	8	4	3	32
9	12	14	4	1	1	32
10	3	4	6	14	5	32
11	2	2	9	13	6	32
12	2	4	7	13	6	32
13	4	9	16	1	2	32
14	3	8	9	9	3	32
15	4	13	9	4	2	32
16	4	6	3	14	5	32
17	6	7	2	13	4	32
18	2	8	6	9	7	32
19	8	13	7	3	1	32
20	3	8	10	6	5	32
21	2	5	7	14	4	32
22	3	8	4	9	8	32
23	4	2	3	15	8	32
24	9	6	5	10	2	32
25	5	8	8	9	2	32
26	4	11	9	8	0	32
27	2	4	8	12	6	32
28	1	3	7	13	8	32
29	1	3	8	15	5	32
30	2	11	4	9	6	32
31	4	2	4	14	8	32
32	3	7	5	12	5	32
33	5	12	10	4	1	32
34	2	2	6	15	7	32
35	4	14	10	3	1	32
36	7	7	9	7	2	32
37	4	7	6	10	5	32
38	1	4	11	10	6	32
39	4	3	4	11	10	32
40	2	11	13	4	2	32
41	5	11	12	3	1	32
42	3	4	5	15	5	32
43	4	9	9	8	2	32
44	2	8	5	10	7	32
45	3	8	6	12	3	32
46	3	5	6	13	5	32
47	2	6	9	11	4	32
48	3	6	10	11	2	32
49	6	6	6	10	4	32
50	4	4	6	12	6	32
51	3	6	7	8	8	32
52	3	6	10	9	4	32
53	3	11	10	6	2	32
54	4	6	7	11	4	32
55	5	9	9	6	3	32
56	5	7	1	11	8	32
57	2	8	11	11	0	32
58	1	5	7	12	7	32
59	3	10	8	10	1	32
60	1	6	8	9	8	32
61	3	11	10	5	3	32
合計	215	459	448	570	260	1952
平均	3.52	7.52	7.34	9.34	4.26	
標準偏差	2.02	3.61	2.75	3.95	2.46	

共通

尺度

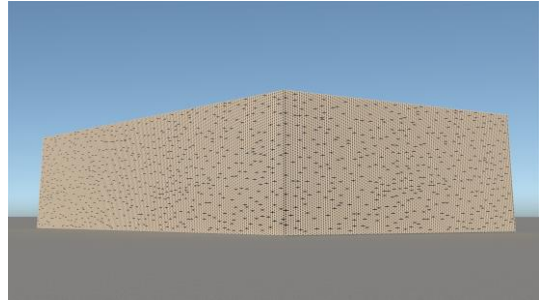
	1	2	3	4	5
C*	-1.67	-0.70	0.00	0.77	1.80

【検査Ⅲ 関連資料】

《検査Ⅲ 試料画像》



試料番号 1



試料番号 2



試料番号 3



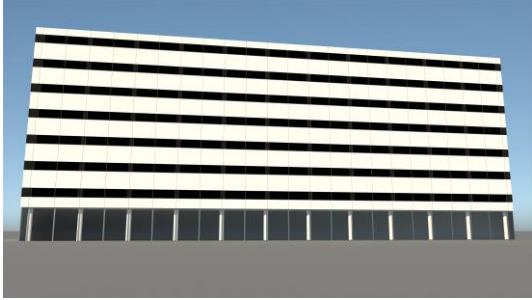
試料番号 4



試料番号 5



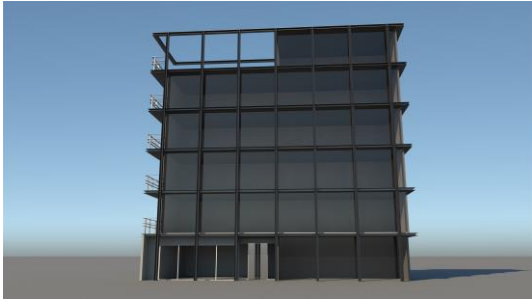
試料番号 6



試料番号 7



試料番号 8



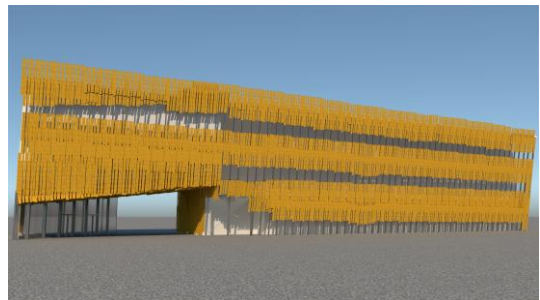
試料番号 9



試料番号 10



試料番号 11



試料番号 12

新規性(見慣れた-目新しい)

存在感(地味である-派手である)

179

重み(軽快である-重厚である)

[illegible]

硬軟性(柔らかかそうな-硬そうな)

硬軟性(柔らかさやなごみ感)

評価項目	柔らかさやなごみ感	やや硬さ	どちらでもない	やや硬さ	硬さ
評価値	1	2	3	4	5
試験番号					
建築名					
設計					
ファサード素材					
ファサードターン					
1	chloe house				
2	コーセー化粧品研究所				
3	ロレックス銀座ビル				
4	椿ノ木聖パウロ				
5	高崎芸術劇場				
6	石双屋				
7	沙羅-イーストサイドビル				
8	早稲田大学久慈キャンパス3号館				
9	川本製作所 東京ビル				
10	多摩大学 グローバル・デザイン・学部 国際科学館				
11	太田市民会館				
12	東京大学大学院情報学環 ダイジェネラティブデザイン研究所				

《検査Ⅲ 系列範疇法結果》

新規性

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果

試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	0.42	1.18	0
2	1.67	0.76	0
3	-0.45	0.97	0
4	0.36	1.00	0
5	0.34	0.85	0
6	0.13	1.10	0
7	-1.00	0.69	0
8	-0.37	0.96	0
9	0.17	1.00	0
10	0.84	0.57	0
11	-0.01	0.97	0
12	1.62	0.73	0
合計	3.73	10.78	0
平均	0.31	0.90	0.00
標準偏差	0.75	0.17	0.00

範疇別の人数

試料	1	2	3	4	5	合計
1	3	4	5	11	5	28
2	0	1	1	6	20	28
3	6	8	10	3	1	28
4	0	9	5	10	4	28
5	0	7	7	12	2	28
6	2	8	8	6	4	28
7	10	12	6	0	0	28
8	4	12	6	5	1	28
9	2	7	6	11	2	28
10	0	0	6	19	3	28
11	4	3	12	8	1	28
12	0	1	0	9	18	28
合計	31	72	72	100	61	336
平均	2.58	6.00	6.00	8.33	5.08	
標準偏差	2.96	3.98	3.16	4.70	6.15	

共通
尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.82	-0.81	0.00	0.90	2.11

存在感

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果

試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	-0.07	0.83	0
2	1.06	1.14	0
3	-0.04	0.94	0
4	-0.57	0.78	0
5	0.17	1.06	0
6	-0.71	0.72	0
7	-1.07	1.02	0
8	-0.21	1.05	0
9	-0.44	0.95	0
10	0.70	0.86	0
11	-0.31	0.75	0
12	1.76	0.51	0
合計	0.27	10.61	0
平均	0.02	0.88	0.00
標準偏差	0.77	0.17	0.00

範疇別の人数

試料	1	2	3	4	5	合計
1	1	10	7	10	0	28
2	2	1	2	10	13	28
3	2	8	8	9	1	28
4	4	11	11	2	0	28
5	2	5	11	6	4	28
6	3	19	3	3	0	28
7	12	10	4	1	1	28
8	4	8	7	8	1	28
9	4	12	5	7	0	28
10	0	4	4	15	5	28
11	1	12	12	2	1	28
12	0	0	1	4	23	28
合計	35	100	75	77	49	336
平均	2.92	8.33	6.25	6.42	4.08	
標準偏差	3.07	5.06	3.54	4.03	6.73	

共通
尺度

	1	2	3	4	5
C*	-2.02	-0.87	0.00	0.88	1.99

重み

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果

試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	-0.43	1.09	0
2	0.16	1.14	0
3	-0.67	0.92	0
4	0.09	0.98	0
5	-1.01	0.68	0
6	0.78	0.78	0
7	0.58	0.81	0
8	0.43	1.01	0
9	0.35	0.92	0
10	-0.14	0.84	0
11	1.30	0.73	0
12	-0.05	1.06	0
合計	1.36	10.98	0
平均	0.11	0.91	0.00
標準偏差	0.61	0.14	0.00

範疇別の人数

試料	1	2	3	4	5	合計
1	6	8	9	3	2	28
2	3	6	6	9	4	28
3	5	16	3	3	1	28
4	2	7	7	10	2	28
5	8	15	5	0	0	28
6	0	2	6	14	6	28
7	0	4	6	14	4	28
8	1	5	7	10	5	28
9	1	5	7	12	3	28
10	2	9	8	9	0	28
11	0	1	1	12	14	28
12	2	11	5	7	3	28
合計	30	89	70	103	44	336
平均	2.50	7.42	5.83	8.58	3.67	
標準偏差	2.47	4.50	2.07	4.33	3.59	

共通

尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.96	-0.84	0.00	0.84	1.95

硬軟性

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果

試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	0.84	0.94	0
2	0.23	1.13	0
3	0.21	0.98	0
4	0.91	0.91	0
5	0.10	0.97	0
6	1.28	0.90	0
7	1.04	0.71	0
8	0.78	0.73	0
9	0.93	0.98	0
10	0.36	0.81	0
11	1.40	1.08	0
12	-0.04	0.95	0
合計	8.06	11.10	0
平均	0.67	0.92	0.00
標準偏差	0.46	0.12	0.00

範疇別の人数

試料	1	2	3	4	5	合計
1	0	4	4	12	8	28
2	2	8	6	7	5	28
3	1	9	5	10	3	28
4	0	2	7	10	9	28
5	2	8	6	10	2	28
6	0	1	5	7	15	28
7	0	0	5	15	8	28
8	0	3	2	19	4	28
9	1	2	3	13	9	28
10	1	3	10	12	2	28
11	1	2	2	4	19	28
12	2	10	7	7	2	28
合計	10	52	62	126	86	336
平均	0.83	4.33	5.17	10.50	7.17	
標準偏差	0.80	3.30	2.19	3.91	5.18	

共通

尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.76	-0.77	0.00	0.84	2.06

親しみやすさ

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果

試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	0.50	1.06	0
2	-0.55	1.18	0
3	0.72	0.81	0
4	0.13	0.91	0
5	0.55	0.79	0
6	0.08	1.18	0
7	0.02	1.07	0
8	0.36	0.70	0
9	-0.27	0.94	0
10	0.26	0.85	0
11	0.53	0.89	0
12	-0.30	1.38	0
合計	2.02	11.76	0
平均	0.17	0.98	0.00
標準偏差	0.38	0.19	0.00

範疇別の人数

試料	1	2	3	4	5	合計
1	3	3	3	12	7	28
2	11	8	1	5	3	28
3	0	3	6	11	8	28
4	2	7	7	9	3	28
5	0	5	4	14	5	28
6	4	8	6	3	7	28
7	4	8	4	8	4	28
8	0	6	5	15	2	28
9	5	8	9	4	2	28
10	0	9	6	9	4	28
11	1	4	5	12	6	28
12	11	6	0	5	6	28
合計	41	75	56	107	57	336
平均	3.42	6.25	4.67	8.92	4.75	
標準偏差	3.80	2.01	2.39	3.84	1.96	

共通

尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.68	-0.72	0.00	0.73	1.78

好ましさ

系列範疇法（5 ランク）

系列範疇法分析結果

試料	尺度値	標準偏差	相乗和
1	0.61	0.90	0
2	-0.41	1.06	0
3	0.81	0.88	0
4	0.38	0.94	0
5	1.07	0.69	0
6	-0.13	0.88	0
7	-0.37	0.93	0
8	0.26	0.90	0
9	0.02	1.01	0
10	0.74	0.86	0
11	1.05	0.73	0
12	-0.11	1.21	0
合計	3.92	10.99	0
平均	0.33	0.92	0.00
標準偏差	0.51	0.13	0.00

範疇別の人数

試料	1	2	3	4	5	合計
1	2	2	4	14	6	28
2	9	11	1	4	3	28
3	1	2	4	12	9	28
4	3	4	3	14	4	28
5	0	1	2	14	11	28
6	4	10	6	6	2	28
7	8	9	3	7	1	28
8	2	6	7	9	4	28
9	4	9	5	6	4	28
10	1	2	5	12	8	28
11	0	2	1	14	11	28
12	9	4	5	5	5	28
合計	43	62	46	117	68	336
平均	3.58	5.17	3.83	9.75	5.67	
標準偏差	3.20	3.51	1.82	3.81	3.22	

共通

尺度

	1	2	3	4	5
C*	-1.49	-0.58	0.00	0.73	1.84

